



# IDIS center

ソフトウェア取扱説明書

# 取扱説明書を読む前に

---

本取扱説明書では、ネットワークカメラ、ネットワークビデオサーバー、ネットワークビデオレコーダー（NVR）及びデジタルビデオレコーダー（DVR）の遠隔ソフトウェアであるRemote Administration System（以下、IDIS centerという。）の使用方法について記述しています。

本取扱説明書において、**IDIS centerシステム**とは、**IDIS center**プログラムを起動しているPCを指します。**デバイス**とはネットワークカメラ、ネットワークビデオサーバー、ネットワークビデオレコーダー（NVR）及びデジタルビデオレコーダー（DVR）を指します。

## 著作権

© 2019（株）IDIS

本取扱説明書の著作権は（株）IDISにあります。

（株）IDISの事前に許可を得ず、取扱説明書の内容の一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることは禁じられています。

本取扱説明書の内容はソフトウェアの機能改善などの理由により予告なく変更される場合があります。

## 登録商標

IDISは（株）IDISの登録商標です。

その他の社名や製品名は当該会社が所有する登録商標です。



# 目次

---

1	<b>第1章 – ソフトウェアの概要</b>	<b>6</b>
2	<b>第2章 – インストール</b>	<b>7</b>
	製品の構成	7
	システムの要求事項	7
	インストール	8
	アンインストール	10
3	<b>第3章 – 開始</b>	<b>11</b>
	プログラム起動	11
	管理者の権限で実行	11
	ログイン	11
	デバイスの登録	12
	リアルタイム映像監視	15
	録画映像再生	16
	システムの概要	17
	メニュー	18
	サイトリスト	19
	パネル	20
4	<b>第4章 – 設定</b>	<b>22</b>
	デバイス	22
	デバイスの管理	24
	デバイスパスワードの再発行	30
	ユーザー管理	34
	緊急録画	35
	システム	36
	画面分割	37
	画面表示	38

スクリーンメニュー	40
映像設定	41
レポート	42
リアルタイムのイベント	43
ネットワーク	43
検索	44
サイト	45
ブラウザ	46
アクション	46
バックアップ/復元	47

# 5

## 第5章 – 使用 48

映像監視	48
パネルのツールバー	49
ホットスポット設定	50
イベントスポット設定	50
マップイベントスポット設定	50
ブラウザ画面設定	50
レイアウトの監視	51
レイアウトの順次監視	53
カメラの順次監視	55
マップ監視	57
ブラウザ実行	59
カメラの制御	60
PTZ制御	62
リモートコントロール	64
魚眼映像の歪み補正	65
Self-adjusting Video Mode	65
映像拡大	66
イメージ効果	66
簡単再生	66
映像分析	67
Live Network Monitor	68
テキストインビューア	68
Googleマップ	69
速度グレーブ	69

自動車情報	70
マップの制御	70
ライブポップアップ	72
録画映像再生	73
ブックマーク(Bookmark)	79
モーションイベントの停止映像	80
オブジェクト/モーション検索	80
映像拡大	81
イメージ効果	82
Smart Image Filter	82
Googleマップ	82
速度グレープ	83
自動車情報	83
録画映像を動画で保存	84
専用のビューアーファイルで保存	84
AVIファイルで保存	88
イベント処理	90
映像監視	91
映像再生	92
システムの動作状態の監視	92
デバイス状態の監視	93
ログ検索	94
自己診断	95
映像分析レポート(VA Box)	96
接続および検索	96
マップの登録	100
マップ設定	100
ネットワークキーボードを利用した制御	105
登録	105
接続	107
実行	108
ネットワークキーボードボタン	110

# 6

## 第6章 – 付録

**113**

トラブルシューティング(Q&A)	113
索引	114

# 第1章 – ソフトウェアの概要

---

IDIS centerは、デバイスの映像監視及び録画映像の再生のためのソフトウェアで、次のような特徴があります。

- デバイスのリアルタイム映像の遠隔監視及び録画映像の遠隔再生
- デバイスのイベント感知のリアルタイム通知及びイベント感知映像の遠隔監視
- 監視映像の緊急録画及び緊急録画映像の再生
- 最大1,024つのデバイス登録可能
- ソフトウェアの遠隔アップグレード及びシステムの遠隔設定
- デバイスのシステムログ表示
- リアルタイム映像のマッピング監視
- H.264、MPEG-4、M-JPEG復元アルゴリズムをサポート
- セキュリティのためSSL機能をサポート
- セキュリティのためユーザーグループ別に権限設定
- ユーザー中心の直感的なGUIを使用

- この製品はOpenSSLツールキットを利用するためにOpenSSLプロジェクトによって開発されたソフトウェアを含む (<http://www.openssl.org/>)。
- 本機には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。ライセンス政策のソース公開支援可否によって、該当ソフトウェアのソースコードを希望する場合は提供受けることができます。詳細内容は クライアントメニュー - 情報のタブのご確認をお願いします。本製品はUniversity of California, Berkeleyが開発したソフトウェア及びOpenSSL Projectが開発したOpenSSLツールキット用のソフトウェアを含めております。また、この製品はEric Young (eay@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアとTim Hudson (tjh@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアを含めております。
- 本文書に収められた情報の完結性と正確性を検証するため、最善を尽くしておりますが、保障はいたしかねます。本文書の使用結果による責任はユーザーにあります。また、事前の連絡なく情報が変更されることもあります。

## 第2章 - インストール

### 製品の構成

- 取扱説明書
- ソフトウェアのインストールCD

### システムの要求事項

	推奨仕様	最低仕様	魚眼映像の歪み補正 推奨仕様
<b>OS</b>	Microsoft® Windows® 10 64-bit (Home、Pro) * サーバーOSはお勧めしません。	Microsoft® Windows® XP Home SP3	Microsoft® Windows® 10 64-bit (Home、Pro) * サーバーOSはお勧めしません。
<b>CPU</b>	Intel Core™ i5-3570K 3.30GHz 以上	Intel Core™ 2 Duo E7200 2.53GHz	Intel Core™ i7-3770K 3.40GHz 以上
<b>RAM</b>	4GB以上	1.5GB	8GB以上
<b>VGA</b>	AMD Radeon™ HD 7700または NVIDIA GeForce GTX650以上 (1280x1024、32bpp以上)、マ ルチモニター	AMD Radeon™ HD 2400 または NVIDIA GeForce FX5500 (1024x768、24bpp)	AMD Radeon™ HD 7700または NVIDIA GeForce GTX650以上 (1280x1024、32bpp以上)、マル チモニター
<b>HDD</b>	6GB以上の空き容量	1GB	6GB以上の空き容量
<b>LAN</b>	Gigabit Ethernet以上	10/100Mbps Ethernet	Gigabit Ethernet以上

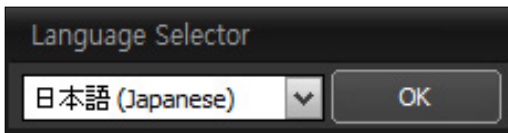
## インストール

ソフトウェアをインストールする前に、Windowsスタートメニューのコントロールパネル内、電源オプションで「ディスプレイの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」を「使用しない」に設定してください。

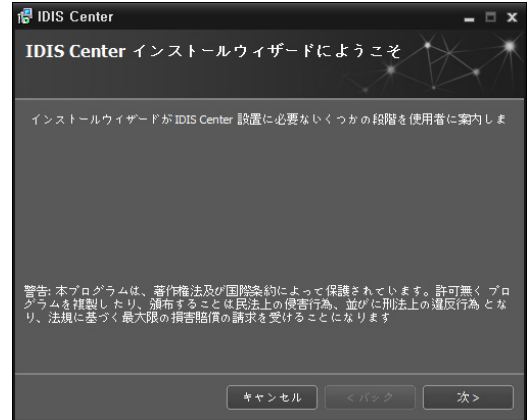
- 1 ソフトウェアのインストールCDを準備します。
- 2 CDの**Setup**のフォルダーの下にある**setup.exe**ファイルを実行します。

Microsoft® Windows® Vistaまたはそれ以降の上のOSで**ユーザーアカウント制御**画面が表示されることがあります。この場合、**許可**ボタンをクリックした後、設定画面の指示に従ってプログラムをインストールします。

- 3 プログラム稼働時に使用する言語を選択した後、**OK**ボタンをクリックします。



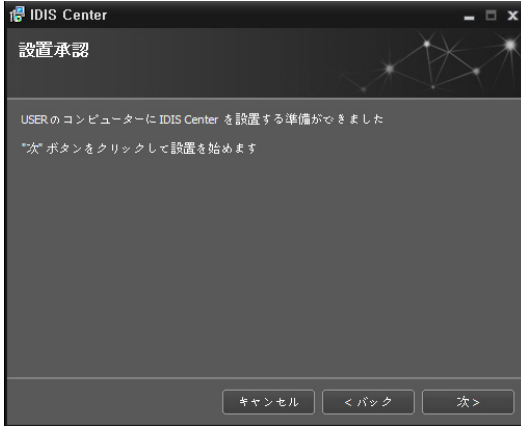
- 4 インストール画面が表示されたら、**次**ボタンをクリックします。



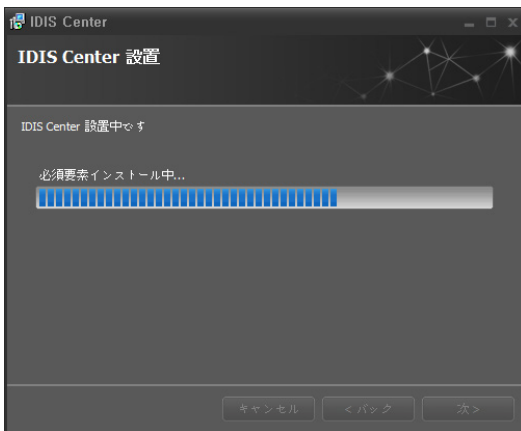
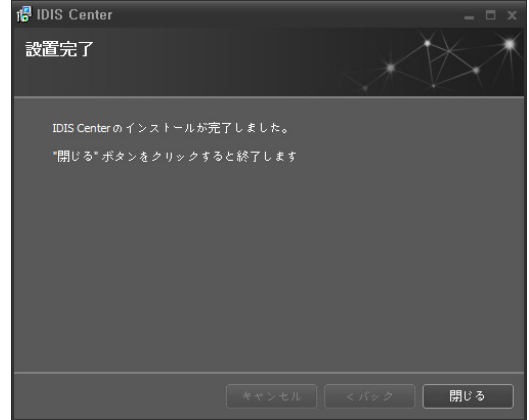
- 5 プログラムがインストールされるフォルダーを指定した後、**次**ボタンをクリックします。



- 6 設置承認画面が表示されたら、次ボタンをクリックします。



- 7 設置完了画面が表示されたら、閉じるボタンをクリックしてインストールを完了します。



- NETFrameworkとVisual C++Runtime Libraries**が自動的にインストールされます。インストールには、時間が少々掛かる場合があります。PCに**NET Framework**及び**Visual C++Runtime Libraries**が既にインストールされている場合、本インストールのプロセスは省略されます。

## アンインストール

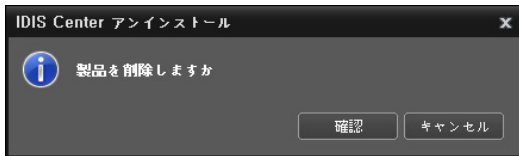
1 実行中のIDIS centerプログラムを終了します。



- プログラムの実行が終了していない状態でソフトウェアをアンインストールすると、正常に削除されないことがあります。
- インストールフォルダーを強制的に削除すると、ソフトウェア削除及び再インストールが不可能になるため、必ず次の手続きに従ってアンインストールしてください。

2 ウィンドウズ(Windows)スタートメニューのIDIS centerを選択し、**Uninstall IDIS center**をクリックしてください。

3 プログラムアンインストールを確認するウィンドウが表示されたら、**確認**をクリックしてください。



4 データ削除の確認ウィンドウが表示されます。緊急録画映像および既存の設定をはじめとして、システムに保存されているすべてのデータを削除するためには、**全て削除**ボタンを、データを削除せずに保存するためには**削除しない**ボタンをクリックしてください。



削除されたデータは復元することができません。..

5 **確認**ボタンをクリックしてアンインストールを完了します。



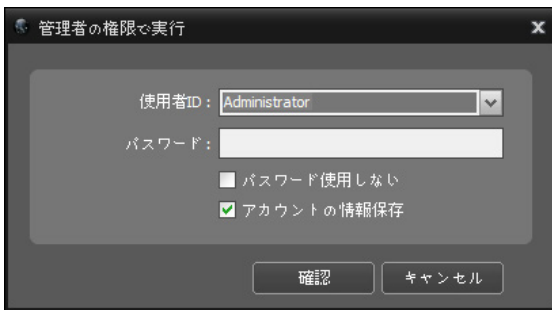
# 第3章 - 開始

## プログラム起動

IDIS centerソフトウェアをインストールするとデスクトップに**IDIS center**及び**IDIS center Run as administrator**(管理者IDでの実行)のショートカットアイコンが生成されます。**IDIS center**又は**IDIS center Run as administrator**(管理者IDでの実行)のショートカットアイコンをダブルクリックしてIDIS centerプログラムを実行します。IDIS centerプログラムが実行中のPCに**管理者ID**ではなく**標準ユーザーID**でログインした場合、**IDIS center Run as administrator**(管理者IDでの実行)のショートカットアイコンをダブルクリックしてください。iHDP専用にiHDPをより簡単に使用するためには、**IDIS center for iHDP**のショートカットアイコンをダブルクリックして**IDIS center**プログラムを実行します。

## 管理者の権限で実行

プログラムを実行した後、管理者情報を入力します。



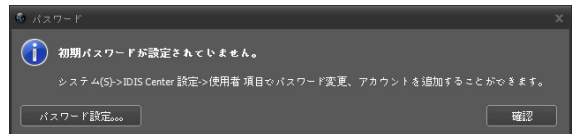
- **使用者ID、パスワード:** PCの管理者アカウントの使用者ID及びパスワードを入力します。
- **パスワード:** アカウントのパスワードを入力します。
- **パスワード使用しない:** PCの使用者IDにパスワードが設定されていない場合、選択します。
- **アカウントの 情報保存:** この項目を選択すると、上記のID及びパスワードを保存します。

IDIS centerプログラムが実行中のPC仕様、または、ユーザーID設定により、ログインの制限がある場合があります。

## ログイン

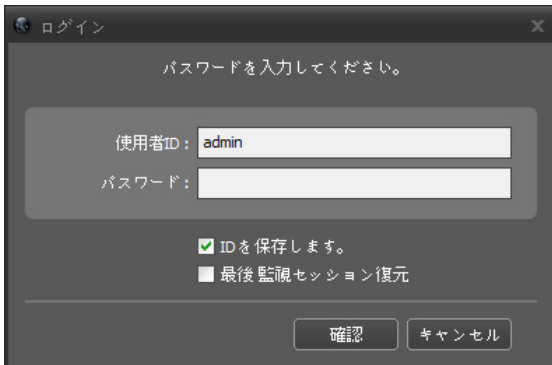
本プログラムは初期パスワードが設定されていません。

パスワードを設定せずプログラムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、なるべくパスワードを指定して使用してください。



プログラム実行時、次のようにログインしなければなりません。

**スタートメニューのIDIS center**をクリックします。プログラムを実行した後、ログイン情報を入力します。



- **IDを保存します:** この項目を選択するとログインする際、入力したIDを保存します。
- **最後監視セッション復元:** 現在の監視パネルに以前の監視セッションを復元することができます(**ユーザー基本レイアウト実行**には対応しない)。



- 使用者IDの基本値は**admin**であり、初期パスワードはありません。
- ユーザーメニューで使用者のIDやパスワードを変更することができます。
- 詳しい内容は、**p. 33 ユーザー(使用者)**部分を参照してください。

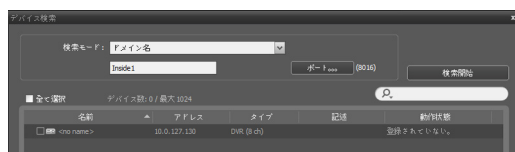
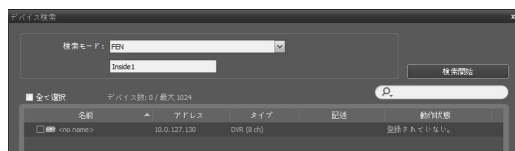
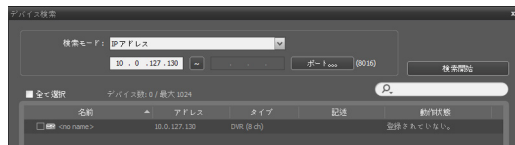
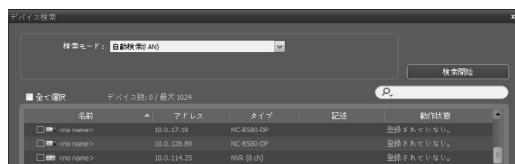
## デバイスの登録

IDIS centerプログラムで提供する機能を使用するためには、まずIDIS centerプログラムにデバイスを登録した後、該当するデバイスをデバイスグループに追加しなければなりません。

- 1 **システムメニュー > IDIS center設定 > デバイス**を選択します。



2 **サイトパネルですべてのデバイスをクリックした**後、右のサイトリストのパネルの下段にあるボタンをクリックします。**デバイス検索画面が表示**されます。



● **プロトコル:** 検索するデバイスのプロトコルまたはメーカーを選択します。

● **検索モード:** 検索モードを選択した後、**検索開始**ボタンをクリックすると、検索結果をリストで表示します。

- **自動検索(LAN):** 同一LAN内にあるデバイスをリストに表示します(一部のDVRには対応していません)。

- **IPアドレス:** デバイスのIPアドレスを入力します。二つ以上のデバイスを登録する場合、IPアドレスの範囲を入力して一度に検索することもできます。デバイスのネットワーク接続を設定する時、DHCPを使用しないことをお勧めします。DHCPを使用する場合、ネットワーク環境変化によってデバイスが正しく動作しない可能性があります。IP手動検索時、デバイスがユーザー認証前の状態であるため、デバイス名が<no name>に表示されます。

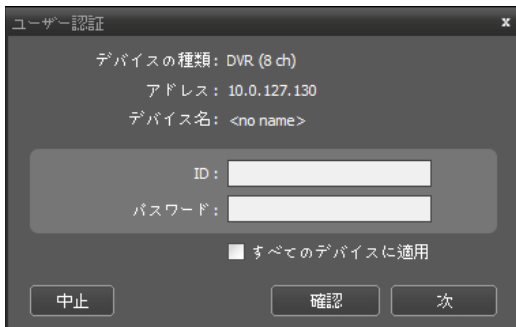
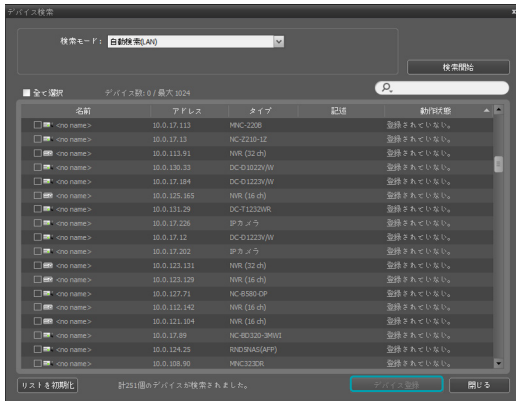
- **FEN:** デバイスがFEN(For Easy Network)機能を使用する場合、FENサーバーに登録されたデバイスの名前を入力します。デバイスが登録されているFENサーバーの情報が正しく設定されているか確認してください(**システムメニュー > IDIS center 設定 > ネットワーク設定 > FEN項目**)。デバイスが登録されているFENサーバーの情報が正しくない場合はデバイスが検索できません。

- **ドメイン名:** デバイスがドメイン名サービスを使用する場合DNSサーバーに登録されたデバイスの名前を入力します。

- **デバイス情報ファイル:** デバイス接続情報の保存されている.xmlファイル呼び出し、該当デバイスをリストに表示します。**システムメニュー > IDIS center設定 > ファイル保存 > デバイス情報**を選択して現在のデバイス情報を保存してファイルを作成します。.xmlファイルに関する詳しい内容は、IDIS centerソフトウェア入手先にお問い合わせください。

リストで各デバイスの名前の横にあるチェックボックスを選択して、登録するデバイスを選択します。**全て選択**を選ぶとリストにあるすべてのデバイスを選択します。

**3 デバイス検索画面の下段のデバイス登録ボタンをクリックします。**

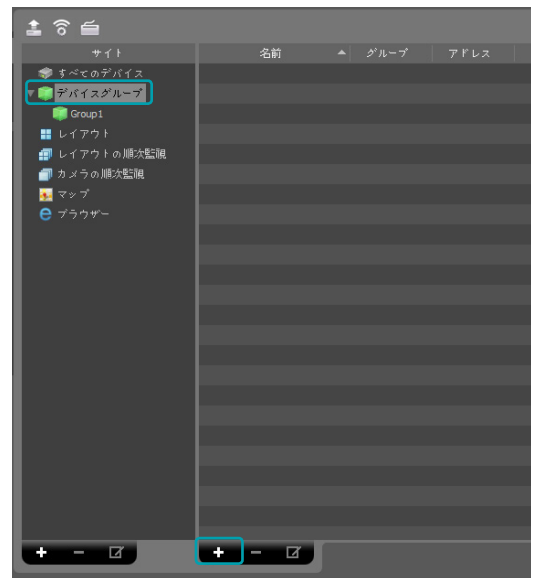


- **デバイスの種類、アドレス、デバイス名:** 選択したデバイスの名前、IPアドレス及び種類を表示します。デバイス設定時に**デバイス名同期化**オプションが選択されている場合、デバイス名がデバイスでの設定によって自動的にアップデートされます。
- **ID、パスワード:** 遠隔接続のために各デバイスで設定したユーザーID及びパスワードを入力します。
- **すべてのデバイスに適用:** 1つ以上のデバイスを選択した場合、選択したデバイスのユーザーID及びパスワードが全て同じであれば、入力したユーザーID及びパスワードを全てに適用することができます。



- デバイスがDVRの場合、DVRの仕様及びバージョンによってポート番号の入力が追加要求されることがあります。
- **すべてのデバイスに適用:** 1つ以上のデバイスを選択した場合、選択したデバイスのユーザーID及びパスワードが全て同じであれば、入力したユーザーID及びパスワードを全てに適用することができます。

**4 サイトパネルでデバイスグループをクリックした後、サイトパネルの下段にある+ボタンをクリックします。デバイスグループの追加画面が表示されます。**

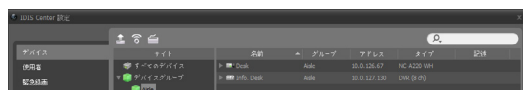




- **名前:** デバイスグループの名前を入力します。
- **場所:** 該当するデバイスグループが所属する上位デバイスグループを選択します。
- **グループに追加するデバイスを選択してください、選択されたデバイスのリスト:** 左側でカメラの横にあるチェックボックスを選択すると、選択したカメラが右側に追加されます。

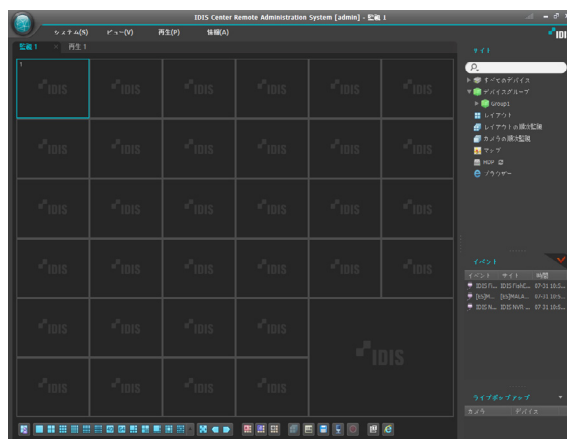
確認ボタンをクリックすると、該当するデバイスグループが登録されます。

- 5 デバイスがデバイスグループに正しく追加されているか確認します。**サイトパネルでデバイスグループをクリックした後デバイスグループの左側の矢印ボタン▶ををクリックします。**登録されたデバイスグループをクリックすると、該当するデバイスグループに追加されたデバイスリストが右側に表示されます。映像分析装置が登録されている装置であれば、装置リストから映像分析 (📹) を確認することができます。

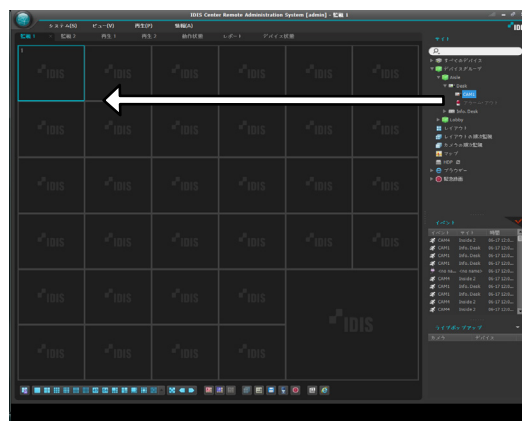


登録されたデバイスグループを選択した後、**サイトパネルの下段にある****ボタンをクリックするとデバイスグループ修正画面が表示され、該当するデバイスグループを修正することができます。**詳しい内容は、[p.22デバイス、デバイスの管理部分](#)を参照してください。

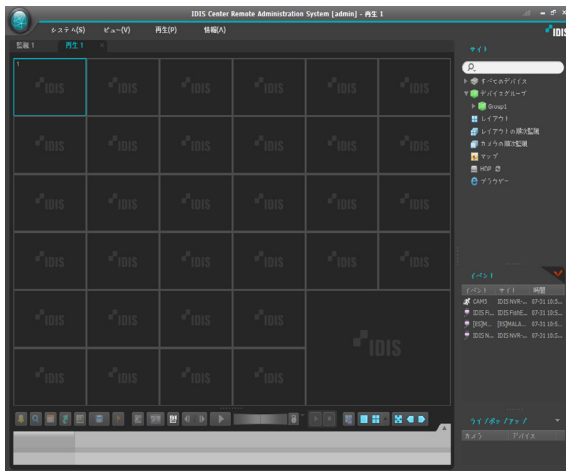
## リアルタイム映像監視



- 1 **サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認します。**
- 2 **パネルタブで監視タブをクリックします。**サイトリストで接続するサイトを選択した後、監視画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。詳しい内容は、[p.48映像監視](#)を参照ください。

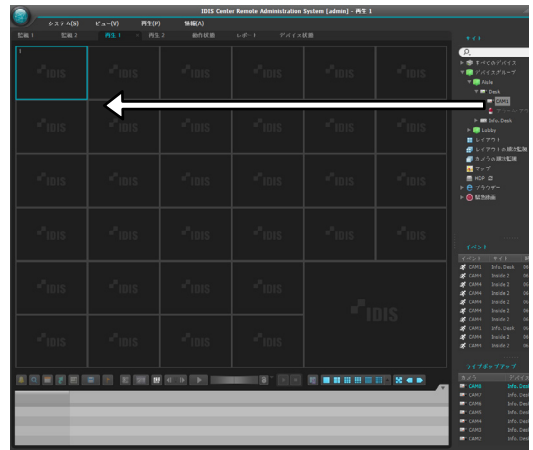


## 録画映像再生

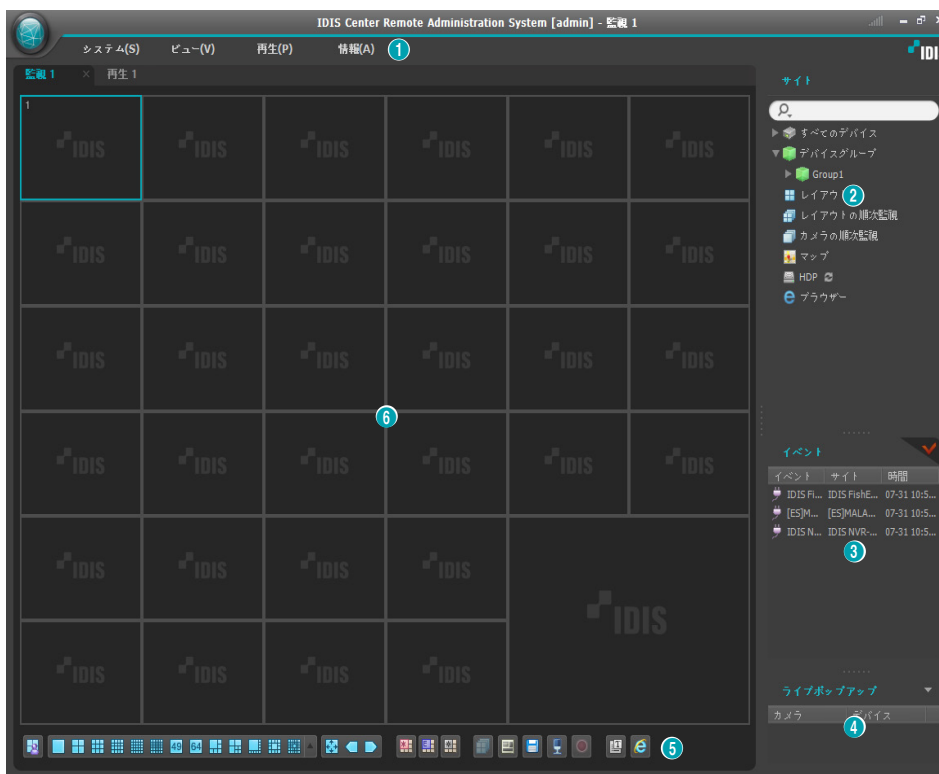


1 位置リストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。

2 パネルタブで**再生**タブをクリックします。**サイト**リストで接続するサイトを選択した後、再生画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。詳しい内容は、**p. 73 録画映像再生**を参照ください。



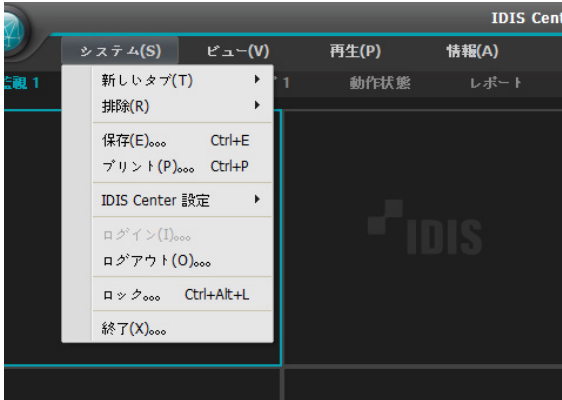
## システムの概要



①	メニュー	<a href="#">p. 18 メニュー</a> 部分を参照してください。
②	サイトリスト	マウスでドラッグ&ドロップを利用して登録されたサイトに接続します。詳しい内容は、 <a href="#">p. 19 サイトリスト</a> 部分を参照してください。
③	リアルタイムのイベントのリスト	登録されたデバイスから、通知を受けたイベントのリストを表示します。☑️ボタンをクリックすると緊急イベントパネルが表示されます。詳しい内容は、 <a href="#">p. 43 リアルタイムのイベント</a> 部分を参照してください。
④	ライブポップアップリスト	現在IDIS centerプログラムに挙がっているポップアップ画面のリストを表示します。ライブポップアップに関する詳しい内容は、 <a href="#">p. 72 ライブポップアップ</a> 部分を参照してください。
⑤	パネルのツールバー/ タイムテーブル	パネルによってツールバーまたはタイムテーブルを表示します。詳しい内容は、 <a href="#">p. 60 カメラの制御</a> または、 <a href="#">p. 73 録画映像再生</a> 部分を参照してください。
⑥	パネル	選択したタブの映像またはリストを表示します。詳しい内容は、 <a href="#">p. 20 パネル</a> 部分を参照してください。

## メニュー

### システム



- **新しいタブ:** パネルを追加します。監視、再生パネルの場合合わせて最大8つのパネルが支援されます。マップパネルの場合、最大2つ、レポート、動作状態、デバイス状態パネルの場合、それぞれ1つのパネルが支援されます。
- **排除:** 選択したデバイス、カメラまたはすべてのカメラを監視画面または再生画面から削除します。
- **保存、プリント:** 選択したタブのパネルに表示される映像またはリストを保存または印刷します(一部パネルの場合、サポートされません)。
- **IDIS center設定:** 基本設定を変更します。詳しい内容は、[p. 22 第4章 - 設定部分](#)を参照してください。
- **ログイン、ログアウト:** プログラムにログインまたはログアウトします。
- **ロック:** IDIS centerプログラムをロックします。プログラムがロックされるとプログラムを使用することができなくなり、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力するとロックが解除されます。
- **終了:** プログラムを終了します。

## ビュー



- **ユーザーレイアウト登録:** 現在の画面分割を保存します。
- **フルスクリーン:** 選択した監視または再生パネルをフルスクリーンで表示します。
- **全体画面 + ツールバー:** 選択した監視または再生パネルをパネルツールバーと一緒に全体画面で表示します。
- **フローティングタブ初期化:** フローティングされたすべてのタブをメインタブに位置させます。
- **画面分割:** 画面分割を変更することができます。
- **前のカメラ、次のカメラ:** または次のカメラグループに移動します。
- **イベントスポット設定:** 選択したカメラ画面をホットスポット画面で設定します。
- **マップイベントスポット設定:** 選択したカメラ画面をマップイベントスポット画面で設定します。
- **レイアウトの順次監視:** レイアウトの順次監視を開始または終了します。詳しい内容は、[p. 48 映像監視、ホットスポット設定部分](#)を参照してください。
- **ブラウザ設定:** 選択した画面をブラウザ画面に設定します。
- **レイアウトの順次監視:** レイアウトの順次監視を開始または終了します。
- **非常イベントパネル:** 緊急イベントパネルを見せます。



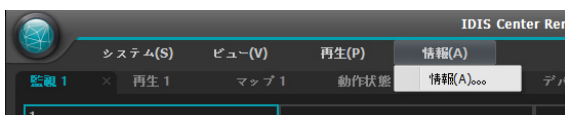
- **遠隔地点パネル:** フローティングされたパネル又は全体画面で地点リストを表示、または非表示することができます。本機能は一部パネルのみ対応します。
- **テキストインパネル:** テキストインパネルを表示します。テキストの結果をパネルに表示します。
- **ライブ画面停止:** 選択した監視タブの全画面を停止します。
- **ライブネットワークモニター:** デバイスごとの帯域幅を時間別でグラフに表示します。

## 再生



- **再生/一時停止:** 選択したデバイスの録画映像を再生したり映像再生を一時停止します。
- **再生/一時停止 (タブ):** 現在の画面に表示されたすべての録画映像を再生または一時停止します。
- **移動:** 再生する映像の時点を選択します。
- **フレーム移動:** フレームまたは時間単位で、前または次の映像に移動します。
- **動画保存:** 録画映像を専用のビューアーファイル(.exe)またはAVIファイル(.avi)で保存します。
- **モーションの停止映像:** イベントベース録画(イベント及びプリイベント)中に録画された映像の停止映像を再生パネルに表示します。

## 情報



- **情報:** ソフトウェアのバージョンまたは著作権の情報を表示します。

## サイトリスト

登録されたサイトリストを表示します。



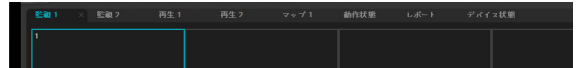
- **🔍 (検索):** 登録されたサイトを検索します。検索語を入力すればその結果を表示します。
- **すべてのデバイス:** 登録されたデバイスのリストを表示します。リストでデバイスをクリックした後、画面の上の希望する位置にマウスでドラッグ&ドロップすれば、該当するデバイスに接続しているカメラの映像を監視したり、カメラの録画映像を再生することができます。

この機能はAdministratorグループに属するユーザーのみ設定できます。

- **レイアウト:** 登録されたレイアウトリストを表示します。リストでレイアウトをクリックした後、画面にマウスでドラッグ&ドロップして、レイアウトの監視または再生を行います。

- **レイアウトの順次監視:** 登録されたレイアウトの順次監視のリストを表示します。リストでレイアウトの順次監視をクリックした後、画面にマウスでドラッグ&ドロップすると、レイアウトの順次監視を行います。
- **カメラの順次監視:** 登録されたカメラの順次監視のリストを表示します。リストでカメラの順次監視をクリックした後、画面の上の希望する位置にマウスでドラッグ&ドロップすると、カメラの順次監視を行います。
- **マップ:** 登録されたマップのリストを表示します。リストでマップの順次監視をクリックした後、画面の上の希望する位置にマウスでドラッグ&ドロップすると、マップ監視を行います。
- **HDP:** IDIS centerシステムにデバイスの脱着式/eSATA HDD又はSD(SDHC)メモリカードが接続されている場合、該当HDD又はSD(SDHC)メモリカードのリストを表示します。デバイスの脱着式HDDをIDIS centerシステムに接続するには、SATA <-> USB 2.0コンバータ又はIDE <-> USB2.0コンバータが、eSATA HDDはeSATAケーブルが、SD(SDHC)メモリカードはSD(SDHC)メモリカードリーダーが必要です。詳しい内容は、IDIS centerソフトウェアの入手先にお問い合わせください。リストでマウスの右ボタンをクリックすると該当HDD又はSD(SDHC)メモリカードの保存容量情報が表示されます。表示される保存スペースに関する情報は、フォルダーの経路、ドライブの種類、デバイスのモデル、録画範囲、容量です。
- **ブラウザ:** 登録されたブラウザのリストを表示します。リストでブラウザをクリックした後、画面上の表示したい位置にマウスでドラッグ&ドロップすると、ウェブブラウザが実行されます。
- **緊急録画:** 緊急録画されたデバイスがある場合、該当デバイスのリストを表示します。

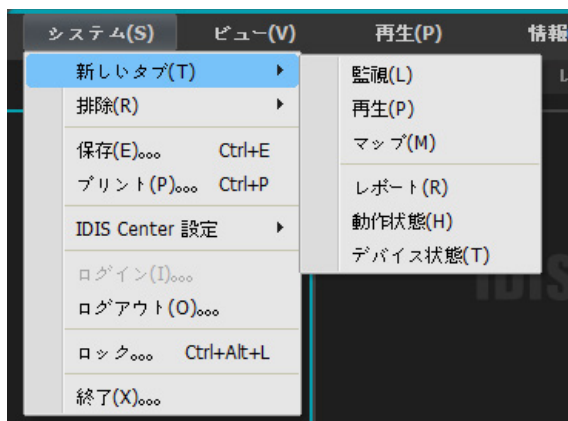
## パネル



- **監視:** リアルタイム映像を表示します。
- **再生:** デバイ스에保存されていた録画映像又はIDIS centerプログラムで緊急録画された映像を再生することができます。
- **マップ:** マップを表示します。
- **レポート:** IDIS centerプログラムのログを表示します。
- **動作状態:** デバイスグループに登録されたデバイスの動作状態を点検し、その結果を表示します。
- **デバイス状態:** 知りたいデバイスの状態をリアルタイムで表示します。

パネルタブでマウスの右ボタンをクリックし、タブの名前を変更することができます。

## パネルの追加及び削除



システムメニュー> **新しいタブ**をクリックし、追加するパネルを選択します。

各タブの横の ✕ ボタンをクリックするとそのパネルを削除することができます。

## パネルのフローティング及び固定

パネルタブをクリックした後、マウスでドラッグ&ドロップすると、該当するパネルが画面上にフローティング(浮上)します。フローティングされているパネルタブをクリックした後、元の位置にマウスでドラッグ&ドロップすると、該当位置に固定します。マウスでドラッグ&ドロップを利用してパネルタブの順序を変更することもできます。



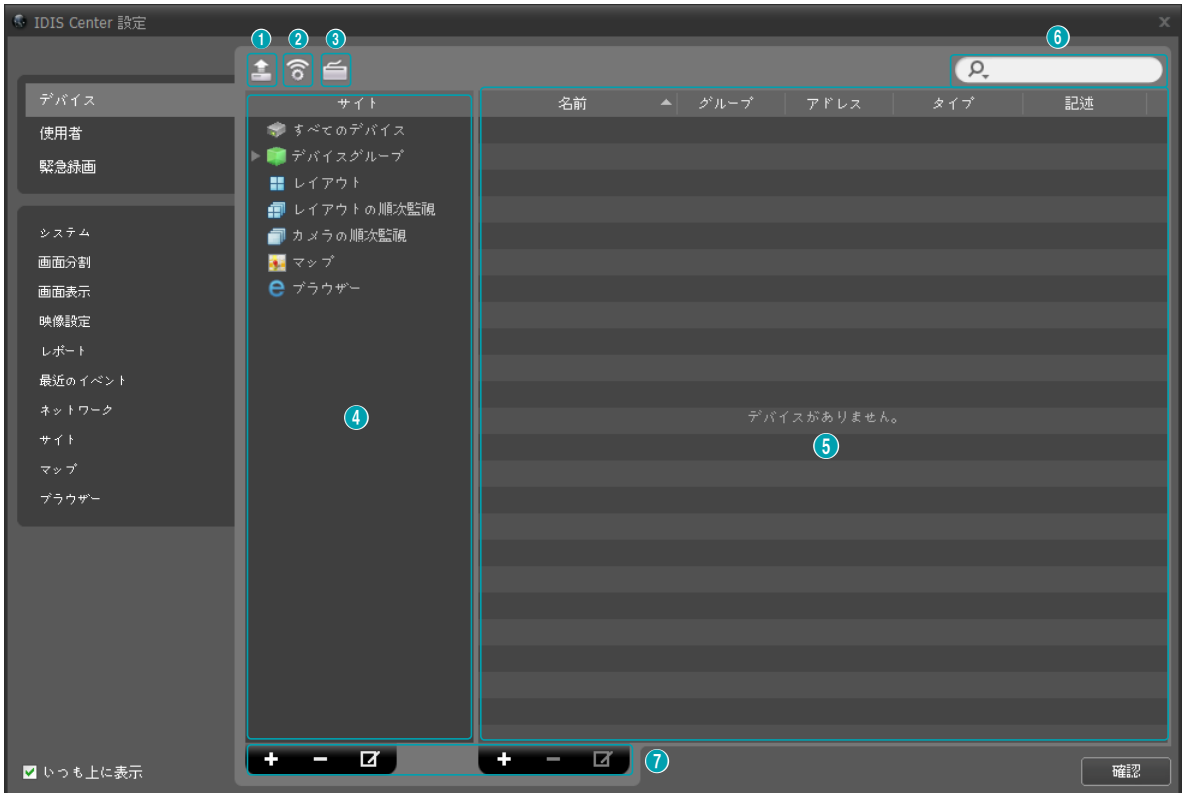
- フローティングされたパネルの上右側のスクリーン最大化/以前サイズ復元ボタンをクリックするとパネルを最大化することや以前のサイズに復元することができます。
- フローティングされたパネルの画面でマウス右側ボタンをクリックし、画面メニューで**遠隔地点パネル**を選択するとフローティングされたパネルに地点リストを表示、または非表示することができます。本機能は一部パネルのみ対応します。

# 第4章 - 設定


## デバイス

サイトを登録及び管理します。

システムメニュー> IDIS center設定> デバイスを選択してください。



- **常時前面に表示:** IDIS center設定画面を、スクリーンの一番前に表示します。

①	多重ファームウェアアップグレード	複数のデバイスのソフトウェアを一括にアップグレードすることができます。
②	多重遠隔設定	設定ファイルを用いて複数のデバイスの設定が一括に変更できます。
③	ネットワークキーボード設定	ネットワークキーボードを登録、削除、修正することからネットワークキーボードを利用してIDIS centerプログラムを制御することができます。詳しい内容は、 <a href="#">p. 105 ネットワークキーボードを利用した制御</a> 部分を参照してください。
④	サイトパネル	IDIS centerプログラムでサポートするサイトグループのリストを表示します。
⑤	サイトリストのパネル	各サイトグループに登録されたサイトリスト及び情報を表示します。デバイス名の横の矢印ボタン ▶  をクリックすると、該当するデバイスでサポートするビデオ入力、アラーム入力/出力およびオーディオ入力/出力の情報を表示します。
⑥	検索	各グループに登録されたサイトを検索します。 <b>サイト</b> パネルでサイトグループを選択した後、検索語を入力します。選択したグループ内で入力された部分と一致する結果が検索されると、その結果を表示します。
⑦	追加、削除、変更	サイトを登録したり、削除または変更します。サイトを選択した後、マウスの右ボタンをクリックすると表示されるメニューを利用してサイトを該当グループから削除したり、登録情報を変更することもできます。選択したサイトがデバイスである場合、デバイスに接続してデバイスの設定を変更したり、デバイスのソフトウェアをアップグレードすることができます。

**すべてのデバイス**でデバイスを削除した場合、デバイスを再登録してもIDIS centerシステムは他のデバイスで認識しません。

## デバイスの管理

デバイス情報を修正したり、デバイスをリストから削除することができます。また遠隔でデバイスの設定を変更したり、デバイスのソフトウェアをアップグレードできます。

- 1 **サイトパネルからデバイスグループ**を選択した後、サイトリストのパネルで**デバイス**をクリックします。
- 2 **サイトリストのパネルの下端にある****ボタン**をクリックするか、マウスの右ボタンをクリックすると、デバイスメニューが表示されます。




- **デバイス修正:** デバイスの接続情報を設定します。
- **デバイスを遠隔設定:** 遠隔でデバイスの設定が変更できます。
- **ファームウェアアップグレード:** 遠隔でデバイスのソフトウェアをアップグレードすることができます。
- **遠隔デスクトップ:** VNC(Virtual Network Computing、仮想ネットワークコンピューティング) 機能を利用してデバイスに接続できます。

この接続をするためには、デバイスにVNC機能が設定されている必要があります。IDIS centerプログラムでデバイス登録をする時は、VNC遠隔接続のためのポート番号とパスワードが登録されていなければなりません。デバイスの仕様とバージョンによって本機能がサポートされない場合もあります。

- **デバイスのクローン:** 登録されたデバイスをコピーします。詳しい内容は

[p. 29 デバイスのクローン](#)

部分を参照ください。デバイスコピーの際、デバイス情報もコピーされます。デバイスメニューから、**デバイス修正**を選択して、コピーされたデバイスの情報を変更することができます。その時、デバイスの認証手続き(デバイスユーザーID及びパスワード入力)は要求されません。コピーされたデバイスの場合、デバイスリストから、デバイスアイコンにクローンのアイコン()が表示されます。
- **デバイス情報アップデート:** 選択したデバイスの情報を最新の状態に更新します。
- **映像プレビュー:** デバイスの映像をプレビューすることができます。
- **デバイス削除:** デバイスをIDIS centerプログラムから削除します。

## デバイス修正: 情報タブ

デバイスメニューで**デバイス修正**を選択します。

デバイスの基本情報を変更することができます。

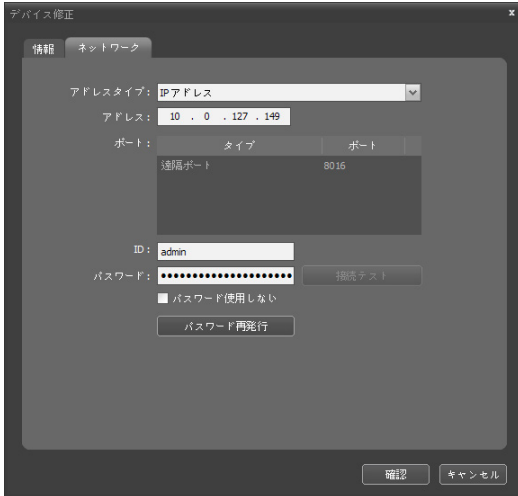


- **名前:** デバイスの名前を修正します。他のデバイスと重複する名前が使えます。

<b>デバイスを使用しない</b>	該当するデバイスは登録されていないものと見なされます。
<b>デバイス名同期化</b>	デバイスより設定した名をIDIS centerプログラムに自動で適用します。
<b>デバイスリアルタイムモニタリング</b>	登録された全てのデバイスに対し、IDIS centerプログラムに表示されるデバイスのイベント情報及びデバイス情報を自動的にアップデートします。ただし、複数台のIDIS centerシステムから該当デバイスに同時にアクセスする場合、該当デバイスの対応できる最大同時接続者数によってデバイスに接続できない場合があります。項目を選択しなければ、現在監視中のデバイスについてのイベント情報及びデバイス情報のみを自動的にアップデートします。
<b>グループ</b>	デバイスが登録されたデバイスの映像を録画する録画サービスリストを表示します。
<b>デバイスの種類</b>	デバイスの種類を表示します。

## デバイス修正: ネットワークタブ

デバイス接続の基本情報を変更できます。但し、デバイスの認証手続き(デバイスユーザーのID及びパスワードの入力)が要求されます。(コピーされたデバイスの場合、認証の手続きは不要です。)



- **アドレスタイプ:** デバイスのアドレスタイプを選択します。

<b>自動検索 (LAN):</b>	デバイスのアドレスを修正する時、デバイスのmDNS番号を入力します。
<b>IPアドレス</b>	デバイスのアドレスを修正する時、デバイスのIPアドレスを入力します。
<b>FEN</b>	デバイスがFEN(For Easy Network)機能を使用する場合、デバイスのアドレスを入力する時FENサーバーに登録されたデバイスの名前を入力することができます。入力した名前は該当するデバイスのFEN設定で設定した名前と同じでなければなりません。
<b>ドメイン名</b>	デバイスがドメイン名サービスを使用する場合、デバイスのアドレスを入力する時DNSサーバーに登録されたデバイスのドメイン名を入力することができます。

- **アドレス:** アドレスタイプで選択したアドレスのタイプによりデバイスのアドレスを修正します。
- **ポート:** ポート番号を修正します。入力したポート番号は該当するデバイスで遠隔接続(Admin)、遠隔監視(Watch)、録画(Record)及び双方向オーディオ(Audio)のために設定したポート番号と同じでなければなりません。
- **ID、パスワード、接続テスト:** 上記の情報を変更するためには、デバイスの認証手続きが要求されます。デバイスのユーザーID及びパスワードを入力した後、**接続テスト**ボタンをクリックします。接続テストが成功すれば、**確認**ボタンをクリックして、設定の適用が可能です。
- **パスワードの再発行:** 遠隔装置のパスワードを変更します(本機能がサポートされている製品に限って可能)。



## デバイス修正: 遠隔デスクトップタブ

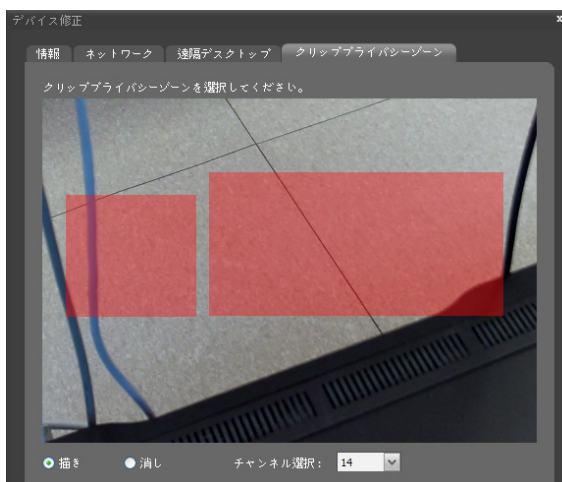
VNC遠隔接続のためのポート番号とパスワードを登録することができます。



- **ポート、パスワード:** VNC遠隔接続のためのポート番号とパスワードを入力します。
- **ウィンドウサイズ調整:** VNCビューア画面のサイズをウィンドウサイズに合わせます。
- **自動再接続:** VNC遠隔接続が解除されている場合、自動的に再接続します。
- **ツールバー使用:** VNCビューアのツールバーを使用するように設定します。

## デバイス修正: クリッププライバシーゾーンタブ

クリップコピープライバシーゾーンが設定できます。




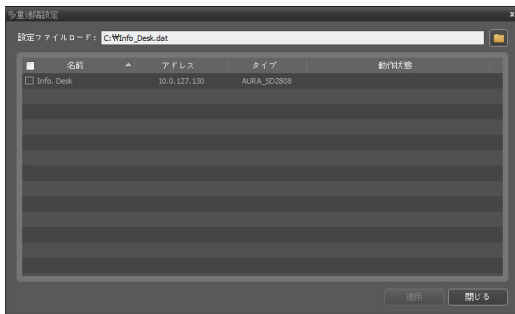
- **描き:** 描画状態で選択エリアにより、プライバシーゾーンが描けます。
- **消し:** 削除モードで選択エリアにより、プライバシーゾーンのエリアを消すことができます。
- **チャンネル選択:** カメラチャンネルが選択できます。


## デバイスを遠隔設定

デバイスメニューで**デバイスを遠隔設定**を選択して、遠隔でデバイスの設定が変更できます。一部の設定の場合、遠隔設定に対応しないこともあります。デバイス設定に関する詳しい内容は、該当デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。

設定ファイルを用いて複数のデバイスの設定が一括に変更できます。支点パネル上段の(多重遠隔設定)ボタンをクリックすると以下のような設定窓が現れます。

- 1 右側上段の  (多重遠隔設定)ボタンをクリックしてから設定ファイルを選択します。




- 2 右側上段の  ボタンをクリックしてから設定ファイルを選択します。選択した設定ファイルが適用可能なデバイスのリストが表示されます。

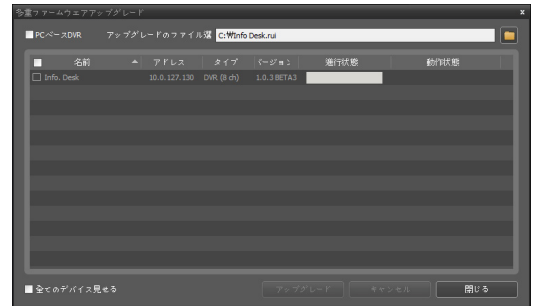
選択した設定ファイルが適用可能なデバイスのリストが表示されます。この機能はデバイスのモデルによって対応できない可能性があり、設定ファイルが適用可能なデバイスが登録されていても対応できないデバイスである場合、リストに表示されません。



- 3 デバイスを選択してから下段の**適用**ボタンをクリックするとそのデバイスの設定を変更します。

## ファームウェアアップグレード

デバイスメニューで**ファームウェアアップグレード**を選択し、遠隔でデバイスのソフトウェアをアップグレードすることができます。

- 1 パネル上段の  (多重ファームウェアアップグレード)ボタンをクリックすると以下のような設定窓が現れます。



- 2 右側上段の  ボタンをクリックしてからアップグレードファイルを選択します。デバイスがPCベースDVRである場合、**PCベースDVR**を選択してから  ボタンをクリックします。

- 3 選択したファイルでアップデートが可能なデバイスのリストが表示されます。**全てのデバイスを表示**を選択すると登録された全てのデバイスのリストが表示されます。

- 4 デバイスを選択してから下段の**アップグレード**ボタンをクリックするとそのデバイスをアップグレードします。

## デバイスのクローン

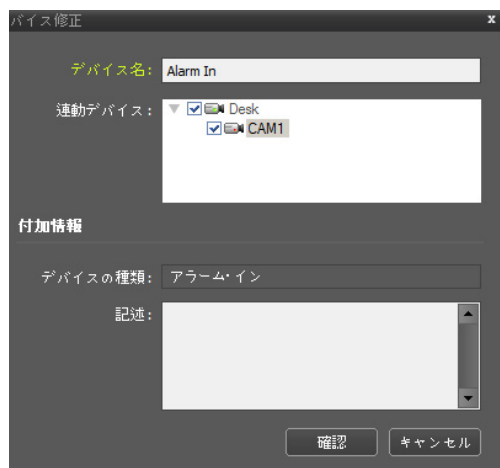
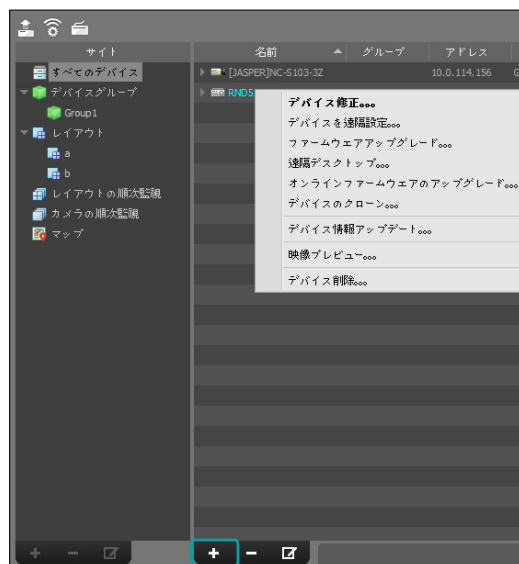
コピーされたデバイスが左に現れます。右のデバイスグループリストから、グループを選択すると、コピーされたデバイスが該当グループに追加されます。



## 入力 / 出力デバイス情報の修正

- 1 サイトパネルですべてのデバイスを選択した後、サイトリストのパネルでデバイスの名前の横にある矢印ボタン▶ をクリックします。
- 2 該当するデバイスでサポートするビデオの入力、アラームの入力/出力及びオーディオの入力/出力のリストで、入力/出力デバイスをクリックします。

- 3 サイトリストのパネルの下段にある  ボタンをクリックするか、マウスの右ボタンをクリックして **デバイス修正** を選択します。 **デバイス修正** 画面が表示されます。



- **デバイス名:** 該当する入力/出力デバイスの名前を修正します。
- **連動デバイス:** 入/出力デバイスと連動してカメラ映像をイベントスポット画面に出力するためにはそのカメラチャンネルを選択しますアラームインまたはオーディオイベント感知時、選択したチャンネルの映像がイベントスポット画面に表示されます。



- 他の入力/出力デバイスと重複する名前が使えます。該当する入/出力デバイスが接続されたデバイス名が更新される時、自動的に更新されます。
- その入/出力デバイスがアラーム入力またはオーディオ入力デバイスの場合のみに対応します。

## デバイスパスワードの再発行

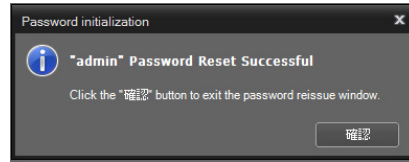
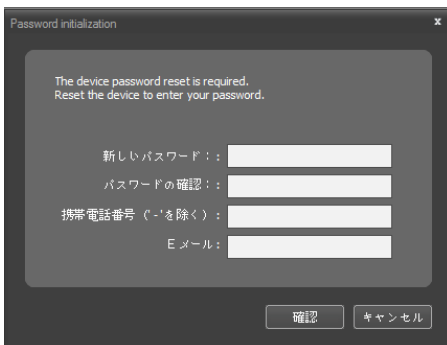
デバイスに設定されたパスワードを再発行します。本機能は、デバイスパスワードの再発行機能がサポートされている製品に限って使用可能となっています。

### デバイスパスワードの初期化

- 1 デバイス検索ウィンドウにおいてデバイス登録過程中にパスワードの初期化が必要なデバイスの場合、パスワードを初期化するかどうかの確認するウィンドウが表示されます。パスワードの初期化が必要なデバイスの場合、パスワードを初期化した後にデバイス登録が可能となります。



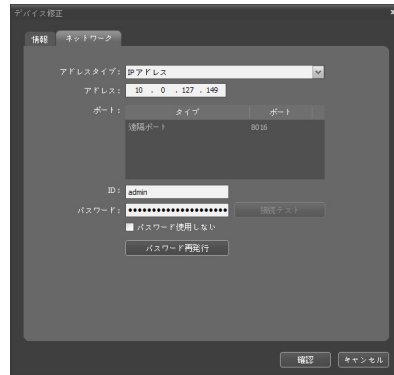
- 2 初期化に必要な情報を入力した後、**はい**ボタンをクリックするとデバイスのパスワードが初期化されます。



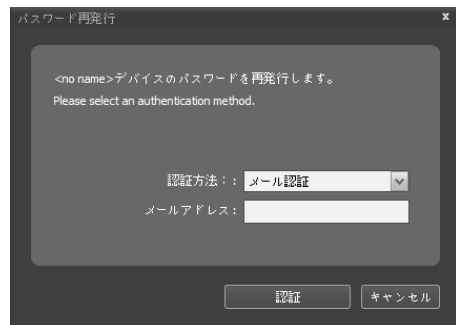
- **新しいパスワード/パスワードの確認:** 変更する新しいパスワードを入力します。
- **携帯電話番号:** パスワード再発行の際、ワンタイムパスワード(OTP)を受信するためのSMS受信が可能な携帯電話番号を入力します。
- **Eメール:** パスワード再発行の際、ワンタイムパスワード(OTP)を受信するためのメールアドレスを入力します。

### デバイスパスワードの変更

デバイスのメニューから“デバイス修正”を選択し、ネットワークタブから「パスワード再発行」ボタンをクリックします。



- 1 **パスワード再発行**ウィンドウが表示されます。



- **認証方法:** パスワード再発行のために設定された認証用のメールアドレスまたは携帯電話番号を入力します。

認証ボタンをクリックすると新しいパスワードを入力する画面が表示されます。

- 2 新しいパスワードを入力して**確認**ボタンをクリックすると、デバイスのパスワードが変更されます。

- **新しいパスワード/パスワードの確認:** 変更する新しいパスワードを入力します。

- 3 デバイスの修正ウィンドウから**接続テスト**ボタンをクリックして変更されたパスワードでユーザー認証をするかどうかを確認します。

接続テスト完了後、**確認**ボタンをクリックします。

### デバイスパスワードの再発行

パスワードの再発行は、お客様サポートサービスを通じてワンタイムパスワード(OTP)を発行するため、お客様サポートサービスとの接続が可能な場合のみ作動します。詳しい内容は、NVR/DVRのご購入先にお問い合わせください。

- 1 デバイス検索ウィンドウにおいてデバイス登録過程中にユーザー認証に失敗(パスワードの間違い)した場合、パスワードを再発行するかどうかを確認するウィンドウが表示されます。

- 2 はいボタンをクリックするとパスワード再発行ウィンドウが表示されます。

## 第4章 - 設定

パスワード再発行

<no name>デバイスのパスワードを再発行します。  
認証方法を選択した後、認証番号を要求してください。

ID: admin

認証方法: メール認証

メールアドレス: admin@xxx.xxx

認証番号の要求    キャンセル

パスワード再発行

<no name>デバイスのパスワードを再発行します。  
認証方法を選択した後、認証番号を要求してください。

ID: admin

認証方法: SMS認証

携帯電話番号 (0を除外): 0101234

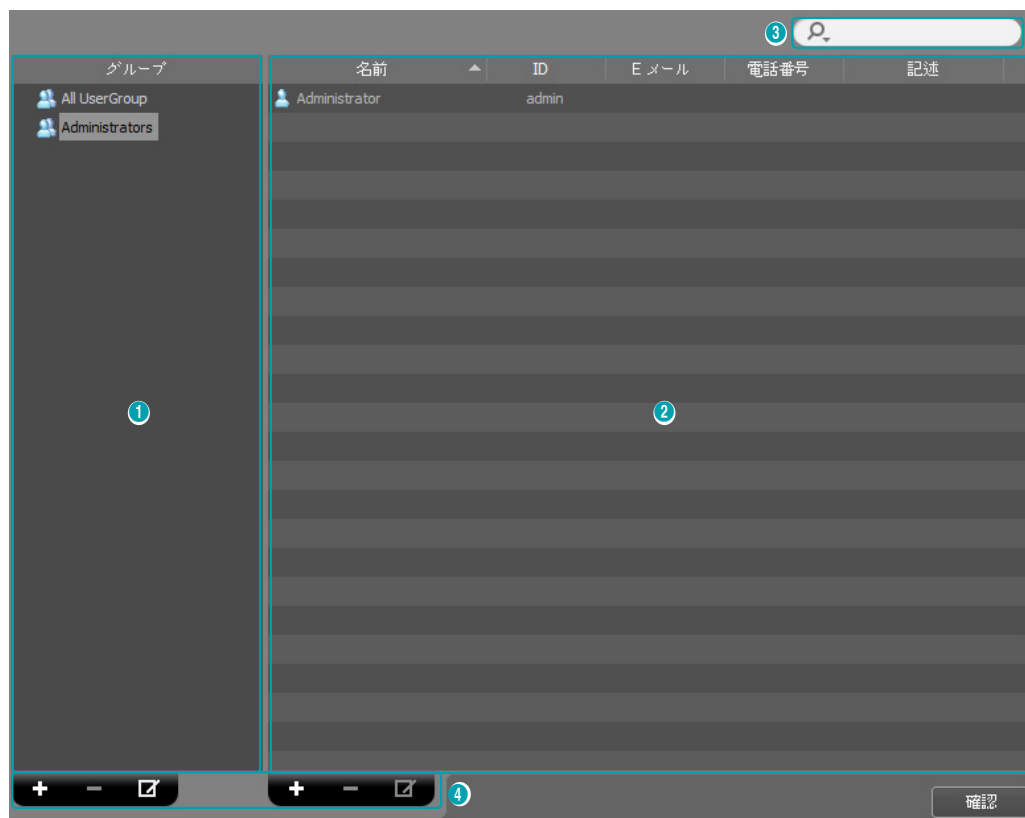
認証番号の要求    キャンセル

- **ID:** パスワード再発行を希望するユーザーのIDを入力します。
- **認証方法:** パスワード再発行のために設定された認証用のメールアドレスまたは携帯電話番号を入力します。
- **E メール/携帯電話番号:** パスワード再発行の際、ワンタイムパスワード(OTP)を受信するためのメールアドレスまたはSMS受信が可能な携帯電話番号を入力します。

## ユーザー(使用者)

ユーザーまたはユーザーグループを登録及び管理します。

システムメニュー> IDIS center設定> ユーザーをクリックしてください。

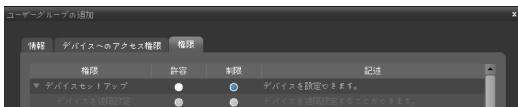
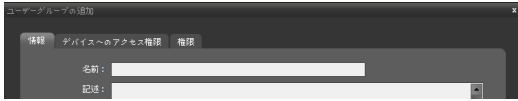


①	グループパネル	登録されたユーザーグループのリストを表示します。
②	ユーザーリストパネル	各ユーザーグループに登録されたユーザーのリスト及び情報を表示します。
③	検索	各グループに登録されたユーザーを検索します。 <b>グループ</b> パネルからユーザーグループを選択した後、検索語を入力します。
④	追加、削除、変更	ユーザーグループまたはユーザーを登録するか削除または変更します。

## ユーザー管理

IDIS centerプログラムの各機能に対する権限をユーザーによって互いに異なるように設定することができます。

- 1 ユーザーグループパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。**ユーザーグループの追加画面**が表示されます。



- **情報:** ユーザーグループの名前を入力します。
- **デバイスへのアクセス権限:** 各デバイスに対するアクセス権限を付与したり制限します。
- **権限:** 各機能に対する権限を与えたり、制限します。

- 2 **確認**ボタンをクリックすると、該当するユーザーグループが追加されます。

- Administratorsグループは、すべてに対する権限を持っていますが、これは変更できません。

- 3 ユーザーグループパネルで追加されたユーザーグループをクリックした後、ユーザーパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。**新しいユーザー**画面が表示されます。

- **使用しない:** 当該ユーザーを非活性化します。
- **名前:** ユーザーの名前を入力します。
- **ID、パスワード、パスワードの確認:** IDIS centerプログラムを実行するための固有のユーザーID及びパスワードです。

- 空白なしで8桁~16桁を入力します。

- **パスワード使用しない:** IDIS centerプログラムを実行する時、パスワードなしでログインできます。
- **パスワード有効期間設定:** パスワードの有効期間を設定します。有効期間が過ぎるとログインする時これをお知らせします。
- **User Specific Layout:** IDIS centerプログラム実行時に表示されるユーザーレイアウトが選択できます。
- **Eメール:** Eメールアドレスを入力します。Eメールアドレスには、@が必ず含まれていなければなりません。
- **電話番号、記述:** 電話番号及び記述を入力します。電話番号には数字と - のみ入力できます。

- 4 **確認**ボタンをクリックします。





- 登録されたユーザーグループまたはユーザーを選択した後、 ボタンをクリックしてユーザーグループまたはユーザー情報を変更することができます。
- All UserGroup**を選択するとユーザーグループと関係なく IDIS centerシステムに登録されたすべてのユーザーが表示されます。
- 登録されたユーザーを選択した後、他のユーザーグループへとマウスをドラッグ&ドロップして当該ユーザーのグループを変更することができます。ユーザーグループ変更の際、モニタリンググループも同時に変更されます。

## 緊急録画

ユーザーが映像監視中に手動で録画を開始または停止することができます。

システムメニュー> IDIS center設定> 緊急録画をクリックしてください。

全スペース: 0分0秒 (0%残り)

録画時刻:  
上書き:

全ての録画データを削除  
\* 緊急録画ストレージに録画されたすべての映像が削除されます。本機能を使用時にはご注意ください。

異常な録画のタイムテーブルを復元  
\* 悪いネットワーク接続及びディスクの誤りによって発生する異常なタイムテーブルを復元します。ストレージのサイズによって録画間隔が数日ほど異なります。

ディスクの容量が一杯になった場合、録画されているデータの上書きを使用

緊急録画使用

ストレージ経路: IDIS center\storage

容量: 64 GB

確認 キャンセル

- 全スペース:** 緊急録画のために割り当てられた保存スペースの全体容量及び残りの容量を表示します。
- 録画時刻:** 割り当てられた保存スペースに緊急録画された時刻を表示します。
- 上書き:** 上書きを使用するかどうかを表示します。
- すべての録画データを削除:** 緊急録画された映像をすべて削除します。
- 異常な録画のタイムテーブルを復元:** 録画時にエラーが生じた場合、録画データと録画データのタイムテーブル情報が一致しないことがあり、このため IDIS centerプログラムのタイムテーブルが誤った情報を表示することがあります。この場合、復元ボタンをクリックすると、タイムテーブル情報を復元し、正しい録画データを表示することができます。
- ディスクの容量が一杯になった場合、録画されているデータの上書きを使用:** 割り当てられたストレージが一杯になった場合、古いデータから削除され、新しいデータが録画されます。
- 緊急録画使用:** 緊急録画を行うことができます。
- ストレージ経路:** 緊急録画のためのストレージフォルダーの経路を設定します。
- 容量:** 割り当てるストレージの容量を設定します(最小4GB~最大64GB)。



監視映像が監視タブに見えない場合、緊急録画を行いません。例えば、緊急録画中、画面のレイアウトを変更し、緊急録画中の映像が見えなくなった場合、該当映像に対する、緊急録画は中止されます。

## 緊急録画をする

- 1 監視画面で録画する映像が表示されたカメラ画面を選択した後、
- 2 カメラ画面の制御ツールバーで **● (緊急録画)** ボタンをクリックします。
- 3 該当カメラ画面の右上段に緊急録画OSD(オレンジ色 **●**) が表示され、録画を開始します。
- 4 **● (緊急録画)** ボタンを再びクリックすると録画が停止します。



## システム

システム言語及び自動接続、日付、時間などを設定することができます。

**システムメニュー> IDIS center設定> システム**をクリックしてください。



- **言語:** プログラム稼動時に使用する言語を選択します。変更された設定は次の実行の時から適用されます。
- **デバイスのリアルタイムモニタリング:** 装置のリアルタイム監視の範囲を選択します。本設定に応じて、デバイスのリアルタイム監視状態が反映されており、**All Devices Deactivated**を選択した場合、それぞれのデバイスのデバイスの変更]ウィンドウに“デバイスのリアルタイムモニタリング”の項目が消えます。
- **Disable display scaling on high DPI settings:** 選択解除時にDPIスケールに基づいて、クライアントプログラムサイズが異なります。
- **Windows開始時 IDIS center自動実行:** Windows開始時にIDIS centerプログラムを自動的に実行します。
- **ログイン通知のポップアップ:** IDIS centerプログラムにログインする時、ポップアップ画面を表示して通知をします。
- **Load user specific layout:** IDIS centerプログラム実行時に保存したユーザーレイアウトで表示できます。

## 画面分割

カメラ画面のレイアウトに関する設定が行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> 画面分割をクリックしてください。



- **一般:** 側面パネルの位置、マップパネルにおけるルートマップリストの位置、テキスト-インパネルの位置を設定します。
- **画面分割:** 監視画面、再生画面及びマップ画面の基本画面分割を表示し、**分割設定**ボタンをクリックして基本の画面分割を変更することができます。
- **選択されたカメラをベースとして画面分割を変更:** 画面分割が変更される時、現在の画面で選択したカメラが変更される分割画面の最初のカメラ画面に位置します。
- **自動的にフォーマットの拡張:** 接続されたカメラの台数に合わせて、分割画面を自動的に変更します。但し、カメラの個数が減った場合は変更しません。

- **Startup Full Screen:** IDIS centerプログラムを実行する時、全体画面に表示することができます。**Startup Full Screen**を選択して**設定**をクリックすると、パネルで各モニターの全体画面表示を設定することができます。
- **CPUの使用率ポップアップ:** IDIS centerシステムのCPUの使用量が設定した値を超える場合は警告メッセージが表示されます。
- **使用するプロセッサの個数:** IDIS centerプログラム動作の時、使用するプロセッサの個数を選びます。IDIS centerプログラムに対するCPU使用量の制限ができます。
- **プログラム起動時、自動ログイン:** 以前接続した時のログイン情報を用いてIDIS centerプログラム起動時、自動にログインします。**自動ログイン時、最後監視セッション復元**を選択すると現在の監視パネルに以前の監視セッションを復元します。
- **オート:** ログインの状態を設定した時間でマウスキーボードの入力がない場合、設定によりIDIS centerプログラムが自動でログアウトされるか、IDIS center システムがロックされます。
- **日付/時間:** 現在の日付と時間を表示します。
- **日付形式、時間形式:** システムの日付及び時刻の表示形式を設定します。
- **スタート曜日:** 一週間の最初の曜日を設定します。

## 画面表示

カメラ画面でのOSD(On Screen Display)の表示方法及び表示するか否かを設定します。

システムメニュー→IDIS center設定>画面表示OSDをクリックしてください。



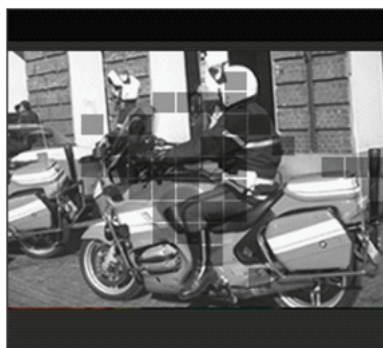
- **不透明度:** スライダーを用いて、OSDの不透明度を調整することができます。
- **テキスト枠表示:** カメラ名や日付などテキストOSDのテキスト枠に境界線(黒色)が表示されません。
- **選択された枠なし:** 監視または、再生の時、選択したカメラ画面の枠を表示しません。
- **選択された枠のみタイトルバー表示:** 監視または、再生の時、選択したカメラ画面のタイトルバーを表示します。

- **監視、検索:** 画面に表示されるOSD情報を設定します。
- **カメラ名:** IDIS centerプログラムで設定したカメラ名を表示します。
- **タイトルバー:** カメラ画面の上段にタイトルを表示するエリアを区分します。
- **ステータスアイコン:** ステータスOSDを表示しません。

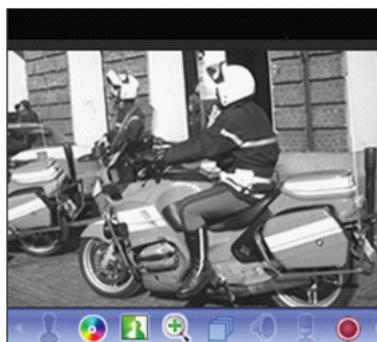
	緊急録画中
	PTZ
	カメラ順次監視
	映像拡大
	装置録画中
	トーク
	リスニング

- **PTZ:** PTZカメラ制御時、画面にPTZ制御ボタンを表示します。
- **日付、時間:** IDIS centerシステム日付および時間を表示します。
- **録画タイトル:** 映像録画の際、設定されていたカメラのネームを表示します。
- **イベント警告、イベント警告の継続時間:** デバイスでイベントが発生すると、該当するカメラのタイトルバーを赤色で表示します。イベント警告の表示は、イベント発生後に設定されたイベント警告の持続時間が過ぎると解除され、手動で解除に設定すると、該当するカメラ画面選択時に解除されます。
- **モーションブロック:** デバイスで、モーション感知イベントが発生すると、モーションが感知されるエリアを画面上に赤色のブロックで表示します(ネットワークビデオエンコーダーの場合にのみ対応)。
- **支店名:** デバイス名を表示します。カメラ名とデバイス名が違う場合のみ表示されます。
- **顔感知:** デバイスで顔感知イベントが発生すると、顔が感知されるエリアを画面上に表示します。

- **メッセージ:** スクリーンメッセージを表示します。スクリーンメッセージに関する詳しい内容は、**p. 43ネットワーク** 部分を参照してください。
- **テキストインデバイス、Text-In Dwell Time:** デバイスにテキストインイベントが発生した場合、テキストイン情報を画面上に表示します(1x1分割画面にのみ対応)。テキストイン情報は、テキストインイベント発生後に設定された「テキストイン持続時間」が解除されます。
- **ポジション:** 画面表示OSDの位置、OSDテキストの大きさ、OSDのスペースを変更することができます。
- **制御ツールバー**
  - 不透明度スライドバーを利用して、カメラ画面の制御ツールバーの不透明度を調整します。
  - **Popup on the Hover Zone:** ハーバー領域でのマウスカーソルの位置にツールバーを表示するかどうかを決めます。



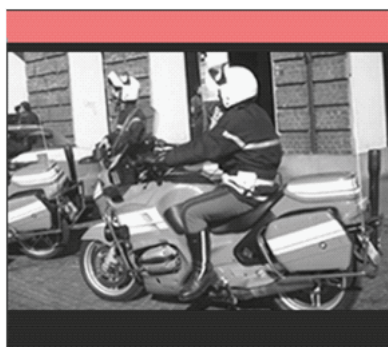
モーションブロック



制御ツールバー



カメラ名、ステータスアイコン、日付/連続録画



イベント警告

監視画面の各カメラ画面にOSD表示



- **カメラタイトル:** カメラタイトルを表示します。
- **🔊/🔊 (リスニングまたはトーク):** デバイスのオーディオを受信したり、デバイスへオーディオを送信していることを示しています。
- **P (PTZ):** PTZ制御が可能であることを示しています。
- **📺 (カメラ順次監視):** 切替モードであることを示しています。
- **🔴 (緊急録画):** IDIS centerシステムに映像が緊急録画中であることを示しています。
- **📹 (装置録画):** 装置が録画中であることを表します。
- **➕ (映像拡大):** 映像が拡大されたことを示しています。
- **🛑 (画面静止):** INK接続時に監視映像の静止機能を使用中であることを示しています。
- **🎨 (色調整):** 色合いの調整中であることを示しています。
- **🖼️ (イメージ効果):** イメージ効果中であることを示しています。
- **日付、時間:** IDIS centerシステム日付および時間を表示します。
- **イベント警告:** デバイスでイベントが発生すると、該当するカメラのタイトルバーを赤色で表示します。

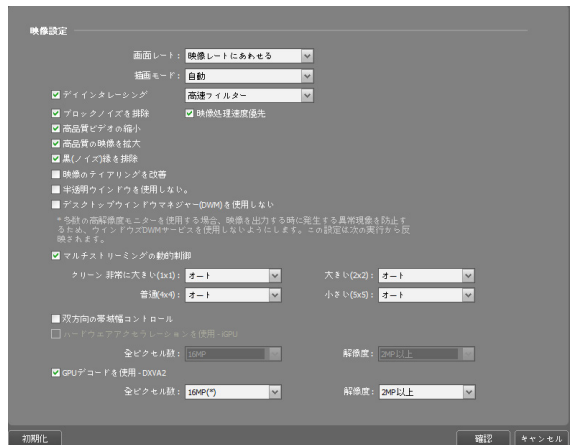
- **モーションブロック:** デバイスで、モーション感知イベントが発生すると、モーションが感知されるエリアを画面上に赤色のブロックで表示します。

ネットワークビデオエンコーダーの場合にのみ対応。

スクリーンメニュー

監視タブのコンテキストメニューをユーザーが追加および除去します。

システムメニュー> IDIS center設定> スクリーンメニューをクリックしてください。



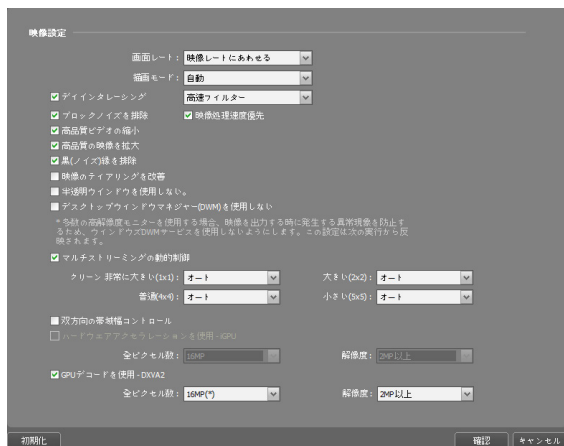
- **無効メニュー項目除去:** 選択されたメニュー項目のうち、無効なメニュー項目をコンテキストメニューに表示しません。



## 映像設定

映像に関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> 映像設定をクリックしてください。



- **画面レート:** 映像の出力レートを設定します。
  - **映像レートにあわせる:** 映像のオリジナルレートで、カメラ画面のエリアに合わせて映像を出力します。
  - **画面にあわせる:** 画面比率と関係なくカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。
  - **画面にあわせる(スマート):** 画面に出力される映像のマージンに基づいて、"画面にあわせる"または"実際サイズ"が適用されます。
  - **画面にあわせる(比率維持):** 画面比率を維持したままでカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。
- カメラ画面のサイズによって映像の上下左右が切れることがあります。**映像拡大**や**ホットスポット**、**イベントスポット**、**モーションブロック表示**、機能の動作時、該当カメラ画面については本画面レートに対応せず、代わりに**映像比率に合わせる**が適用されます。
- **実際サイズ(x1):** 映像の実際のサイズで出力します。
- **描画モード:** 画面で映像をディスプレイするための描画モードを選択します。描画モードの設定によって、映像の色感やディスプレイ性能に差が出る場合があります。

- **ディインタレーシング:** インタレーシングモードでエンコードされている映像の場合、モーションのある部分に発生する横線やノイズを排除し、映像出力の品質を向上させます。希望するディインタレーシングフィルターを選択します。
- **ブロックノイズを排除:** 拡大映像で発生する階段(ブロック)現象を排除し、画面上に表示される映像の出力品質を向上させます。
- **映像処理速度優先:** 映像出力時、画面上に表示される映像の出力品質より、ディスプレイ速度を優先して表示します。
- **高品質ビデオの縮小:** 映像縮小時、画面に表示する映像の出力品質を維持します。
- **High-Quality Upscaling:** 映像拡大時、画面に表示する映像の出力品質を維持します。
- **黒(ノイズ)緑を排除:** 映像の端に出力される黒い緑(ノイズ)を排除します。
- **映像のティアリングを改善:** モニターの遅い走査線速度によって発生する映像のティアリングを改善します。

1×1画面分割モードでのみ。この場合、CPU使用量が増加することがあります。

- **半透明ウィンドウを使用しない:** ウィンドウ画面の透明な部分で瞬き現象が発生した場合、これを防止するために、半透明ウィンドウスタイルを使用しないように設定します。半透明のウィンドウスタイルを使わなければ制御ツールバーをはじめとするウィンドウ画面が不透明で表示されます。変更された設定は次の実行の時から適用されます。
- **デスクトップウィンドウマネージャー(DWM)を使用しない:** ウィンドウズエアロ(Windows Aero)を実行させるデスクトップウィンドウマネージャーを使用しないように設定します。
- モニターを何台も使用する場合、映像がストップする現象が生じることがありますが、この際本機能を設定することをお勧めします。

- **マルチストリーミングの動的制御:** 画面分割モードによって違うストリームを使用するように設定できます。自動を選択するとIDIS centerプログラムがその画面の分割モードに適当なストリームを自動的に設定します。

ひとつ以上のストリームを使用しているデバイスのみ支援します。

- **双方向の帯域幅コントロール:** 画面分割によってデバイスの解像度とフレーム速度を流動的に変更し、ネットワークの帯域幅をコントロールします。
  - **1×1分割:** 該当デバイスでサポートする最大解像度および転送速度
  - **多分割:** 各画面の分割に適切なレベルに低くした解像度およびフレーム速度

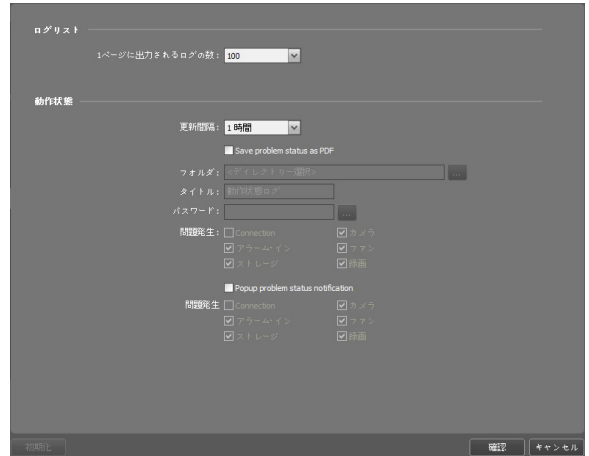
本機能が動作するためにはデバイスにも該当機能が設定されていなければなりません。  
● 本機能は監視映像に対してのみ動作します。

- **Use H/W Acceleration - iGPU:** IDIS centerプログラムでハードウェアアクセラレーションを使用します。使用時には、高画質映像処理能力が向上します。本機能はPCのハードウェアアクセラレーションを使用する場合にのみ対応します。
- **Use GPU Decoding - DXVA2:** iRASプログラムでGPUデコードを使用します。使用時にHD級の高画質映像処理が向上します。本機能は、ユーザーのPC上でGPUデコードを使用している場合にのみサポートされます。

## レポート

ログ出力に関する設定を行うことができます。

**システムメニュー**→ **IDIS center設定**> **レポート**をクリックしてください。



- **1ページに出力されるログの数:** 1ページに出力されるログの数を設定します

**デバイスログ** の場合、設定に関係なく100個

- **動作状態使用:** デバイス検査を使用するかどうかを設定します。
- **更新間隔:** 検査パネルでの状態更新間隔を設定します。
- **Save problem status as PDF (不具合状態をPDFファイルに保存):** 更新間隔に合わせて選択した不具合発生項目のログをPDF形式に保存します。保存フォルダとタイトルおよびパスワードを設定することができます。
- **Popup problem status notification (不具合状態の通知ポップアップ):** 更新間隔に合わせて選択した不具合発生項目でエラーが発生すると、ポップアップ通知を表示します。ポップアップ通知には、不具合発生に関連情報が表示され、自己診断テキストをクリックすると自己診断を始めます。



## リアルタイムのイベント

リアルタイムイベントに関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> リアルタイムイベントを選択してください。



● **イベントパネル使用:** ライブイベントリストで表示されるパネルを選択します。選択を解除すると、パネルを隠すこともできます。

● **時間範囲:** リアルタイムのイベントのリストに表示される各イベント通知の表示期間を設定します

イベントのリストが100個以下である場合に表示期間が過ぎてもイベント通知がリアルタイムのイベントリストから消えません。

● **コラム:** リアルタイムのイベントのリストに表示したい情報を選択します。

● **コールバックのポート:** デバイスからコールバックメッセージを受信するためのポート番号を設定します。

● **ライブテキストイン時間範囲:** テキストインイベント感知時、該当テキストインデータの表示期間を設定します。テキストインデータはテキストインイベント発生後、設定した時間範囲内でテキストインビューア画面で確認できます。テキストインビューア画面に関する詳しい内容は、**p.68 テキストインビューア**部分を参照してください。

● **イベントのサウンド:** リアルタイムのイベントリストにイベント通知の時、オーディオを再生してサウンドを出力するように設定します。希望するイベントを選択した後、ボタンをクリックして出力するオーディオファイル(.wav)を設定します。ボタンをクリックすると該当オーディオファイルを再生して、サウンドを確認することができます。

- **Auto disable when 双方向オーディオ is on.:** 両方向オーディオ使用の際、イベント警告サウンド機能で非活性化されるよう設定します。

● **イベントスポット:** リアルタイムのイベントリストにイベント通知の時そのイベントが発生したカメラ映像をイベントスポット画面に表示します。

- **イベント監視期間:** イベントスポット画面に表れる映像の持続時間を設定します。

- **最小監視期間:** 現在イベントが表示されている間に他のイベントが感知された場合、現在イベントに対するイベント監視期間を設定します。設定された時間が過ぎてから他に感知されたイベントのカメラ映像を表示します。

## ネットワーク

ネットワークに関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> ネットワークをクリックしてください。



- **Buffering for HD Live:** HD映像を監視する際に short term/long termバッファリングを使用して画面に映像をより柔らかく出力することができます。ネットワーク環境により、バッファリングが遅延されたりリアルタイム感が落ちたりする場合があります。
- **監視映像フレームなし検出:** 映像フレームの転送をしたか、どうかを確認する間隔を設定します。設定した時間の間、IDIS centerシステムにデバイスの映像フレームが転送されない場合、該当カメラ画面にメッセージが表示されます。
- **連結解除メッセージ:** デバイス連結が解除された場合に表示されるスクリーンメッセージ又はデバイス接続時にカメラの状態が表示されるスクリーンメッセージの内容を変更できます。設定ボタンをクリックした後、各メッセージの横にあるチェックボックスを選択すると、該当メッセージの内容を変更することができます。
- **FEN:** FEN(For Easy Network)機能を使用するデバイスがある場合、デバイスが登録されているFENサーバー情報を入力します。本設定が正しくない場合、FEN機能を使用するデバイスの登録及び接続はできません。
- **FEN使用:** FEN使用にチェックを入れると、FENが使用できます。
- **RTP受信ポート範囲:** RTPプロトコルを使用して映像を転送するデバイスが登録された場合、RTP受信ポート範囲を設定します。



ネットワークファイアウォールまたはイントラネットが特定UDP/RTPポート番号のみを許容するならば、該当ポート番号に合わせてRTPポート範囲設定を変更しなければなりません。一般ストリーミングプログラムのポート番号と衝突しないようにしてください。衝突が起こる場合、映像監視ができない場合があります。

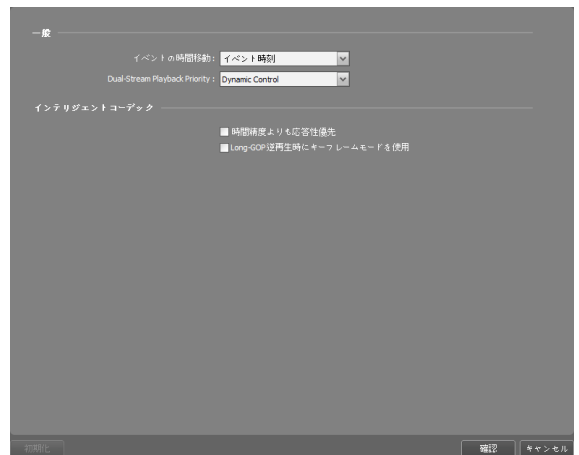
- **損傷したフレームは出力しない:** RTPプロトコル使用時、ネットワーク環境によってフレームが損傷したり消失することがあります。この場合、損傷したフレームを監視または再生パネルに表示するかどうかを設定します。
- **バッファリングのフレーム数:** RTPプロトコルで使用するバッファリングのフレーム数を設定します。数字が大きくなれば映像が切れる現象は減りますがリアルタイム感は落ちます。

- **ネットワークキーボード使用:** ネットワークキーボードを使用してIDIS centerプログラムを制御することができます。この時IDIS centerプログラムが使うポート番号を設定します。**大きいマウスカーソル使用**を選択すると、マウスカーソルのサイズが大きくなります。

## 検索

検索実行に関する設定を行うことができます。

**システムメニュー**→ **IDIS center設定** > **検索** をクリックしてください。



- **イベントの時間移動:** イベント検索の際、イベント関連フレームの時間を基準にして特定の時間以前のフレームを検索するように指定することができます。
- **Dual-Stream Playback Priority:** デュアル - ストリーム録画再生で基本ストリームを設定します。Dynamic Control (動的制御)を設定した場合には、2x2のレイアウトに基づいて、以下のレイアウトでは、メインストリーム、その他のレイアウトでは、サブストリーム録画映像を再生します。
- **Prefer Responsiveness to Time-Precision:** Long-GOP映像に対してGoTo機能を行ったときに正確な時間に対応するフレームより応答性に対する損害を減らすと同時に最大限隣接した時間のフレームを表示します。

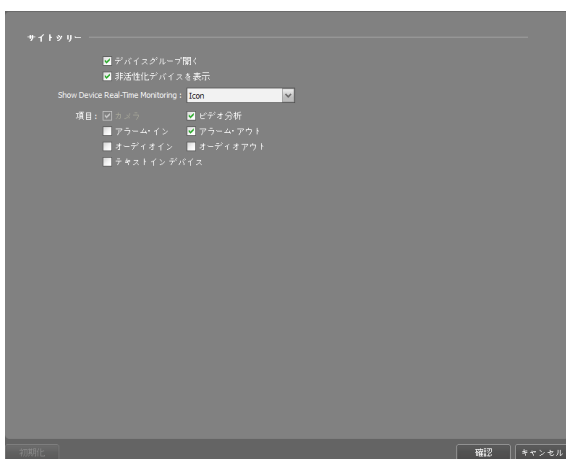
## ● Key-Frame mode forced on Long-GOP

**backward playback:** Long-GOP映像に対して逆方向に再生する際、キーフレームのみ再生するように設定します。

## サイト

サイト実行に関する設定を行うことができます。

システムメニュー→ IDIS center設定> サイトをクリックしてください。



- **デバイスクループの展開:** 映像監視または再生の時、サイトリストにあるデバイスグループを展開して装置のリストを示します。
- **Show Disabled Devices:** サイトリストで非活性化されたデバイスを表示したり隠します。
- **Show Device Real-Time Monitoring:** 地点ツリーで装置リアルタイムモニタリングが活性化された装置への表示方式 (使用しない、アイコン , 緑色のオーバーレイ ) を設定します。
- **項目:** 映像監視または再生の時、サイトリストにデバイスから支援する入/出カデバイスを表示したり隠します。

## マップ

マップ実行に関する設定を行うことができます。

システムメニュー→ IDIS center設定> マップをクリックしてください。



- **ライブポップアップパネル使用:** ライブポップアップリストが表示されるパネルを選択します。選択を解除するとパネルを隠すこともできます。
- **Event Sound Multiple Play 使用:** 複数のカメラサイトで同時にイベントが発生すると、イベント音が設定されたカメラそれぞれの録音ファイルが同時に再生されます。選択を解除すると一番最初に発生したイベントの録音ファイルが再生されます。
- **自動フォーカシング使用:** 指定したイベント発生するとマップでそのイベントが発生したデバイス領域を拡大して表示します。
  - **フォーカシングイベント:** 自動フォーカシングを行うイベントを指定します。
  - **フォーカシング期間:** 自動フォーカシングの持続時間を設定します。
  - **フォーカシングの最小維持:** 互いに違うデバイスでイベントが連続して感知される場合先に感知されたイベントに対して自動フォーカシングの持続時間を設定します。設定された時間が経ってから後で感知されたイベントに自動フォーカシングが移動します。
- **拡大ファインダー:** PIP画面を表示したり非表示にします。PIP画面の四角は拡大されたエリアを表示します。**自動**に設定するとカンバスが拡大された場合のみPIP画面を表示します。

- **マップイベントスポット:** イベント発生時そのイベントが発生したカメラ映像をマップイベントスポット画面に表示します。
  - **イベント監視期間:** マップイベントスポット画面に表れる映像の持続時間を設定します。
  - **最小監視期間:** 現在イベントが表示されている間に他のイベントが感知される場合、現在のイベントに対するイベント監視期間を設定します。設定された時間が経ってから後で感知されたイベントのカメラの映像を表示します。期間を設定します。設定された時間が過ぎたら、後で感知されたイベントのカメラ映像を表示します。
- **インスタントビューア:** インスタントビューアが持続する時間を設定します。

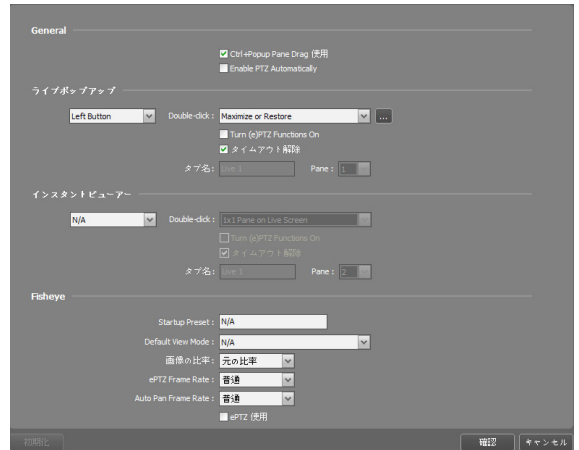


インスタントビューアはマップでカメラをクリックすると表示されます。

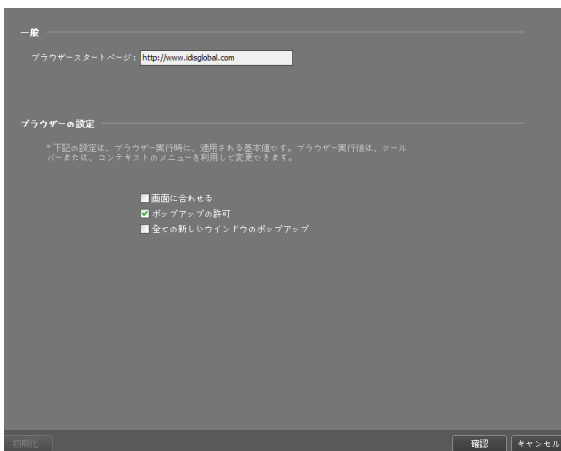
## アクション

マップ実行に関する設定を行うことができます。

**システムメニュー**→ **IDIS center設定** > **アクション**をクリックしてください。



## ブラウザ



- **ブラウザスタートページ:** ブラウザ画面のウェブブラウザの初期ページを設定します。
- **画面に合わせる:** ウェブページのサイズをブラウザの画面のサイズに合わせさせます。
- **ポップアップの許可:** ウェブページのポップアップ表示を許可します。
- **全ての新しいウィンドウのポップアップ:** ウェブページのポップアップを新しいブラウザで表示します。

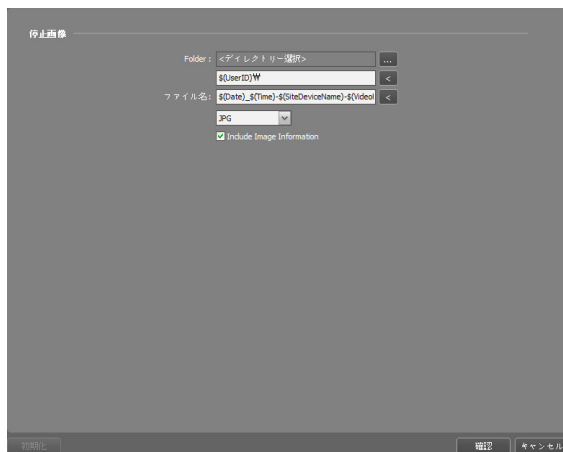
- **General:** ライブポップアップの一般動作方法を設定します。
  - **Ctrl+Popup Pane Drag 使用:** Ctrlボタンを押してライブポップアップウィンドウをライブタブのペイン上にドラッグすると当該ペインに映像が映し出されます。
  - **Enable PTZ Automatically:** 自動的にPTZ制御を使用することができるよう基本設定します。
- **ライブポップアップ:** マウスボタンのペインをダブルクリックすることで下記の機能を行うことができます。
  - 最大化または以前の大きさへ
  - ライブスクリーン 1x1 ペイン
  - クライアント S/Wのメインフレームが実行されたモニターに最大化
  - マルチモニターの場合、指定されたモニターに最大化
- **インスタントビューア:** マウスの中央、右ボタンのうち、指定されたボタンのダブルクリックで下記の機能を行います。
  - ライブスクリーン 1x1 ペイン
  - **Turn (e)PTZ Functions On:** PTZ制御を使用することができるよう基本設定します。

- **タイムアウト解除:** 動作実行後、ポップアップの持続時間のタイムアウトを解除します。
- **魚眼映像:** 魚眼映像カメラに接続したときの基本動作を定義します。
  - **Startup Preset:** 魚眼映像カメラ接続の際に反映するプリセット名を設定します。個別魚眼映像カメラ装置ごとに同一の名前のプリセット名で構成を保存すると、接続時の煩雑な構成変更を容易にします。
  - **Default View Mode:** 基本ビューモードを設定します。
  - **Image Ratio:** イメージの比率を設定します。
  - **ePTZ Frame Rate:** ePTZフレーム率を設定します。高い (平均 60 Fps以上)、普通 (平均 30 Fps以上)、低い (平均 15 Fps)、とても低い (平均 5 Fps) - 低仕様コンピュータの環境が適切です。
  - **Auto Pan Frame Rate:** 自動回転のフレーム率を設定します。高い (平均 60 Fps以上)、普通 (平均 30 Fps以上)、低い (平均 15 Fps)、とても低い (平均 5 Fps)-低仕様コンピュータの環境が適切です。
  - **ePTZ 使用:** 魚眼映像カメラの接続時にePTZを使用します。

## 保存

マップ実行に関する設定を行うことができます。

**システムメニュー> IDIS center設定> 保存**をクリックしてください。



- **Folder:** 停止映像を保存するフォルダーを設定します。
- **ファイル名:** 停止映像が保存されるファイル名を設定します。対応形式には、JPG、PNG、TIF、BMP、PDFがあります。
  - **Include Image Information:** 保存された停止映像ファイルに停止映像の情報を含めます。

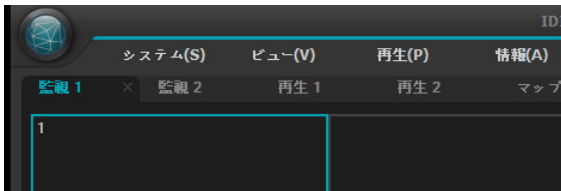
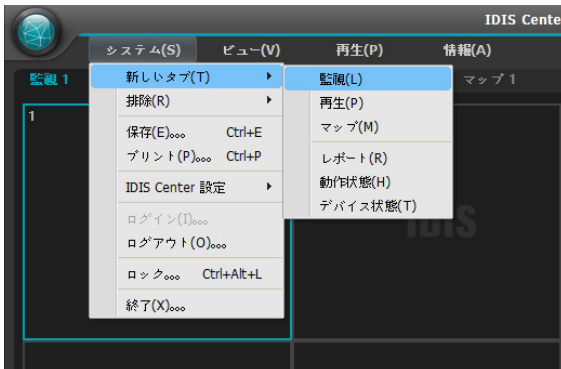
## バックアップ/復元

IDIS centerプログラムの設定値を「.iexp」ファイルとして保存するか、保存されている設定値を読み込んで現在のIDIS centerプログラムに適用することができます。

# 第5章 — 使用

## 映像監視

登録されたサイトのリアルタイム映像を監視することができます。IDIS centerプログラムはデバイスでの設定に従って映像を受信し、監視画面に表示します。リアルタイム映像監視は監視パネル(最大4つ)でサポートされます。パネルタブに監視タブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**監視**をクリックしてタブを追加します。



- 1 パネルタブで**監視タブ**をクリックします。
- 2 **サイトリスト**で接続するサイトを選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。
- 3 選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。



- 現在監視しているカメラ画面を選択した後、マウスでドラッグ&ドロップすると、接続を解除せずに該当カメラ画面を監視画面の希望する位置に移動することができます。
- 低仕様パソコンで同時に複数の高解像映像をライブ監視又は再生するとIDIS centerシステムの性能が落ちることがあります。

## パネルのツールバー

下段にあるパネルのツールバーを利用して監視パネルを制御することができます。




①	ユーザーのレイアウト登録	現在の画面の分割を保存します。
②	画面分割	画面分割を変更します。▲ ボタンをクリックしてより多様な画面分割を選択することができます。◀ または ▶ ボタンをクリックすると前または次のカメラグループに移動します。
③	ホットスポット	選択した画面をホットスポット画面に設定します。
④	イベントスポット	選択した画面をイベントスポット画面に設定します。
⑤	マップイベントスポット	選択した画面をマップイベントスポット画面に設定します。
⑥	レイアウトの順次監視	レイアウトの順次監視を開始または停止します。
⑦	その他メニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遠隔地点パネル: フローティングされたパネル又は全体画面で地点リストを表示、または非表示することができます。本機能は一部パネルのみ対応します。</li> <li>・ テキスト-インパネル: テキスト-インパネルを表示します。</li> </ul>
⑧	イメージの保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静止画保存: 画面に出力された現在の映像を実際のサイズのイメージファイルで保存します。</li> <li>・ イメージを保存/イメージ出力: 現在の画面に表示されたイメージを保存または印刷します。</li> <li>・ パノラマスクリーン保存: 現在の画面とフローティングされたパネルにあるイメージを保存します。</li> </ul>
⑨	オーディオブロードキャスト	現在の監視タブにある全てのデバイスにオーディオをブロードキャストします。
⑩	NVR双方向オーディオ	NVR装置のオーディオを受信したり、NVR装置へオーディオを伝送したりします。
⑪	緊急録画	現在の監視タブにある全ての映像に対し緊急録画を行います。
⑫	テキスト-インパネル	テキスト-インパネルを表示します。テキスト-インパネルは現在IDIS centerシステムに接続されているデバイスのテキスト-インデータを表示します。テキスト-インデバイスにカメラが連動されていて、連動されたカメラの映像が現在の監視タブに見える場合、カメラの画面にもテキスト-インのデータを表示します。テキスト-インのデータの表示期間は <b>ライブテキスト-イン時間範囲</b> 設定で変更できます。 <b>ライブテキスト-イン時間範囲</b> 設定に関する詳しい内容は <p><b>p. 43 リアルタイムのイベント</b></p> 部分を参照してください。
⑬	ブラウザ	選択した画面をブラウザ画面に設定します。




## ホットスポット設定

IDIS centerプログラムで**ホットスポット**とは現在の画面に表示されたカメラの映像の中で任意のカメラの映像を強調して監視するために指定したカメラ画面を指します。ホットスポット画面には赤色の枠が表示されます。

- 1 現在監視している画面でホットスポット画面に設定するカメラ画面を選択します。
- 2 監視パネルの下段にあるツールバーで  (ホットスポット) ボタンをクリックすると選択したカメラ画面に接続されていた既存の接続を解除します。ホットスポット画面には赤色の枠が表示されます。
- 3 画面で任意のカメラを選択すると、選択したカメラの映像がホットスポット画面に表示され、該当カメラを制御することができます。


## イベントスポット設定

IDIS centerシステムで**イベントスポット**とは、現在の画面に表示されたカメラ映像のうち、イベントが発生した映像を強調して監視するために指定したカメラ画面を指します。イベントスポット画面には青色の枠が表示されます。


- 1 現在監視している画面でイベントスポット画面に設定するカメラ画面を選択します。
- 2 監視パネルの下段にあるツールバーで  (イベントスポット) ボタンをクリックすると、選択したカメラ画面に接続されていた既存の接続を解除します。イベントスポット画面には青色の枠が表示されます。
- 3 画面でイベントが発生すればイベントが発生したカメラの映像がイベントスポット画面に表示され、該当カメラを制御することができます。

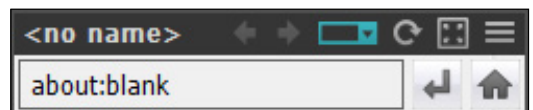
## マップイベントスポット設定





IDIS centerシステムで**マップイベントスポット**とは、現在の画面に表示されたマップで、イベントが発生した映像を強調して監視するために指定したカメラ画面を指します。マップイベントスポット画面には灰色の枠が表示されます。

- 1 現在監視している画面でマップイベントスポット画面に設定するカメラ画面を選択します。
- 2 監視パネルの下段にあるツールバーで  (マップイベントスポット) ボタンをクリックすると、選択したカメラ画面に接続されていた既存の接続を解除します。マップイベントスポット画面には灰色の枠が表示されます。
- 3 画面でイベントが発生すればイベントが発生したカメラの映像がマップイベントスポット画面に表示され、該当カメラを制御することができます。



## ブラウザ画面設定

- 1 現在監視中の画面の中からブラウザ画面に設定するカメラ画面を選択してください。
- 2 監視パネル下段にあるツールバーから  ボタンをクリックしてください。選択したカメラ画面に接続されている既存の接続を解除します。
- 3 ウェブブラウザページがブラウザ画面に表示されます。



-  (メニュー): ブラウザメニューを表示します。
-  (前のページ、次のページ): 前のページまたは次のページに移動します。
-  (URL入力): URLアドレスを入力することができます。アドレス入力後、右側の  ボタンをクリックすると、そのアドレスのページに移動します。

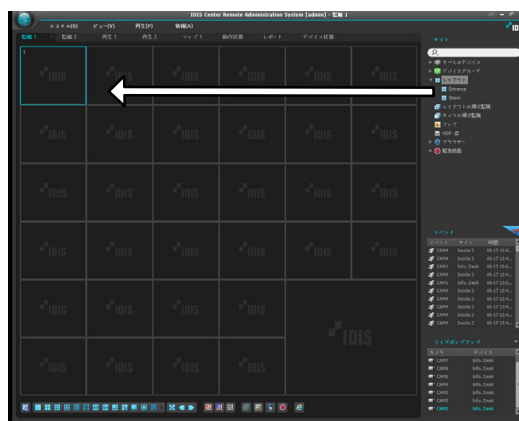


-  × (リロード / 中止): ウェブページをリロードまたは中止します。
-  (画面に合わせる): ウェブページのサイズをブラウザの画面のサイズに合わせます。
- **ポップアップの許可:** ウェブページのポップアップ表示を許可します。
- **全ての新しいウィンドウのポップアップアップ:** ウェブページのポップアップを新しいブラウザで表示します。
- **印刷:** 現在のウェブページを印刷します。
- **削除:** ブラウザ画面の設定を解除します。

## レイアウトの監視

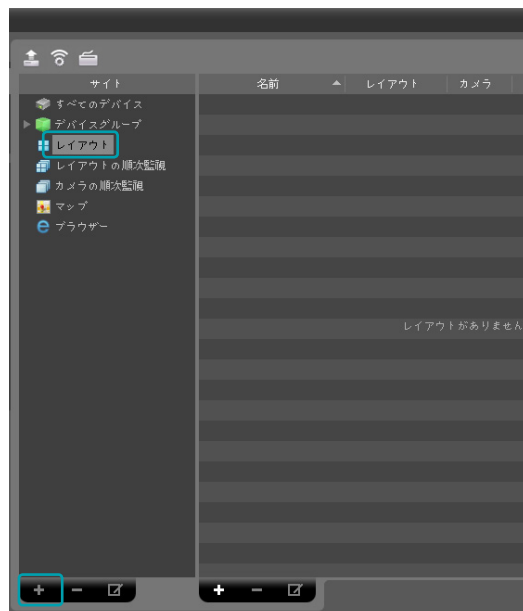
多数のカメラの映像をあらかじめ設定されたレイアウトで監視することができます。レイアウトの監視をするためには、レイアウトが登録されていなければなりません。

- 1 レイアウトリストで希望するレイアウトを選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。または、レイアウト装置をダブルクリックすると選択された監視タブに表示されます。
- 2 該当するレイアウトに追加されたカメラの映像があらかじめ設定された分割画面で表示されます。



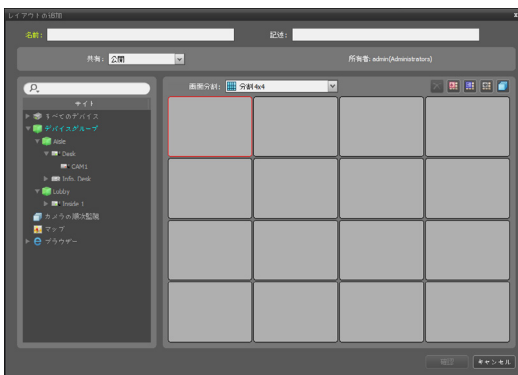
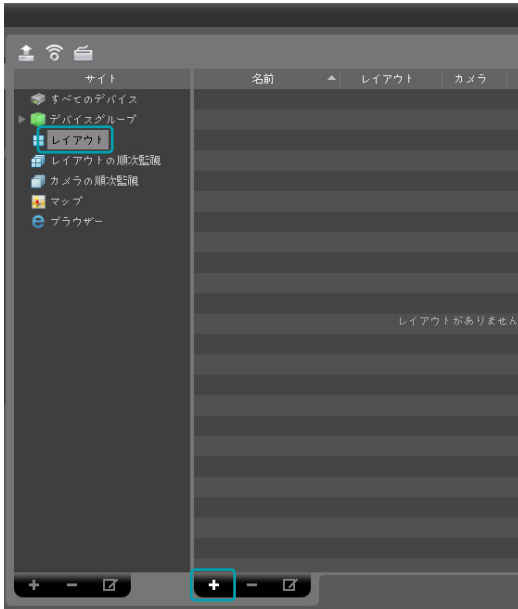
## レイアウトグループの登録

- 1 システムメニューで**IDIS center Setup**を選択した後、**デバイスメニュー**を選択します。
- 2 **サイト**パネルで**レイアウト**をクリックし、左側のサイトリストのパネルの下段にある**+**ボタンをクリックします。**レイアウトの追加画面**が表示されます。



レイアウトの登録

- 1 システムメニューで**IDIS center Setup**を選択した後、**デバイスメニュー**を選択します。
- 2 **サイトパネル**で**レイアウト**をクリックし、右側のサイトリストのパネルの下段にある**+**ボタンをクリックします。**レイアウトの追加画面**が表示されます。



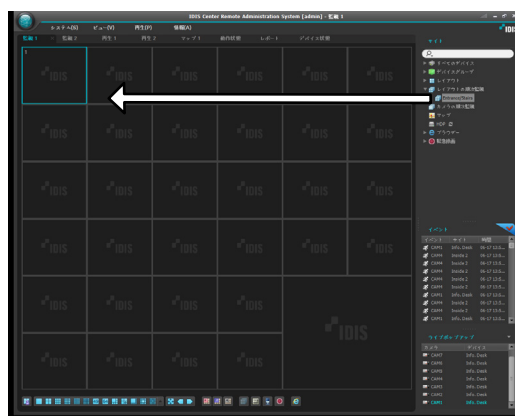
- **名前:** レイアウト名を入力します。
- **共有:** 該当レイアウトの共有範囲を選択します。**admin**ユーザーの場合、全てのレイアウトを見ることができます。
  - **公開:** そのレイアウトを全てのユーザーに表示します。
  - **グループ:** 選択したグループに属しているユーザーのみに表示します。グループは**所有者**項目で選択することができます。
  - **個人:** **所有者**項目で選択したユーザーのみに表示します。
- **所有者:** ユーザーによってレイアウトの異なる設定ができます。該当レイアウトを見せるユーザー(グループ)を表示したり選択します。
- **サイト:** 登録されたデバイス、カメラまたはカメラの順次監視及びマップリストを表示します。**Q** ボタンの横に検索語を入力して登録されたデバイスまたはカメラの順次監視を検索することができます。ボタンの横に検索語を入力して登録されたデバイスまたはカメラの順次監視を検索することができます。
- **画面分割:** 該当するレイアウトの画面分割を選択します。**サイトリスト**でレイアウトに割り当てるデバイス、カメラまたはカメラの順次監視を選択した後、レイアウト画面の希望する位置にマウスでドラッグ&ドロップします。
- **✕ (削除):** レイアウト画面で特定画面を選択した後ボタンをクリックすると、選択した画面に割り当てられたカメラをレイアウト画面から削除します。
- **🔥 (ホットスポット):** レイアウト画面で特定画面を選択した後ボタンをクリックすると、選択した画面をホットスポット画面として設定します。
- **📅 (イベントスポット):** レイアウト画面で特定画面を選択した後ボタンをクリックすると、選択した画面をイベントスポット画面として設定します。
- **📍 (マップイベントスポット):** レイアウト画面で特定画面を選択した後ボタンをクリックすると、選択した画面をマップイベントスポット画面として設定します。
- **📹 (カメラの順次監視):** レイアウト画面で特定画面を選択した後ボタンをクリックすると、カメラの順次監視を開始することができ、該当する順次監視を選択した画面に割り当てます。


- 3 確認ボタンをクリックしてレイアウトの追加を完了します。

## レイアウトの順次監視

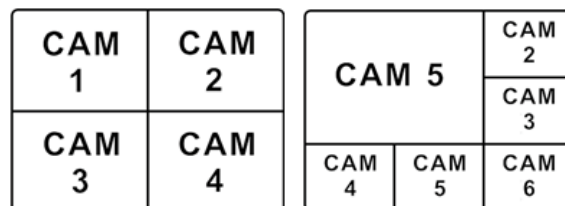
多数のカメラの映像をあらかじめ設定された2つ以上のレイアウトで順次監視することができます。レイアウトの順次監視を行うためには、レイアウトの順次監視が登録されていなければなりません。順次監視レイアウトの追加に関する詳しい内容は、次の説明を参照してください。

- 1 レイアウトの順次監視リストで希望するレイアウトの順次監視を選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。該当するレイアウトの順次監視に登録したカメラ映像が順次各レイアウトの分割画面に表示されます。



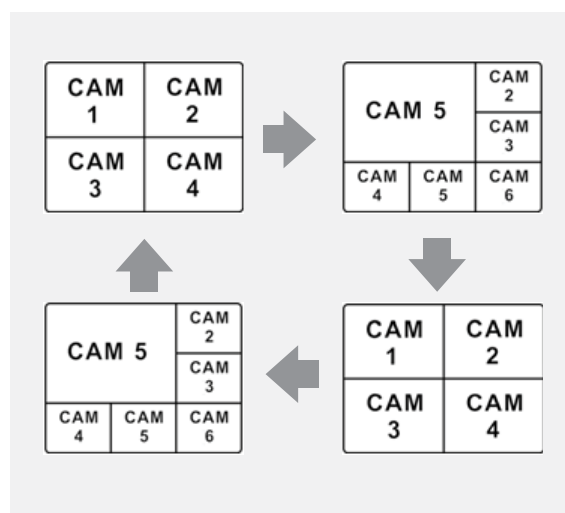
- 2 パネルの下段にあるツールバーの  (レイアウトの順次監視)ボタンをクリックして、レイアウトの順次監視を停止したり再開できます。

### レイアウトの順次監視例



レイアウト 1

レイアウト 2



順次監視レイアウトの登録

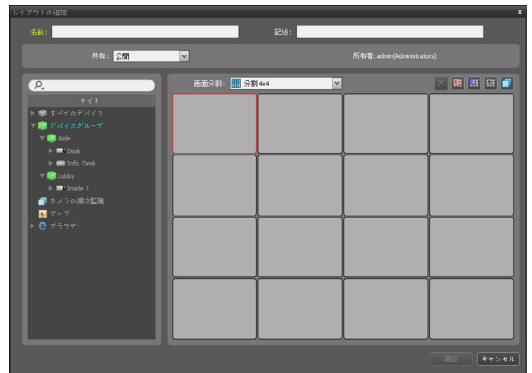
- 1 システムメニューで**IDIS center Setup**を選択した後、**デバイスメニュー**を選択します。
- 2 サイトパネルで**レイアウトの順次監視**をクリックした後、右側のサイトリストのパネルの下端にある**+**ボタンをクリックします。**順次監視レイアウトの追加画面**が表示されます。



- 3 順次監視するレイアウトが登録されていない場合、**レイアウトの追加**ボタンをクリックします。



- 4 **レイアウトの追加画面**が表示されたら順次監視するレイアウトを登録します。順次監視をするためには2つ以上のレイアウトが登録されていなければなりません。



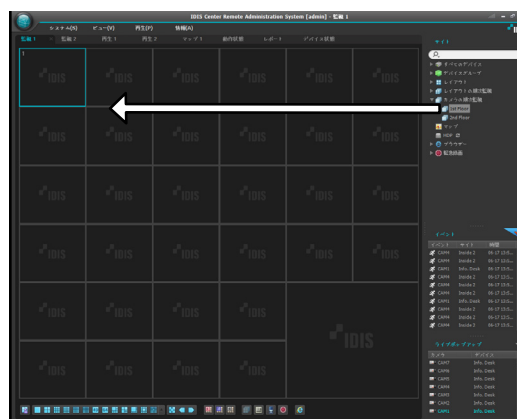
- **名前:** レイアウトの順次監視の名前を入力します。
- **共有:** 該当レイアウトの順次監視の共有範囲を選択します。**admin**ユーザーの場合、全てのレイアウトの順次監視を見ることができます。
  - **公開:** そのレイアウトの順次監視を全てのユーザーに表示します。
  - **グループ:** 選択したグループに属しているユーザーのみに表示します。グループは**所有者**項目で選択することができます。
  - **個人:** **所有者**項目で選択したユーザーのみに表示します。
- **所有者:** ユーザーによってレイアウトの順次監視の異なる設定ができます。該当レイアウトの順次監視を見せるユーザー(グループ)を表示したり選択します。
- **レイアウトリスト:** 登録されたレイアウトリストを表示します。🔍 ボタンの横に検索語を入力して登録されたレイアウトを検索することができます。検索語を入力すると、その結果を表示します。
- **選択されたレイアウトの順次監視のリスト:** レイアウトの順次監視のために登録されたレイアウトリストを表示します。
- **持続時間(秒)**は各レイアウトが画面に表示される時間を示します。**持続時間(秒)**下の数字をダブルクリックすると、該当レイアウトの持続時間を変更することができます。**全て適用**ボタンをクリックすると、設定された持続時間をリストにあるすべてのレイアウトに等しく適用します。


- 5 **レイアウトリスト** でレイアウトを選択した後、**>>** ボタンをクリックすると選択されたレイアウトが**選択されたレイアウトの順次監視リスト**に追加されます。
- 6 **確認**ボタンをクリックすると順次監視レイアウトの追加を終了します。

## カメラの順次監視

多数のカメラの映像を同一のカメラ画面で順次監視することができます。カメラの順次監視のためには、カメラの順次監視が登録されていなければなりません。カメラの順次監視の登録に関する詳しい内容は、次の説明を参照してください。

- 1 カメラの順次監視リストで、希望するカメラの順次監視を選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。該当カメラの順次監視に登録したカメラ映像が画面に順次表示されます。

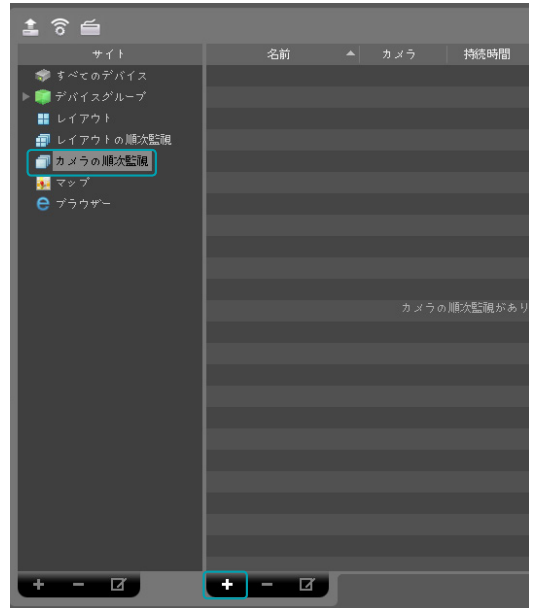


- カメラ画面の下段にあるコントロールツールバーの  (カメラの順次監視) ボタンをクリックして、カメラの順次監視を中止したり再開することができます。

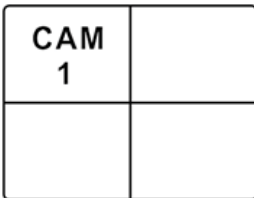


### カメラの順次監視の登録

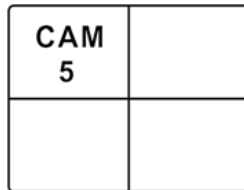
- システムメニューで**IDIS center Setup**を選択した後**デバイスメニュー**を選択します。
- サイトパネルで**カメラの順次監視**をクリックした後、右側のサイトリストのパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。**順次監視カメラの追加画面**が



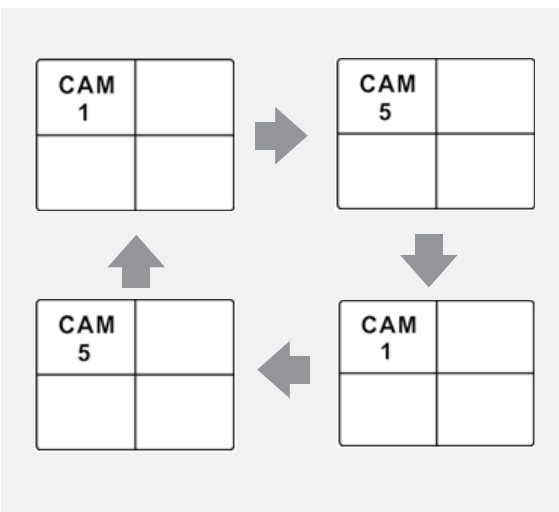
### カメラの順次監視の登録

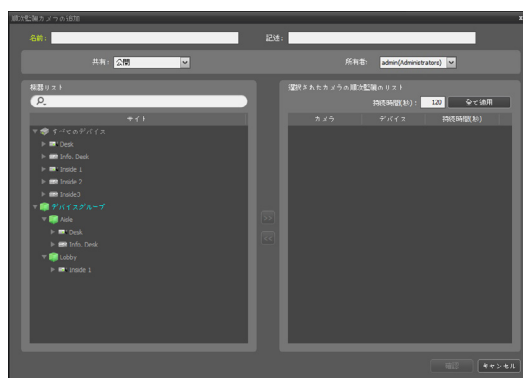


カメラ1



カメラ5





- **名前:** カメラの順次監視の名前を入力します。
- **共有:** 該当カメラの順次監視の共有範囲を選択します。adminユーザーの場合、全てのカメラの順次監視を見ることができます。
  - **公開:** そのカメラの順次監視を全てのユーザーに表示します。
  - **グループ:** 選択したグループに属しているユーザーのみに表示します。グループは**所有者**項目で選択することができます。
  - **個人:** **所有者**項目で選択したユーザーのみに表示します。
- **所有者:** ユーザーによってカメラの順次監視の異なる設定ができます。該当カメラの順次監視を見せるユーザー(グループ)を表示したり選択します。
- **機器リスト:** 登録されたデバイスリストを表示します。🔍ボタンの横に検索語を入力して、登録されたデバイスを検索することができます。検索語を入力すると、その結果を表示します。
- **選択されたカメラの順次監視のリスト:** カメラの順次監視のために登録されたカメラリストを表示します。
- **持続時間(秒)** は各カメラの映像が画面に表示される時間を表示します。
- **全て適用**ボタンをクリックすると、設定された持続時間をリストにあるすべてのカメラに等しく適用します。

デバイスリストでカメラを選択した後、>> ボタンをクリックすると選択されたカメラが**選択されたカメラの順次監視のリスト**に追加されます。

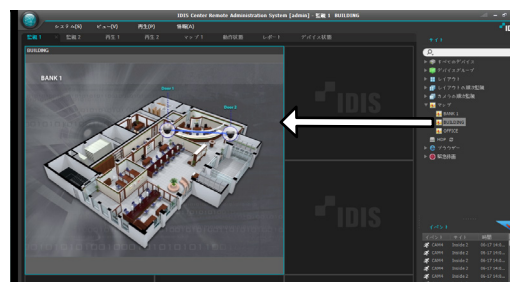
- 3 **確認**ボタンをクリックすると順次監視カメラの追加をします。

## マップ監視

登録されたデバイスのカメラ映像、イベント感知、接続された入/出力デバイスの状態をマップで監視することができます。マップの順次監視のためには、管理サービスにマップが登録されていなければなりません。マップの登録に関する詳しい内容は、**p.100 マップエディター**部分を参照してください。

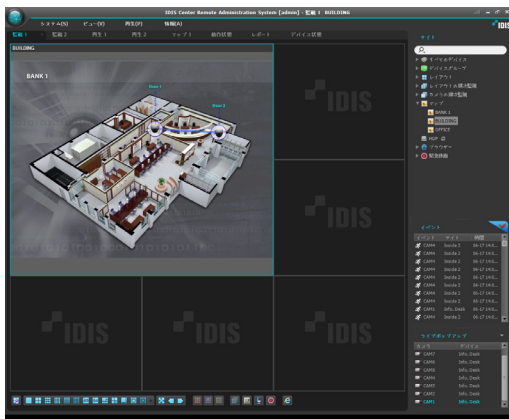
- マップの順次監視のためには、マップが登録されていなければなりません。
- マップ監視は監視パネル最大4つ)及びマップパネルでサポートされます。
- パネルタブに監視またはマップタブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**監視**または**マップ**をクリックしてタブを追加します。

- 1 マップリストで、希望するマップを選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。



- 2 該当マップが画面に表示されます。

- 現在監視しているマップを選択した後、マウスでドラッグ&ドロップすると、接続を解除せずに該当マップを監視画面の希望する位置に移動することができます。
- マップで**入/出力デバイス**を選択し、**監視画面**、**再生パネル**または**デバイス状態パネル**にマウスのドラッグ&ドロップするとそのデバイスの映像を監視または再生したりデバイス状態を監視したりすることができます。



マウスカーソルをマップの入/出力のデバイス上に位置させるとその入/出力デバイスのイベント感知および状態を表示します。その入/出力デバイスでイベントが感知されたりデバイスが正しく動作しなかったりすると次のようなアイコンが出ます。

	アクセス失敗		イベント・オフ
	異常作動		モーション感知
	映像遮断		ビデオロス
	テロ感知		映像分析感知
	トリップゾーン		タンパーリング
	アラーム入力		アラーム出力

- 順番に最高4つまで表示されます。
- デバイスの仕様及びバージョンによって一部イベントのアイコンがサポートされないことがあります。
- イベント感知**の場合その入/出力デバイスが接続されたデバイスでのイベント感知設定によって表示されます。
- また**異常作動**の場合その入/出力が接続されたデバイスで設定したシステム検査設定によって表示されます。
- マップ登録時、状態のカラーを設定した場合、イベント感知および状態が固有の色で表示されます。
- 同時に2つ以上のイベントまたは状態が感知された場合、各イベントまたは状態のカラーが順次表示されます。

### 経路順次監視

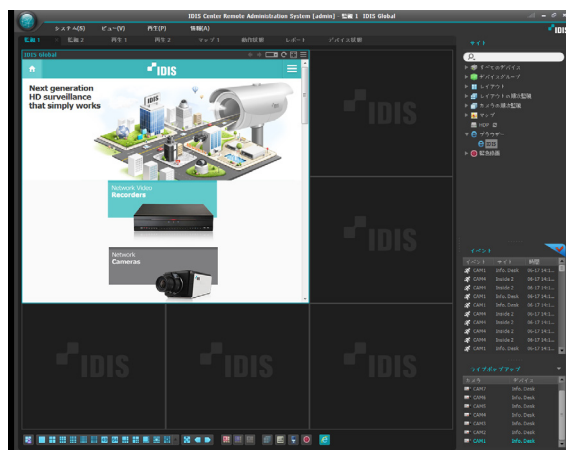
マップを監視する時、マップに登録された多数のカメラの映像を同一のカメラ画面で順次監視することができます。経路順次監視のためには、順次監視経路が設定されてある必要があります。順次監視経路設定に関する詳しい内容は、[p. 104 経路順次監視](#)部分を参照してください。

- 1 マップで、順次監視経路を選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。
- 2 経路順次監視に連動されたカメラの映像が設定された持続時間間画面に順次表示されます。



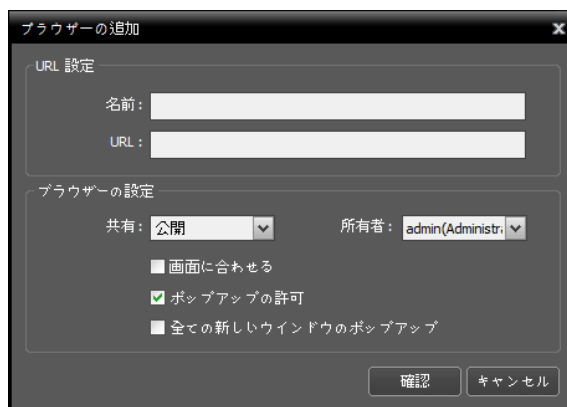
## ブラウザ実行

登録したブラウザを実行することができます。ブラウザを実行するためには、IDIS centerシステムにブラウザが登録されている必要があります。ブラウザ登録に関する詳しい内容は、次の説明をご参照ください。ブラウザリストから実行したいブラウザを選択した後、マウスで監視画面にドラッグ&ドロップしてください。選択したブラウザが画面で実行されます。



## ブラウザ登録

- 1 システムメニューで**設定**を選択した後、**デバイス**メニューを選択します。
- 2 位置パネルで**ブラウザ**をクリックした後、右側の位置リストパネルの下端にある **+** ボタンをクリックします。  
**ブラウザ追加**のウィンドウが表示されます。



- **URL設定** : URLの名前及びアドレスを入力します。
- **面に合わせる** : ウェブページのサイズをブラウザの画面のサイズに合わせませす。
- **ポップアップの許可** : ウェブページのポップアップ表示を許可します。
- **全ての新しいウィンドウのポップアップ** : ウェブページのポップアップを新しいブラウザで表示します。


## カメラの制御

制御ツールバー及び画面のメニューを利用してカメラを制御することができます。

### 制御ツールバー

カメラ画面を選択した後、マウスのカーソルを該当するカメラ画面に動かすと、制御ツールバーが表示されます。制御ツールバーを用いて選択したカメラを制御することができます。マウスのカーソルを各ボタンの上に動かすと該当するボタンのツールチップが表示されます。



- **(PTZ制御)**: カメラがPTZ制御機能をサポートしている場合、PTZを制御します。
- **(リモートコントロール)**: HDMIエンコーダ映像を、キーボードやマウスを使用して、直接リモート制御します。
- **(魚眼映像の歪み補正)**: 魚眼カメラの映像の歪みを補正します。
- **(Self-adjusting Video Mode)**: 映像モードを簡単に設定します。
- **(色調整)**: 現在の映像の明暗、コントラスト、彩度、色彩を調整します。  ボタンをクリックすると変更内容を全てキャンセルして元のイメージに戻ります。

本設定はIDIS centerプログラムの映像だけでなく、デバイスの映像にも適用されます。

- **(イメージ効果)**: イメージ効果の処理ができません。
- **(映像拡大)**: 映像を拡大します。
- **(カメラの順次監視)**: カメラの順次監視を開始または停止します。
- **(リスニング/トーク)**: デバイスのオーディオを受信するかデバイスにオーディオを送信します(両方向オーディオ対応モデルに限る)。
- **(テキストインビューア)**: テキストインビューア画面を表示します。テキストインイベント感知の際、該当するカメラのタイトルバーを青色で表示します。

テキストインイベントが感知された場合のみ

- **(簡単再生)**: 録画情報のある区間に対して簡単再生機能を使用することができます。
- **(緊急録画)**: 緊急録画を開始または停止します。緊急録画中にはカメラ画面の右側上段に緊急録画アイコンを表示します。
- **(Googleマップ)**: 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。
- **(速度グレース)**: 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。
- **(自動車情報)**: 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。

## 監視画面のメニュー

カメラ画面を選択した後、マウスの右ボタンをクリックすると、画面のメニューが表示されます。画面のメニューを用いて選択したカメラを制御することができます。

魚眼映像歪み補正	
簡単再生	▶
再生履歴	▶
30 秒前再生	I
その他	▶
録画データの再生	
PTZ制御	
色調整	
映像拡大	▶
画像処理	▶
アラーム・アウト	▶
テキストインビューア	
リスニング	
トーク	
オーディオブロードキャスト...	
緊急録画	
ホットスポット	
イベントスポット	
マップイベントスポット	
映像分析表示	
モーション感知エリア出力	
顔検出表示	
画面レート	▶
停止画像	▶
ブラウザ	
ストリーム情報	Tab
排除	▶

- **Fisheye Dewarping:** 魚眼カメラの映像の歪みを補正します。
- **簡単再生:** 録画情報のある区間に対して簡単再生機能を使用することができます。
- **再生履歴:** 簡易再生の履歴をカメラ装置当たり8個まで保存し、その履歴を再生します。
- **その他:** 単純再生に関するオプションを設定します。
- **録画データの再生:** 選択した画面にあるカメラの録画映像を再生タブで表示します。
- **PTZ制御、色調整、映像拡大、画像処理、トーク、緊急録画:** 制御ツールバーの該当ボタンをクリックするのと同じように動作します。
- **カメラ順次監視:** カメラの順次監視項目の移動と開

始、停止、一時停止、終了を使用することができます。(順次カメラの場合にのみ適用)。

- **映像補正:** イメージ効果の処理ができます。
- **アラーム・アウト:** アラーム出力のON/OFFをします。
- **テキストインビューア:** テキストインビューア画面を表示します。テキストインイベント感知の際、該当するカメラのタイトルバーを青色で表示します。



テキストインイベントが感知された場合のみ。

- **NVR聞く/話す:** NVR装置のオーディオを受信したり、NVR装置へオーディオを伝送したりします。
- **オーディオブロードキャスト:** 現在の監視タブにある全てのデバイスにオーディオをブロードキャストします。
- **マルチストリーム:** 該当するデバイスでリアルタイム監視映像に対してマルチストリームモードが設定されている場合、希望するストリームを選択することができます。
- **ホットスポット:** 選択したカメラ画面をホットスポット画面に設定します。
- **イベントスポット:** 選択したカメラ画面をイベントスポット画面に設定します。
- **マップイベントスポット:** 選択したカメラ画面をマップイベントスポット画面に設定します。
- **映像分析表示:** 映像分析データ (ピープルカウンティング、キューマネージメント、ヒートマップ)を監視映像の上に表示します。
- **モーション感知エリア出力:** 選択したカメラでモーション感知イベントが発生する場合、モーションが感知されるエリアを画面上に赤色のブロックで表示します。



ネットワークビデオエンコーダーの場合にのみ対応

- **顔検出表示:** 選択されたカメラから、顔感知イベントが発生した際、顔が感知される領域を画面上に表示します。


- **画面レート:** 映像の出力レートを設定します。
  - **画面に合わせる:** 画面比率と関係なくカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。
  - **画面に合わせる(比率維持):** 画面比率を維持したままでカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。
  - **映像レートにあわせる:** 映像のオリジナルレートにカメラ画面のエリアをあわせて映像を出力します。
  - **半分サイズ(×0.5)~4倍サイズ(×4):** 映像のオリジナルサイズを基準にして該当メニューで指定したサイズにカメラ画面に映像を出力します。

カメラ画面が該当サイズで映像を出力できるエリアが確保された場合にのみメニューが選択できます。




カメラ画面のサイズによって映像の上下左右が切れることがあります。映像拡大やホットスポット、イベントスポット、モーションブロック表示、機能の動作時、該当カメラ画面については本画面レートに対応せず、代わりに**映像比率に合わせる**が適用されます。

- **静止画保存:** 画面に出力された現在の映像を実際のサイズのイメージファイルで保存します。
- **ブラウザ設定:** 選択した画面をブラウザ画面に設定します。
- **ストリーム情報:** 選択したカメラのストリーム情報を見ることができます。
- **削除:** 現在の接続を解除します。










## PTZ制御

制御ツールバーで  (PTZ制御)ボタンをクリックすると、PTZ制御ツールバーが表示され、各ボタンを用いてPTZを制御することができます。PTZカメラのモデルによっては一部の機能は動作しないことがあります。



- ** (PTZ制御):**  (PTZ制御パネル)を表示したり非表示にします。PTZ制御パネルの矢印ボタンをクリックするか、カメラ画面上でマウスをドラッグしてPTZカメラの方向を調整します。
- ** (ワンクリック移動):** 映像においてユーザーが指定した位置が中央に来るようPan-Tiltを制御することができます。

ネットワークカメラの一部モデル接続時に限りません。

- **  (映像拡大/縮小):** 現在の映像を拡大または縮小します。
- **  (焦点を遠/近):** 遠くまたは近くにある映像にカメラの焦点をあわせます。
- **  (絞りを開く/閉じる):** カメラレンズの絞りを開いたり閉じます。
- **  (プリセット設定/表示):** 該当機能に対する内容は
- ** (自動焦点):** 映像の焦点がぼけた場合、ボタンをクリックすると焦点を自動的に調整します。

ネットワークカメラの一部モデル接続時に限りません。

- **📄 (詳細メニュー):** 詳細メニュー画面が表示され、該当カメラがサポートする拡張機能を制御することができます。各拡張機能に関する詳しい内容は、該当PTZカメラのユーザーマニュアルを参照してください。
- **✕ (閉じる):** PTZモードを終了して制御ツールバーに移動します。

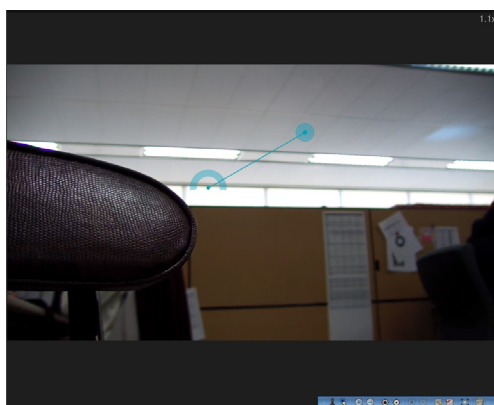
- 3 PTZ制御ツールバーで  (プリセット表示) ボタンをクリックすると**プリセット表示**画面が表示されます。希望するプリセットを選択すると、PTZカメラの方向が該当プリセットの位置に移動します。



### PTZ 速度基盤制御

特定の方向に制限されずより精密に Pan、Tilt、Zoom 動作を制御することができます。

- 本機能は一部のカメラでのみ対応しています。




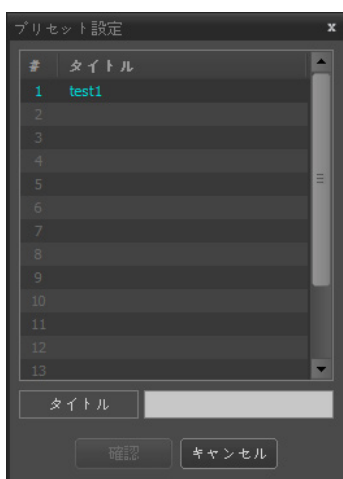
Pan、Tilt、Zoom 動作を実行します。マウスをドラッグする際、マウスカーソルのドラッグ量が動作速度を決定します。

- マウス左ボタンでドラッグ: 左/右 (Pan 制御)、上/下 (Tilt 制御)
- マウス右ボタンでドラッグ: Zoom 制御

### PTZプリセット制御

カメラの位置を**プリセット**で保存し、カメラを保存された位置にすぐ移動することができます。

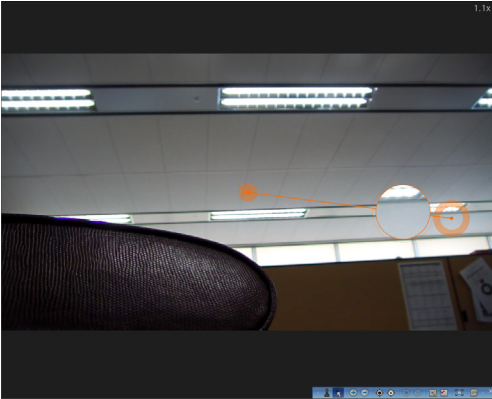
- 1 カメラ画面でPTZカメラの方向を希望する位置に移動させます。
- 2 PTZ制御ツールバーで  (プリセット設定) ボタンをクリックすると、**プリセット設定**画面が表示されます。プリセットタイトルを入力した後**確認** ボタンをクリックすると現在位置が、入力されたプリセットタイトルで保存されます。




## PTZ ワンクリック移動制御



映像においてユーザーが指定した位置が中央に来るよう Pan-Tilt を制御することができます。最小限の入力でユーザーが望む位置に正確に移動することができます。

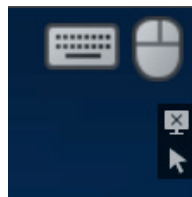
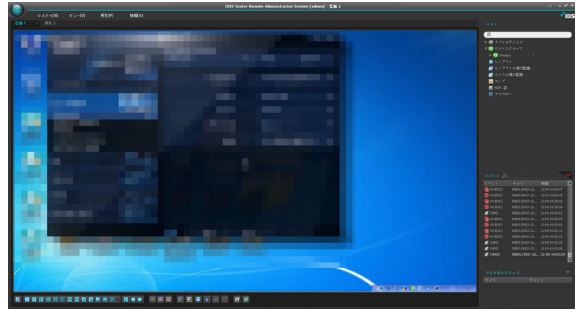
本機能は一部のカメラでのみ対応しています。







制御ツールバーから  (ワンクリック移動) ボタンをクリックし、PTZ 監視カメラペインの任意のポイントををクリックすると希望する位置に移動することができます。マウスドラッグすると、当該ポイントの映像が拡大表示されます。

## リモートコントロール


上端OSDに  アイコンが表示される監視映像のコントロールツールバーで  (リモートコントロール) ボタンをクリックするとリモート制御が有効にされ、制御関連のボタンが表示されます。映像右上のOSDを利用して状態を確認することができます。











-  /  (入カデバイスの状態): 活性化した入カデバイスを表示します。
-  (リモートコントロール止める): リモートコントロールを非活性化にする。
-  (マウスカーソルの位置を初期化): マウスを左上に配置します。







## 魚眼映像の歪み補正

コントロールツールバーから  (魚眼映像の歪み補正) ボタンをクリックすると魚眼映像の歪み補正コントロールツールバーが表示され、各ボタンを利用して歪み補正機能を制御することができます。魚眼映像カメラのマウントの種類は、装置に設定されたマウントの種類が基本値として設定されます。



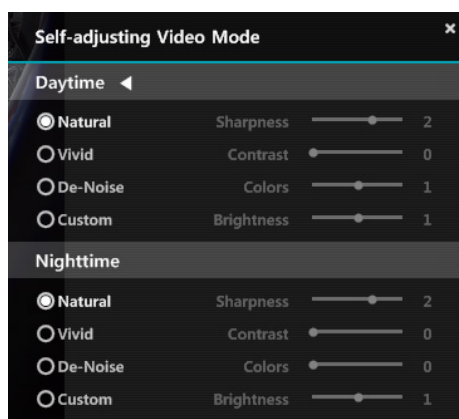
-  (マウントの種類): カメラの設置位置を設定します。この設定により設定可能な画面形態が変わります。
-  (イメージ比率): 映像出力画面の比率を設定します。
-  (レイアウト): メインビュー、メイン + 1~7 ペインビューモードを設定します。
-  (パノラマ): 映像のパノラマビューモードを設定します。
-  (選択モード): メインビュー映像からドラッグ&ドロップして領域を指定します。
-  (スポットモード): メインビュー映像に表示された歪み補正ファインダーを使って関心領域を移動、選択します。
-  (ドラッグアンドドロップ): メインビューとカメラペインを移動またはコピーすることができます。
-  (メイン PiP): メインビュー映像内部の領域指定を容易にする PiP ビューを実行します。

**PIP**とはPicture in Pictureの略語で、画面内に表示される小さい画面を指します。

-  (ePTZ): Pan, Tilt, Zoom 動作を実行します。マウスをドラッグする際、マウスカーソルのドラッグ量が動作速度を決定します。
  - マウス左ボタンでドラッグ: 左/右 (Pan 制御)、上/下 (Tilt 制御)
  - マウス右ボタンでドラッグ: Zoom 制御
-  (自動回転): 自動で回転するように設定します。+、-は方向を決定し、数字は速度を決定します。
-   (プリセット適用/保存): 保存された魚眼映像制御プリセットを読み込み、現在の魚眼映像制御をプリセットとして保存します。
-  (復元): 変更事項を全てキャンセルして、元のイメージに戻します。


## Self-adjusting Video Mode

映像モードを昼間、夜間でプリセット設定またはユーザー設定をすることができます。

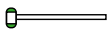




- プリセットは、**Natural**(自然さ)、**Vivid**(鮮やかさ)、**De-Noise**(ノイズリダクション)があります。
- **Custom**(カスタム)は、手動でそれぞれの値を設定することができます。設定値は、**Sharpness**(鮮明度)、**Contrast**(コントラスト)、**Colors**(色)、**Brightness**(明るさ)があります。

## 映像拡大


制御ツールバーで  (映像拡大) ボタンをクリックすると、現在の映像を拡大することができます。









-  (スライダー): 拡大倍率を調整します。マウスホイールを用いて拡大倍率を調整することもできます。
-  (実サイズを表示): 実サイズ拡大モードに入ります。実サイズ拡大モードでは、カメラ画面のサイズまたは映像の拡大レートとは関係なく映像の実際のサイズを基準にして映像が拡大されます。
-  (拡大ファインダー): PIP画面を表示したり非表示にします。PIP画面の四角は拡大されたエリアを表示します。

PIPとはPicture in Pictureの略語で、画面内に表示される小さい画面を指します。

## イメージ効果


制御ツールバーで  (イメージ効果) ボタンをクリックすると、イメージ効果の制御ツールバーが表示され、各ボタンを用いてイメージに効果を与えることができます。

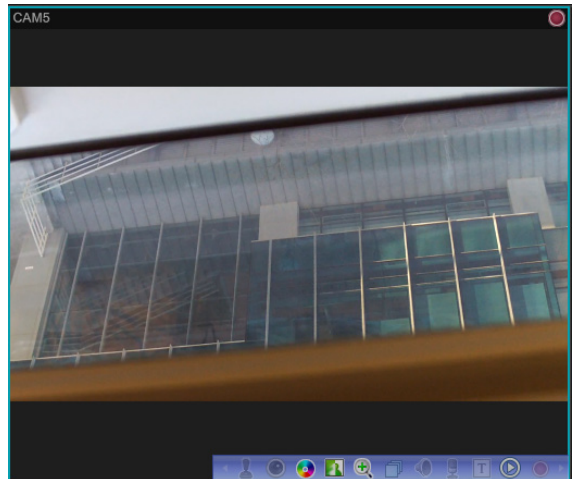


-  (ソフト): 映像をソフトにします。
-  (鮮明): 映像を鮮明にします。
-  (明度強調): 明度及び鮮明度を増加させます。
-  (明度の平準化): 明度を均等にします。
-  (境界線の検出): 映像の輪廓を抽出します。
-  (復元): 変更事項を全てキャンセルして、元のイメージに元に戻します。

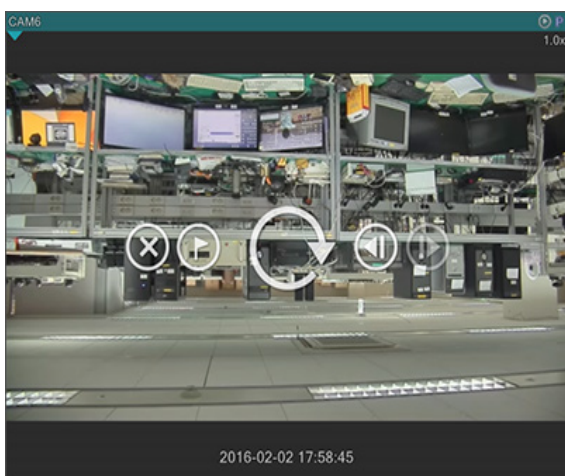
本設定はIDIS centerプログラムの映像にのみ適用され、デバイスの映像には適用されません。

## 簡単再生

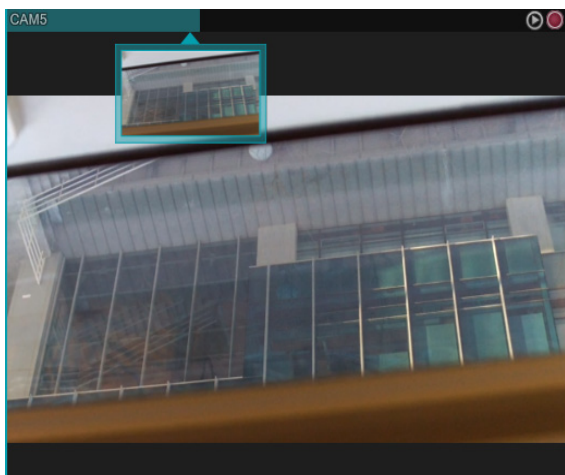
録画情報のある区間に対して簡単再生機能を使用することができます。コントロールツールバー  (簡単再生) のボタンをクリックした後、ポップアップメニューの再生時間を選択します。







- 画面上にマウスを位置させると、終了、ブックマーク、再生、前後移動ボタンを使用することができます。
- キーボードの左右ボタンおよびPageUp、PageDownを使用して再生位置を移動することができます。
- 映像のコンテキストメニューから、逆再生、低速再生を使用することができます。

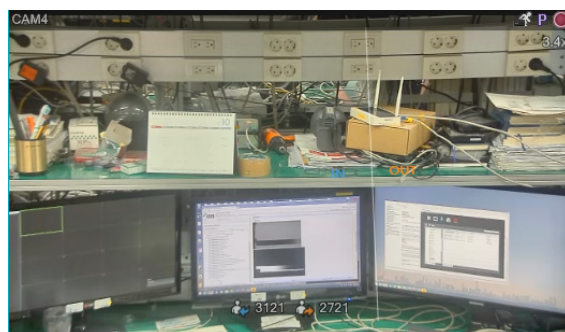


- 再生の進行状況はカメラのタイトルバーに表示されます。
- カメラタイトルバーの下部に表示される逆三角形のイメージをクリックすると、サムネイルイメージが表示されます。サムネイルイメージが活性化されている場合、カメラのタイトルバーの上にマウスを移動させると、当該地点のイメージが表示されます。
- カメラのタイトルバーの特定の位置をクリックすると、当該地点に移動します。

## 映像分析

監視映像を選択した後、マウスの右ボタンをクリックすると画面メニューが表示されます。画面メニューから**映像分析表示**にマウスを当てると現在の映像分析の種類に合わせてメニューが活性化されます。

### People Counting



- **映像分析表示**でPeople Countingを選択すると、ピープルカウンティングのリアルタイム In/Out情報が選択した映像の上に出力されます。

### Queue Management



- **映像分析表示**でQueue Managementを選択すると、領域別キュー情報(人数、待機時間)が選択した映像の上に出力されます。
- Queue Managementの場合、待機人数超過および待機時間超過イベントを確認することができます。

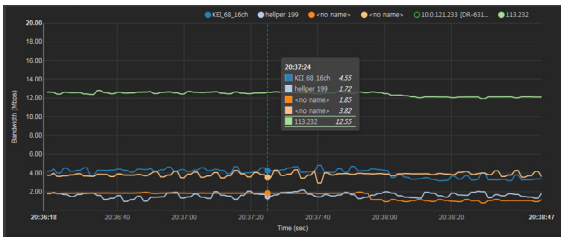
## Heat Map




- 映像分析表示でHeat Map Liveの表示を選択すると、ヒートマップイメージが選択した映像の上に出力されます。
- Heat Map Liveの複数のオプションを選択してヒートマップイメージを使用者に合わせて変更することができます。(イメージスペクトルの色、透明度、イメージ保管の有無)

## Live Network Monitor

各装置の帯域幅(ネットワーク伝送量)をリアルタイムで検知することができます。最大16個の装置までサポートされ、凡例の選択を通じて希望する装置だけを確認することができます。ビューメニューで**Live Network Monitor**を選択すると実行されます。



## テキストインビューア

制御ツールバーで  (テキストインビューア) ボタンをクリックすると、テキストインビューア画面が表示され、テキストインデータをリアルタイムで確認できます。

CAMI テキストインビューア

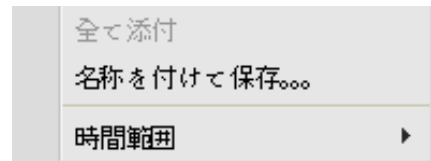
CAMI

14	Candy	1.50	6(s)	0.25	1.50
14	Pan cake	31.50	10(s)	3.15	31.50
14					
14		total : \$			33.00
14	14Thank you--				

1515	Item	Unit price	Qty	amount
15	8) Sandwich	3.95	4	15.80
15	10) Pan cake	3.15	2	6.30
15	2) Sprite	2.00	1	2.00
15	1) Coke Light	2.45	7	17.15
15	14) Mint Gum	0.75	1	0.75
15	6) Horrdog	3.50	2	7.00
15	3) Fanta	2.20	10	22.00
15	3) Fanta	2.20	5	11.00
15				
15		total : \$		82.00
15	15Thank you--			

テキストインビューア画面のタイトルバーをクリックすると、テキストインのポップアップメニューが表示されます。




- タブを集める:** それぞれのテキストインビューア画面を一つのパネルに集めます。
- 名前を付けて保存:** テキストインデータをテキストファイル(.txt)で保存します。
- 時間範囲:** テキストインイベント感知の際、該当テキストインデータの表示期間を設定します。テキストインデータはテキストインイベント発生後、設定した時間範囲内でテキストインビューア画面を通じて確認できます。

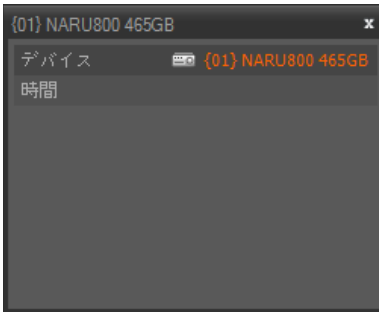
テキストインイベントが感知された場合のみ。



## 自動車情報

制御ツールバーで  (自動車情報) ボタンをクリックすると、自動車情報パネルを表示します。

本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。



映像が車の情報を持っている場合、該当映像の自動車情報を表示します。


## マップの制御

制御ツールバー及び画面のメニューを利用してマップを制御することができます。





### マップ制御ツールバー

マップを選択した後、マウスのカーソルを該当するマップに動かすと、制御ツールバーが表示されます。制御ツールバーを用いて選択したマップを制御することができます。マウスのカーソルを各ボタンの上に動かすと該当するボタンのツールチップが表示されます。



-  (以前のマップ、次のマップ): 現在マップにリンクされているマップに移動したかマップリストでマップを選択して現在のマップの画面にドラック&ドロップして他のマップへの接続が行われた場合、以前または次に接続されたマップに移動します。
- **AF (自動フォーカシング)**: 指定したイベント発生するとマップでそのイベントが発生したデバイス領域を拡大して表示します。自動フォーカシングの設定に関する内容は [p.45 マップ](#) 部分を参照してください。

異なるデバイスでイベントが同時に発生した場合、そのデバイスがすべて見える範囲内でキャンバスを拡大します。異なるデバイスでイベントが連続して感知された場合、設定された時間が経ってから後で感知されたイベントに自動的にフォーカシングが移動します。

-  (フォーカシングイベント): 自動フォーカシングを行うイベントを指定します。
-  (実サイズ): キャンバスの実際の大きさをマップで見せます。
-  (拡大ファインダー): PIP画面を表示したり非表示にします。PIP画面の四角は拡大されたエリアを表示します。自動に設定するとキャンバスが拡大された場合のみPIP画面を表示します。
-  (拡大スライダー): キャンバスの拡大倍率を設定します。



拡大ファインダー設定

- オフに設定された場合

マップ監視



イベントの発生



自動フォーカシング



- 自動またはオンに設定された場合

マップ監視



イベントの発生



自動フォーカシング



## マップ画面のメニュー

マップ画面を選択した後、マウスの右ボタンをクリックすると、画面のメニューが表示されます。画面のメニューを用いて選択したマップを制御することができます。



- **以前へ、次へ、自動フォーカシング、1倍サイズ (x1)、拡大ファインダー、ズームイン:** 制御ツールバーの該当ボタンをクリックすると同じように動作します。詳しい内容は、[p. 60 制御ツールバー](#)部分を参照してください。
- **マップリスト:** 以前または以後に接続されたマップのリストを表示します。リストでマップを選択するとそのマップに移動します。
- **リロード:** 現在のマップの接続を更新します。
- **フォーカシングイベント、フォーカシング期間:** 自動フォーカシングのフォーカシングイベントおよびフォーカシング期間を設定します。
- **静止画保存:** 画面に出力された現在の映像を実際のサイズのイメージファイルで保存します。
- **排除:** 現在の接続を解除します。

## ライブポップアップ

マップ監視時イベントが感知されたカメラのリアルタイム映像が監視できます。

- ☑ ライブポップアップリストにはIDIS centerプログラムで表示されたライブポップアップ画面のリストが表示されます。

## ポップアップ画面



画面を選択した後、マウスのカーソルを該当画面にあてるとコントロールツールバーが表示されます。コントロールツールバーを利用して該当カメラをコントロールすることができます。マウスのカーソルを各ボタンの上にあてると該当ボタンのツールチップが表示されます。

ポップアップ画面でマウスを右クリックすると、ポップアップ画面のメニューが表示されます。メニューを利用してポップアップ画面設定を変更することや該当カメラをコントロールすることができます。カメラコントロールメニューの場合、監視画面メニューの機能と同一です。詳しい内容は、[p. 61 監視画面のメニュー](#)部分を参照してください。

## ライブポップアップリスト



右上にある矢印ボタンをクリックすると、ライブポップアップメニューが表示されます。メニューを利用してポップアップ画面の設定を変更することができます。

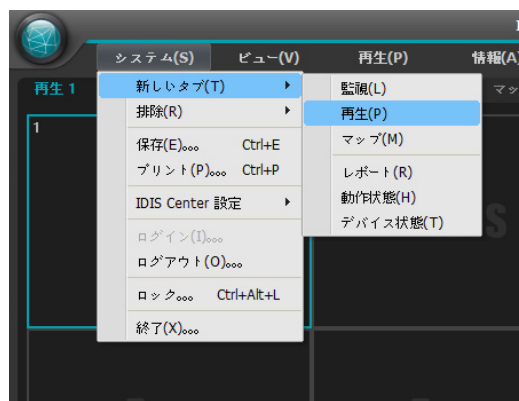


- **レイアウト:** ポップアップ画面の画面分割を選択します。
- **モニター:** デュアルモニターを使用する場合、ポップアップ画面を出力するモニターを選択します。
- **ライブポップアップ無視:** 時間を選択すれば、マップエディターでイベント動作中のライブポップアップの持続時間と関係なく、選択した時間中にはライブポップアップが動作しません。
- **タイムアウト解除:** 設定されたポップアップ画面の持続時間に関係なく、ポップアップ画面を手動で閉じるときに選択します。
- **すべて削除:** すべてのリストを削除します。

## 録画映像再生

録画映像を検索して再生したりUSB保存デバイスに動画ファイルで保存することができます。

- 1 デバイス及びIDIS centerシステムに録画された映像再生及び動画で保存は再生パネル(最大4つ)でサポートします。パネルタブに再生タブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**再生**をクリックしてタブを追加します。



- 2 **パネルタブ**で**再生タブ**をクリックします。
- 3 **サイトリスト**で接続するサイトを選択した後、再生画面にマウスでドラッグ&ドロップします。
- 4 各カメラの録画映像が画面に表示されます。



- 現在再生しているカメラ画面を選択した後、マウスでドラッグ&ドロップすると、再生を停止せず該当カメラ画面を再生画面の希望する位置に移動することができます。
- レイアウトが登録されている場合、レイアウトリストで希望するレイアウトを選択した後、再生画面にドラッグ&ドロップして該当するレイアウトに映像を再生することができます。
- 低仕様パソコンで同時に複数の高解像映像をライブ監視又は再生するとIDIS centerシステムの性能が落ちることがあります。

**5** パネルのツールバー、タイムテーブル、制御ツールバー及び画面のメニューを用いて録画映像を再生します。



## パネルのツールバー

パネルの下段にあるツールバーを用いて録画映像を検索して該当する映像を再生することができます。

- 連結されたデバイスのモデル及びバージョンによってツールバーが異なることがあり、一部の機能がサポートされない場合もあります。



- / (イベント検索/タイムラプス検索): イベント検索とタイムラプス検索の検索モードを変更します。
- (検索条件): イベント検索のための検索条件を設定します。検索条件に関する詳しい内容は、DVRの使用マニュアルを参照してください。
- (カレンダー): 特定日の映像を検索します。日付を選択すると、タイムテーブルに該当日の録画データが表示されます。カレンダーに録画映像がある日は活性化されて表示されます。
- (時間移動): 特定時点の映像を検索します。
  - 時間移動: 時間設定画面が表示されると、録画映像の時間を入力し、該当する時間の映像に移動します。**Load Adjacent Frame**を選択すると、該当の時間に映像がない場合、一番近い時間の映像に移動します。
  - 最初に移動: タイムテーブルに表示された録画データの中で最初に録画された映像に移動します。
  - 最後に移動: タイムテーブルに表示された録画データの中で最後に録画された映像に移動します。
- (その他メニュー): メニューが表示されます。
  - データソース: 検索する録画画像の位置を選択します。

ローカル検索	DVRのメイン保存装置の録画画像を検索します。
アーカイブ検索	DVRのアーカイブ保存装置の録画画像を検索します。
外付け検索	DVRにつながっている他のシステムで録画された保存デバイスの録画映像を検索します。 <input checked="" type="checkbox"/> 仕様及び、バージョンにより、使用できない場合があります。

- **Overwrite Protection:** デバイスで上書き保護が設定された録画映像を確認することができます。
- **ブックマーク追加:** 録画映像のブックマークが可能です。
- **遠隔地点パネル:** フローティングされたパネル又は全体画面で地点リストを表示、または非表示することができます。本機能は一部パネルのみ対応します。
- **セグメント選択:** DVRの時間が過去に変更され、時間重複現象により、同一時間帯に一つ以上の映像が存在する場合、希望の区間を選択します。

- 時間単位のタイムテーブルを提供するDVRの場合にのみ対応。

- (動画の保存): 録画映像を専用ビューアーファイル(.exe)またはAVIファイル(.avi)で保存します。
  - 静止画保存: 画面に出力された現在の映像を実際のサイズのイメージファイルで保存します。
  - イメージを保存/出力: 現在の画面に表示されたイメージを保存または印刷します。
  - パノラマスクリーン保存: 全てのパネルにあるイメージを保存します。

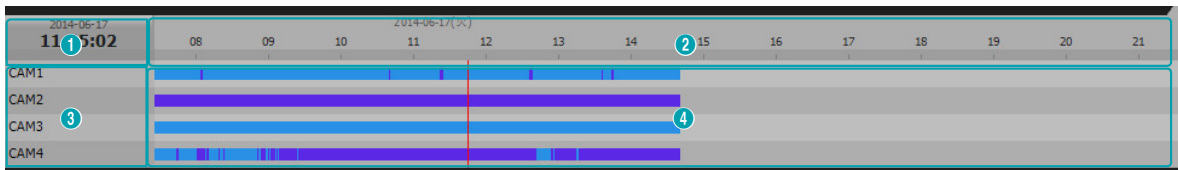
- **🔖 (ブックマーク):** 録画映像のブックマークが可能です。詳しい内容は

**p. 79** **ブックマーク(Bookmark)**部分  
を参照ください。
- **📅 (再生中のイベント):** 録画映像の再生時にイベント録画映像があると、該当イベントのリストを表示します。  
イベントリストでイベントをダブルクリックすると、該当イベントの録画映像が表示されます。
- **📄 (モーションの停止映像):** イベントベース録画(イベント及びプリイベント)中に録画された映像の停止映像を  
再生パネルに表示します。
- **📄 (テキスト-インパネル):** テキスト-インパネルを表示します。テキスト-インパネルは現在IDIS centerシステ  
ムに接続されているデバイスのテキスト-インデータを表示します。テキスト-インデバイスにカメラが連動され  
ていて、連動されたカメラの映像が現在の監視タブに見える場合、カメラの画面にもテキスト-インのデータを表  
示します。テキスト-インのデータの表示期間は**ライブテキスト-イン時間範囲**設定で変更できます。**ライブテキ  
スト-イン時間範囲**設定に関する詳しい内容は


















**p. 43** **リアルタイムのイベント**部分を参照してください。
- **⏮️/⏪️ (ステップ再生):** フレームまたは時間単位で前または次の映像に移動します。⏮️ および ⏪️ ボタンの間に  
ある矢印をクリックして映像の移動間隔を設定することができます。
- **⏮️/⏩️ (高速逆再生/高速再生):** 録画映像を高速で逆再生または再生します。
- **⏸️/▶️ (停止/再生):** 選択したデバイスの録画映像再生を中止または開始します。
- **🎛️ (ジヨグシャトル):** 再生方法および速度を調整することができます。ジヨグシャトルの縦線は現在の再  
生方向及び速度を示します。縦線が中央から左にあると、映像を逆再生し、右側にあると正再生します。中央か  
ら遠いほど再生速度が速くなります。縦線をクリックしてジヨグシャトルの希望する位置にマウスでドラッグし  
た後、マウスのボタンをそのまま押していると、該当する速度で映像を再生します。マウスボタンから手を離す  
と縦線が中央に戻り、映像再生が止まります。🔒(ロック)ボタンをクリックした後、縦線をドラッグ&ドロップす  
ると、移動した位置に縦線を固定させます。
- **🎛️ (ジヨグシャトル):** 再生速度を調整することができます。ジヨグシャトルの縦線は現在の再生速度を示  
します。
- **⏸️/⏪️ (再生 (タブ)/一時停止 (タブ)):** 現在の画面に表示されたすべての録画映像再生を中止または開始しま  
す。
- **📄 (ユーザーのレイアウト登録):** 現在の画面の分割を保存します。
- **📄 (画面分割):** 画面分割を変更します。📄 ボタンをクリックしてより多様な画面分割  
を選択することができます。📄 または 📄 ボタンをクリックすると前または次のカメラグループに移動します。

## タイムテーブル/イベントリスト

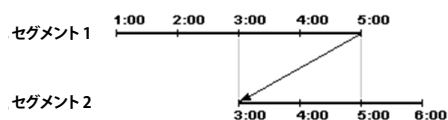
タイムラプス検索モードの場合、画面の下段にあるタイムテーブルはカメラ別の録画情報を表示します。タイムテ  
ーブルの右上段にある ▲ ボタンをクリックすると、画面にあるすべてのカメラの録画情報を表示し ▼ ボタンをク  
リックすると再生画面から選択したカメラの録画情報のみを表示します。



- ☑️ 接続されたデバイスのモデルによって、タイムテーブルが異なることがあります。

①	現在の再生日/ 時間	タイムテーブルで映像の現在の再生時点を表示します。										
②	録画期間	録画映像の日付及び時間区間を表示します。任意の位置をクリックした後、左側または右側にドラッグすると、以前または以後の日付及び時間に移動します。キーボードのCtrlキーを押したまま、マウスホイールを動かすと時間区間を拡大して表示することができます。										
③	カメラ名	カメラカメラの名前を表示します。										
④	録画データ	<p>録画情報を分単位または時間単位で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>秒単位、分単位タイムテーブル</b>(一部のDVRモデルを除いた全てのデバイス) <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>赤色の縦線:</b> タイムテーブルで映像の現在の再生時点を表示します。マウスで望みの時間をクリックすると、該当時間帯の最初の録画映像が表示されます。</li> <li>- <b>黄色の区分線:</b> 時間重複現象が発生した場合、セグメントを区分します。その場合、タイムテーブルで右側に表示されるほど最新のデータです。再生パネルの  (カレンダー) ボタンをクリックすると、望みのセグメントにすぐ移動できます。</li> <li>- <b>バーの色:</b> 録画モードを表示します。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="404 833 969 1024"> <tr> <td>青色 </td> <td>タイムラプス録画</td> </tr> <tr> <td>紫色 </td> <td>イベント録画</td> </tr> <tr> <td>黄色 </td> <td>プライベート録画</td> </tr> <tr> <td>赤色 </td> <td>緊急録画</td> </tr> <tr> <td>緑色 </td> <td>デバイス接続の一時中断による非正常録画</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>- タイムテーブルの拡大によって1秒~1分単位で録画映像を移動します。</li> </ul> <li>● <b>時間単位タイムテーブル</b>(一部のDVRモデル) <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>黄色のバー:</b> タイムテーブルで映像の現在の再生時点を表示します。</li> <li>- <b>ピンク色のバー/灰色のバー:</b> 時間重複現象が発生した場合、現在の画面に出力された映像のセグメントはピンク色のバーで、現在の画面に出力されていない映像のセグメントは灰色のバーで表示されます。灰色のバーで表示されたセグメントの映像は再生できません。再生パネルの  (その他メニュー) ボタンをクリックして画面に出力するセグメントを変更できます。</li> </ul> </li> </li></ul>	青色 	タイムラプス録画	紫色 	イベント録画	黄色 	プライベート録画	赤色 	緊急録画	緑色 	デバイス接続の一時中断による非正常録画
青色 	タイムラプス録画											
紫色 	イベント録画											
黄色 	プライベート録画											
赤色 	緊急録画											
緑色 	デバイス接続の一時中断による非正常録画											

- IDIS centerシステムまたはデバイスの時間が過去に変更されて録画された場合、同一の時間帯に一つ以上の録画映像が存在する可能性があります(時間重複現象)。この場合、重なった時間の録画映像はセグメントを区分して再生する必要があります。



例えば、1時より5時までの録画映像が存在し、使用者がシステム時間を5時より3時に変更した後に6時まで録画を行うと3時より5時までの録画映像が二つ存在することになります。この場合に3時より5時までの時間帯には二つのセグメントは発生します。

## イベントリスト

イベント検索モードの場合、画面下段にイベントリストが表示されます。SD(SDHC)メモリーカード検索時にはSD(SDHC)メモリーカードの録画機能が設定されている間に発生したイベントのみが検索されます。

イベント	イベント発生	デバイス	日時範囲
モーション検知	CAM1	CAM1	2015-12-01 16:23:23
モーション検知	CAM2	CAM2	2015-12-01 16:23:23
モーション検知	CAM2	CAM2	2015-12-01 16:23:23
モーション検知	CAM1	CAM1	2015-12-01 16:23:23
モーション検知	CAM1	CAM1	2015-12-01 16:23:22

イベント録画映像がある場合、リストでイベントをクリックすると、画面に該当イベントの録画映像が表示されます。イベントリスト右上の 🔍 ボタンをクリックすると次の結果が表示されます。 ⚙️ ボタンをクリックして時間を設定すると、イベント選択時に、イベント時間より設定された時間の分だけ以前の録画映像に移動します。

## 制御ツールバー

カメラ画面を選択した後、マウスのカーソルを該当カメラ画面に動かすと、制御ツールバーが表示されます。マウスのカーソルを各ボタンの上に動かすと、該当するボタンのツールチップが表示されます。



- 🌀 (魚眼映像の歪み補正): 魚眼カメラの映像の歪みを補正します。
- 🔍 (オブジェクト/モーション検索): デバイスの録画映像またはIDIS centerシステムの緊急録画映像で、オブジェクトまたはモーションの変化が検索できます。
- ⏏ (映像拡大): 現在の映像を拡大します。

- 🎨 (色調整): 現在の映像の明暗、コントラスト、彩度、色彩を調整します。 🔄 ボタンをクリックすると、変更内容をすべてキャンセルして元のイメージに復戻ります。

本設定はIDIS centerプログラムの映像のみに適用され、デバイスの映像には適用されません。

- 🖼 (イメージ効果): イメージに効果を与えます。
- 🎧 (オーディオ再生): オーディオが録音された場合、映像再生時に録音されたオーディオと一緒に再生されます。

1×1分割画面でのみ機能します。

- 📍 (Googleマップ): 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。
- 📈 (速度グレース): 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。
- 🚗 (自動車情報): 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。

## 再生画面のメニュー

カメラ画面を選択した後、マウスの右ボタンをクリックすると、画面のメニューが表示されます。



- 🌀 (魚眼映像の歪み補正): 魚眼カメラの映像の歪みを補正します。
- 🖼 (映像拡大): 制御ツールバーの該当ボタンをクリックすると同じように動作します。
- 🖼 (画像処理): イメージに効果の処理ができます。

- **物体/モーション検索:** デバイスの録画映像または IDIS centerシステムの緊急録画映像で、オブジェクトまたはモーションの変化が検索できます。
- **Draw Face Detection:** 選択されたカメラから、顔感知イベントが発生した際、顔が感知される領域を画面上に表示します。
- **画面レート:** 映像の出力レートを設定します。
  - **画面に合わせる:** 画面比率と関係なくカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。
  - **画面に合わせる(比率維持):** 画面比率を維持したままカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。


カメラ画面のサイズによって映像の上下左右が切れることがあります。映像拡大機能の動作時、該当カメラ画面については本画面レートに対応せず、代わりに**映像比率に合わせる**が適用されます。

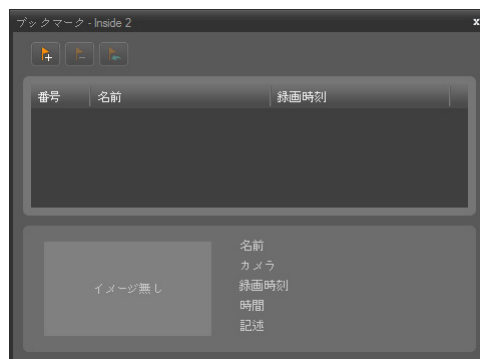
- **映像レートにあわせる:** 映像のオリジナルレートにカメラ画面のエリアをあわせて映像を出力します。
- **半分サイズ(×0.5)~4倍サイズ(×4):** 映像のオリジナルサイズを基準にして該当メニューで指定したサイズでカメラ画面に映像を出力します。例えば、実際のサイズ(×1)を選ぶと、オリジナル映像の実際のサイズで出力します。

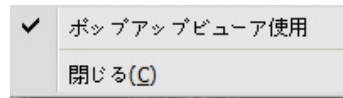
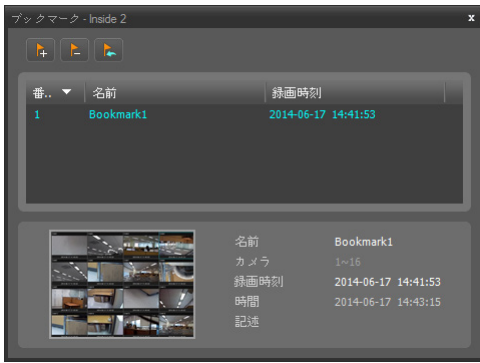
カメラの画面が指定したサイズで映像を出力できるだけのスペースが確保されていないと、メニューが活性化しません。

- **静止画保存:** 画面に出力された現在の映像を実際のサイズのイメージファイルで保存します。
- **Stream Information:** 選択したカメラのストリーム情報を見ることができます。
- **排除:** 接続を解除します。

## ブックマーク(Bookmark)

カメラ画面を選択した後、パネルツールバーから  (ブックマーク) ボタンをクリックすると、該当録画映像をブックマークすることができます。



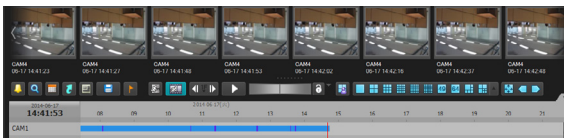


- **ポップアップビューア使用:** ポップアップビューア画面に対応します。

- 1 **(ブックマーク追加)**ボタンをクリックします。
- 2 ブックマーク名及び説明を入力します。**登録**ボタンをクリックすると該当録画映像がブックマークされます。
- 3 ブックマークリストで、ブックマークを選択すると下記の欄に該当ブックマーク情報が表示されます。 **(録画データ再生)**ボタンをクリックすると再生画面に該当ブックマーク映像が表示されます。 **(ブックマーク削除)**ボタンをクリックすると該当ブックマークを削除します。

## モーションイベントの停止映像

パネルツールバーで **(モーションイベントの停止映像)**ボタンをクリックすると、イベントベース録画(イベント及びプリイベント)中に録画された映像の停止映像を再生パネルに表示します。



選択した停止映像の録画情報がタイムテーブルに表示されます。タイムテーブルの録画データで任意の位置をクリックすると、選択した時間の停止映像が表示されます。マウスのカーソルを停止映像上に置くと、ポップアップビューア画面が該当停止映像の上段に表示されます。

## オブジェクト/モーション検索

制御ツールバーで (オブジェクト/モーション検索)ボタンをクリックすると、下段にオブジェクト/モーション検索パネルが表示され、デバイスの録画映像またはIDIS centerシステムの緊急録画映像でオブジェクトまたはモーションの変化が検索できます。



- **(検索領域指定):** マウสดラッグを利用して、カメラ画面にオブジェクトまたはモーションの変化を検索する領域を設定します。
- **(検索領域削除):** マウสดラッグを利用して、カメラ画面に設定された検索領域を削除します。
- **(参照イメージ設定):** カメラ画面に現在表示されたイメージを、オブジェクトの変化を検知するための参照イメージに設定します。
- **(参照イメージ表示):** 参照イメージをPIP画面に表示したり隠します。

- 参照イメージ設定および確認は、オブジェクト検索のみ該当します。





- **クエリー方法:** クエリー方法を選択します。
  - **モーション検索:** 連続された2つの録画映像を比較して検索領域で変化が発生した場合その映像を検索します(例: モーションがあった場合)。
  - **オブジェクト検索:** 参照イメージと比較して検索領域で変化が発生し設定時間変化が持続される場合その映像を検索します(例: 物体がなくなった場合)。
- **感度:** 変化感知の感度を設定します。値が大きい方がより敏感に感知します。
- **検索ブロック数:** 変化感知最小ブロックを選択します。設定されたブロック数より少ない変化が感知される場合、変化が発生しないこととなります。
  - モーション検索のみ該当します。
- **参照映像に対する変化率:** 変化感知の最小比率を選択します。設定された比率より少ない変化が感知された場合、変化が発生しないこととなります。
  - オブジェクト検索のみ該当します。
- **有効時間:** 変化感知時、変化が発生したと感知するまでの時間を設定します。変化が感知されてから指定された時間持続しないと変化がないこととなります。


## 映像拡大

制御ツールバーで (映像拡大) ボタンをクリックすると、現在の映像を拡大することができます。









- (スライダー): 拡大倍率を調整します。マウスホイールを用いて、拡大倍率を調整することもできます。
- (実際のサイズを表示): 実際サイズ拡大モードに入ります。実際サイズ拡大モードではカメラ画面のサイズまたは映像の拡大レートとは関係なく映像の実際のサイズを基準にして映像が拡大されます。
- (拡大ファインダ): PIP画面を表示したり非表示にします。
  - PIP画面の四角は拡大されたエリアを表示します。

## イメージ効果


制御ツールバーで  (イメージ効果) ボタンをクリックすると、イメージ効果の制御ツールバーが表示され、各ボタンを用いてイメージに効果を与えることができます。

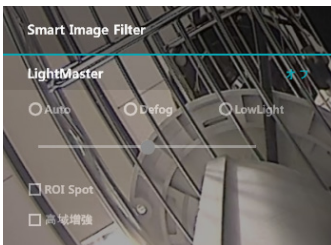
この設定は録画映像には適用されません。



-  (ソフト): 映像をソフトにします。
-  (鮮明): 映像を鮮明にします。
-  (明度強調): 明度及び鮮明度を増加させます。
-  (明度の平準化): 明度を均等にします。
-  (境界線の検出): 映像の輪郭を抽出します。
-  (復元): 変更事項を全てキャンセルして、元のイメージに戻します。

## Smart Image Filter

録画映像の左下から  (Smart Image Filter) ボタンをクリックすると、画像の状態や目的に合わせて画像にフィルタを適用することができます。

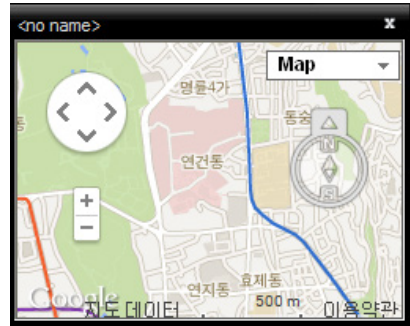




- Auto, Defog, LowLight フィルタを適用して、値を設定します。
- ROI Spot: 画面の特定の領域のみをフィルタを適用します。
- 高域増強: 高域増強フィルタを適用します。


## Googleマップ

制御ツールバーで  (Googleマップ) ボタンをクリックすると、Googleマップパネルを表示します。

本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。



映像がGPS情報を持っている場合、Googleマップ上で、該当映像の自動車の位置()、進行方向()及び移動経路(赤線 - “HDP”地点のデバイスのみ該当)が検索できます。“マップ”を表示、“衛星”を表示(“地形”表示する/しない)はGoogleマップから、支援する機能です。

Googleマップ上で、自動車の移動経路(赤線)をクリックするか、自動車位置()アイコンをクリックした後、マウスでドラック&ドロップすると該当位置の録画映像を画面に見せます(“HDP”地点のデバイスのみ対応)。

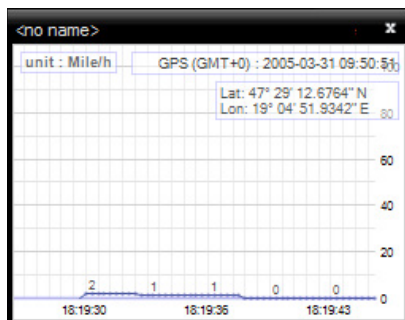
車の位置及び進行方向を確認する際、該当時点の自動車が速度グレープパネルに連動して表示されます。



## 速度グレース

制御ツールバーで  (Googleマップ) ボタンをクリックすると、Googleマップパネルを表示します。

本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。




映像がGPS情報を持っている場合、Googleマップ上で、該当映像の自動車の位置、進行方向び移動経路(赤線-HDP地点のデバイスのみ該当)が検索できます。

マップを表示、衛星を表示(地形表示する/しない)はGoogleマップから、支援する機能です。

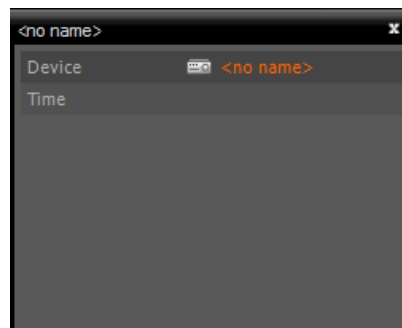
Googleマップ上で、自動車の移動経路(赤線)をクリックするか、自動車位置アイコンをクリックした後、マウスでドラック&ドロップすると該当位置の録画映像が画面に表示されます(HDP地点のデバイスのみ対応)。

自動車速度を確認する際、該当時点の自動車位置及び進行方向がGoogleマップパネルに連動して表示されます。

## 自動車情報


制御ツールバーで  (自動車情報) ボタンをクリックすると、自動車情報パネルを表示します。

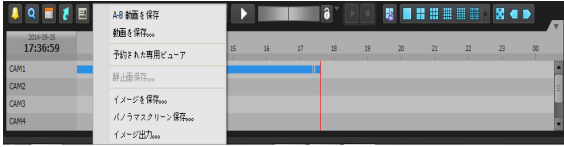
本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。



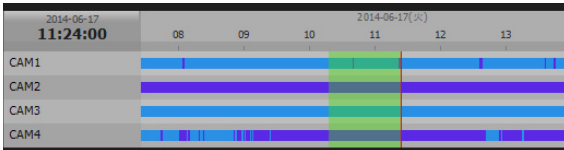
映像が車の情報を持っている場合、該当映像の自動車情報を表示します。

## 録画映像を動画で保存

録画映像をUSB保存デバイスに動画ファイルで保存することができます。再生パネルの下段にあるツールバーで  (動画保存)ボタンをクリックすると動画保存メニューが表示されます。



- **A-B動画を保存:** 動画で保存する映像の区間をタイムテーブルを用いて設定します。動画保存メニューで、**A-Bの動画を保存**を選択した後、タイムテーブルで保存する映像の開始サイトをクリックし、映像の開始点と終了点をクリックして、ゾーンを指定します。**動画を保存**画面が表示されたら、該当区間の映像を専用のビューアーファイル(.exe)またはAVIファイル(.avi)で保存することができます。



- **動画を保存:** 動画で保存する映像の区間を直接入力して設定します。動画保存メニューで、**動画を保存**を選択します。**動画を保存**画面が表示されたら、該当する区間の映像を専用ビューアーファイル(.exe)またはAVIファイル(.avi)で保存することができます。
- **テキストインデータ保存:** 保存するテキストインデータのセクションを直接入力して設定します。テキストインデータをテキストファイル(.txt)に保存します。
- **予約された専用ビューア:** 予約された動画保存状態をリアルタイムで確認することができます。予約リストから**位置**を選択した後、**今すぐスタート**、**削除**ボタンをクリックすると、その機能を使用することができます。また、**リロード**ボタンをクリックし、予約された動画保存状態をリロードすることができます。
- **静止画保存:** 画面に出力された現在の映像を実際のサイズのイメージファイルで保存します。

- **イメージを保存/イメージ出力:** 現在の画面に表示されたイメージを保存または印刷します。
- **パノラマスクリーン保存:** 全てのパネルにあるイメージを保存します。

## 専用のビューアーファイルで保存

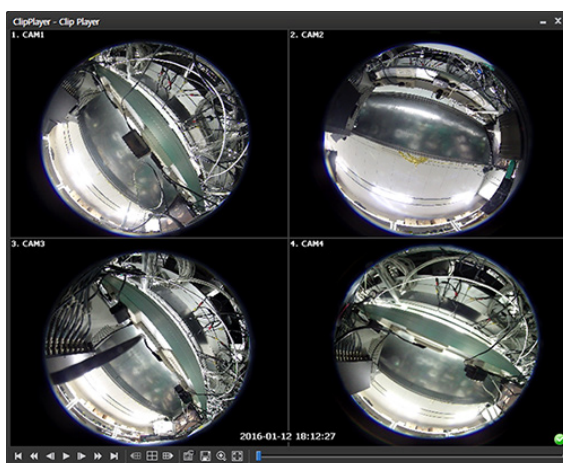
録画映像を専用ビューアーファイル(.exe)で保存します。



- **開始時刻、終了時刻:** 動画で保存する映像の日付及び時間を入力します。
  - 最初の映像オプションを選択すると、一番最初に録画された映像の日付及び時間に設定します。
  - 最後の映像オプションを選択すると、一番最後に録画された映像の日付及び時間に設定します。
  - 1分、3分、10分、30分または1時間ボタンをクリックすると、タイムテーブルで現在選択された時間を基準に該当する間隔の分、時間をスタート時刻及び終了時刻に増減します。
- **専用ビューアー、AVI:** 専用ビューアーを選択します。
- **パスワード保存:** 動画を再生するためのパスワードを設定します。パスワードを設定すると再生プログラムを実行する時、パスワード入力を要求します。
- **キーフレームのみ保存:** 設定された周期にしたがってキーフレームのみ保存します。
- **テキストインデータ含む:** 該当録画映像にテキスト入力情報がある場合、テキスト入力情報を映像と共に保存します。

- **プレーヤー未包含:** セルフプレーヤープログラムを除いて録画映像のみ保存します。

- ☑ この場合、ファイルサイズ及び保存時間が減少しますが保存されたファイルを再生するためにはIDIS centerソフトウェアのプログラムが設置されたフォルダ(¥Client¥selfplayer)で提供されるセルフプレーヤープログラム(ClipPlayer.exe)を実行する必要があります。
- デバイスの仕様及びバージョンによっては該当機能は支援されない場合があります。



- **予約:** 動画保存機能を予約することができます。予約期間を設定すると、設定された時刻に動画保存が実行されます。

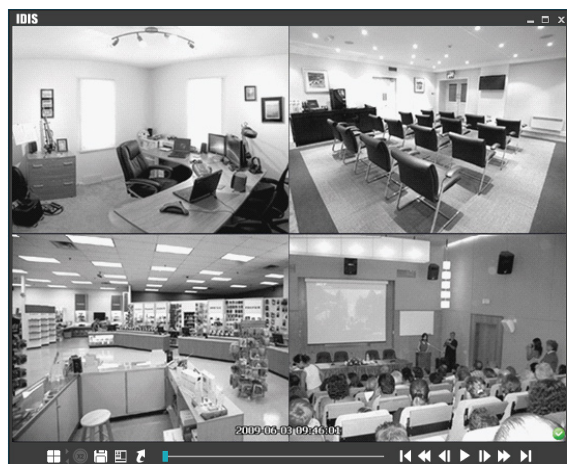
- ☑ 保存中である録画映像の容量が2GBに達するとファイルを分割して保存し続けるか確認するメッセージを表示します。

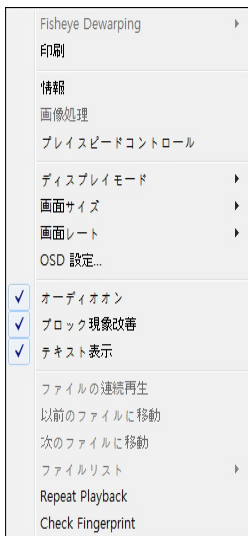
	最初に移動		高速巻き戻し
	最後に移動		一倍速再生
	一画面ずつ逆再生		高速再生
	一画面ずつ再生		

### 専用ビューアーファイルの再生

専用ビューアーファイルは、ファイル自体が再生プログラム(クリッププレーヤー)を含んでいるため、再生のための別途のソフトウェアをインストールする必要がありません。該当ファイルをダブルクリックすると、再生プログラムがすぐ実行され、画面に映像が表示されます。再生プログラムの右下段のスクロールバーを動かして希望する時刻の映像にすぐ移動することができます。☒ ボタンをクリックすると再生プログラムを終了します。

- : 現在の分割画面を基準にして以前のカメラグループに保存された映像がある場合、以前のカメラグループに移動します。
- : 画面分割が4 → 8 → 9 → 16 → 20 → 25 → 分割に順に変更されます。
- : 現在の分割画面を基準にして次のカメラグループに保存された映像がある場合、次のカメラグループに移動します。
- : 再生プログラムの属性を設定することができます。





- **Fisheye Dewarping:** 魚眼映像デ・ワーピング機能を制御することができます。詳しい機能は下記のデ・ワーブ機能メニューを参照してください。

- **印刷:** 現在の映像を印刷します。

- **情報:** 現在の映像画面の番号、カメラ名、録画時間、録画モード、ファイルのサイズ、解像度などの情報を表示します。

- **画像処理:** 映像の明るさを調整したり、イメージフィルターを適用します。

1×1分割画面でのみ機能します。

- **プレイスピードコントロール:** 再生及び FF/RW(高速再生/逆再生)速度を変更します。

- **ディスプレイモード:** ディスプレイモードを選択します。画面が表示されなかったり、異常に表示される場合、ディスプレイモードを変更します。

- **画面サイズ:** 再生プログラムの画面サイズを選択します。

- **画面レート:** 画面に表示される映像の出力レートを変更します。

- **OSD 設定:** 画面に表示される基本設定を変更します。

- **オーディオオン:** 該当映像を録画した時、オーディオも一緒に録音すると、再生時にオーディオが出力されます。

1×1分割画面再生時にのみ機能します。

- **ブロック現象改善:** 拡大映像の階段(ブロック)現象を改善して出力します。使用するPCのCPUの仕様が低く再生が遅い場合、設定を解除すると、遅くなる現象を少し改善することができます。

- **テキスト表示:** 映像にテキスト入力情報がある場合テキスト入力情報を表示します。単一画面モードではテキスト入力情報が映像と一緒に表示されます。分割画面モードではカメラ画面でマウス右クリックしてテキストイン出力メニューを選択します。

- **ファイル連続再生:** 分割して保存されたファイルを再生する際、各ファイルを自動で連続再生します。例えば、録画映像がabc\_01.exe、abc\_02.exe、abc\_03.exeに分割して保存された場合、各ファイルを実行する必要はありません。abc\_01.exeファイルを実行するとabc\_01.exe、abc\_02.exe、abc\_03.exeのファイルが連続で再生されます。


- **以前のファイルに移動:** 分割して保存されたファイルを再生する際、現在再生中もしくは再生待機中の以前のファイルに移動します。

- **次のファイルに移動:** 分割して保存されたファイルを再生する際、現在再生中もしくは再生待機中の次のファイルに移動します。

- **ファイルリスト:** 分割して保存されたファイルを再生する際、連続で再生ができるファイルのリストです。ファイルを選択すると、該当ファイルに移動します。

- **Repeat Playback:** 録画したファイルを再生した後、再び再生します。


- **Check Fingerprint:** ファイルの全区間に対し、有効性を検査します。

- : 現在の映像を保存することができます。








- **現在映像の保存:** 現在画面をイメージファイルで保存します。
- **現在映像の保存(1倍サイズ):** 現在画面を1倍サイズのイメージファイルで保存します。

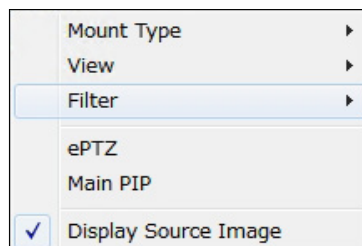
1×1分割画面でのみ機能します。

- **クリップコピー保存:** 映像の特定区間を実行ファイルで保存します。
- **動画保存:** 映像の特定区間をAVIファイル(.avi)で保存します。
- **クリップコピーログ:** クリップコピーのログ情報をテキストファイルで保存します。クリッププレーヤーの映像をクリップコピーする時、ログ上の使用者情報はInternal-Copyと表記されます。
- **Save Frame Info:** フレーム情報をCSVファイルの形式で保存します。
- : 画面を拡大して見るか、1倍サイズで見ることができます。画面を拡大した場合、拡大された画面上でマウスをクリックした後、カーソルを動かして拡大された画面の位置を変更することができます。

1×1分割画面でのみ機能します。

- : 映像を全体画面で見ることができます。
- 、: 再生プログラムの右下段に表示されます。映像が改竄されなかったことが確認されたら  アイコンが出力され、映像が改竄されると  アイコンが出力されて再生を停止します。

- Fisheye Dewarping



- **Mount Type:** カメラの設置位置を設定します。Auto、Wall、Ceiling、Desktopのいずれかを選択することができます。この設定により設定可能な画面形態が変わります。
- **View:** 元の魚眼映像を表示します。Single、Quad、パノラマのいずれかを選択することができます。ePTZ機能がオンになっている場合、マウスの右・左ボタンをクリックし、Pan、Tilt、Zoomを制御することができます。メインPiPが基本的に選択されます。
- **Filter:** 画質改善のためのフィルタを設定します。Nearest、Linear、CubicそしてLinear、NN OnPTZのいずれかを選択することができます。
- **ePTZ:** Pan、Tilt、Zoom 動作を実行します。マウスをドラッグする際、マウスカーソルのドラッグ量が動作速度を決定します。マウスの右ボタンドラッグは左右 (Pan制御)、上下 (Tilt制御) を制御し、マウスの右ボタンドラッグはZoomを制御します。
- **Main PIP:** メインビュー映像内部の領域指定を容易にする PiP (Picture in Picture)ビューを実行します。
- **Display Source Image:** 変更事項を全てキャンセルして、元のイメージに復元します。





- 再生プログラムを実行させるためのPCのCPUの最低仕様は、Intel Pentium Dual Core 2.2GHzです。CPUの仕様が低い場合、高画質と最高速度で録画された映像は、多少ゆっくり再生されます。また、プログラムを正常に実行させるためにはバージョン9.0以上のDirectXをインストールする必要があり、16MB以上のビデオメモリーを備えたVGAカードの使用を推奨します。
- 使用PCのディスプレイ設定によって映像が正常に表示されないことがあります。その場合、デスクトップ画面でマウスの右ボタンをクリックして、**ディスプレイの登録情報>設定**タブに移動して**色の品質を32ビット**に設定した後、**詳細>トラブルシューティング**を選択して、**ハードウェアアクセラレータを最大**に設定してください。問題が解決しない場合、**スタート>ファイル名を指定して実行...**を選択して、**dxdiag**を入力しエンターボタンを押して出るDirectX診断ツール画面で、DirectXバージョンが9.0以上なのかを確認してください。ディスプレイのタブに移動して**DirectDrawアクセラレータ**が使用可能になっているかを確認してください。Microsoft® Windows® XPの場合、**DirectのDrawテスト**ボタンを押してテストしてください。VGAカードのドライバーバージョンを確認して最新バージョンではない場合は最新バージョンにアップデートしてください。すべての事項が確認された後も映像が正常に見えない場合は、ビデオカードを変更してください。ATIチップセットを使用したビデオカードを推奨します。
- 録画映像を保存する際**プレーヤー未包含オプション**を選択した場合保存されているファイルを再生するためにはIDIS centerプログラムが設置されたフォルダ(¥Client¥selfplayer)で提供されるセルフプレーヤープログラム(ClipPlayer.exe)を実行する必要があります。
- 魚眼映像デ・ワーピング機能はWindow Vista以上のOSに対応しています。魚眼映像デ・ワーピング機能はレイアウト1x1分割モードのみに対応します。スクリーンでマウスの右クリックをすると、魚眼映像デ・ワーピング制御が可能になります。

## AVIファイルで保存

録画映像をAVIファイル(.avi)で保存します。



- **開始時刻、終了時刻:** 動画で保存する映像の日付及び時刻を入力します。
  - **最初の映像:** 一番最初に録画された映像の日付及び時間に設定します。
  - **最後の映像:** 一番最後に録画された映像の日付及び時間に設定します。
  - **1分、3分、10分、30分、1時間:** タイムテーブルで現在選択された時間を基準に該当する間隔の分、時間をスタート時刻及び終了時刻に増減します。

- **専用ビューアー、AVI:** AVIを選択します。
- **オーディオデータ含む:** オーディオと一緒に保存された映像の場合、一つのチャンネルのみサポートします。

映像を1 ipsより少なく設定して録画した場合はオーディオデータが正常に保存できない場合があります。

- **コーデック、ビットレート、画質:** 映像を圧縮するために適切な値を設定します。
  - **ビットレートを基準でエンコーディング:** ビットレートを基準として映像をエンコーディングします。
  - **ビデオの品質を基準でエンコーディング:** ビデオの品質を基準として映像をエンコーディングします。
- **サイズ:** 映像を圧縮するためのファイルの大きさを設定してから圧縮映像の出力比率を選択します。
  - **映像レートにあわせる:** 映像のオリジナルレートにカメラ画面のエリアをあわせて映像を出力します。
  - **画面に合わせる:** 画面比率と関係なくカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。
  - **画面に合わせる(比率維持):** 画面比率を維持したままカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。

但し、カメラ画面のサイズによって映像の上下左右が切れることがあります。映像拡大機能の動作時、該当カメラ画面については本画面レートに対応せず、代わりに**映像比率に合わせる**が適用されます。

- **ブロックノイズを排除:** 拡大映像で発生する階段(ブロック)現象を排除し、画面上に表示される映像の画質を向上させることができます。
- **キーフレーム:** 映像を圧縮するためのキーフレームを設定します。
- **最大ファイル容量:** ファイルの最大サイズを設定します。
- **ファイル分割:** 保存中の録画映像のサイズが上で設定した**最大ファイルサイズ**になると、保存中の録画映像を最大ファイル容量に分割して保存します。
  - 本オプションが選択されていない場合、最大ファイルサイズを保存します。
- **作業進行フレーム表示:** 保存時、現在保存中の映像をポップアップ画面に表示します。

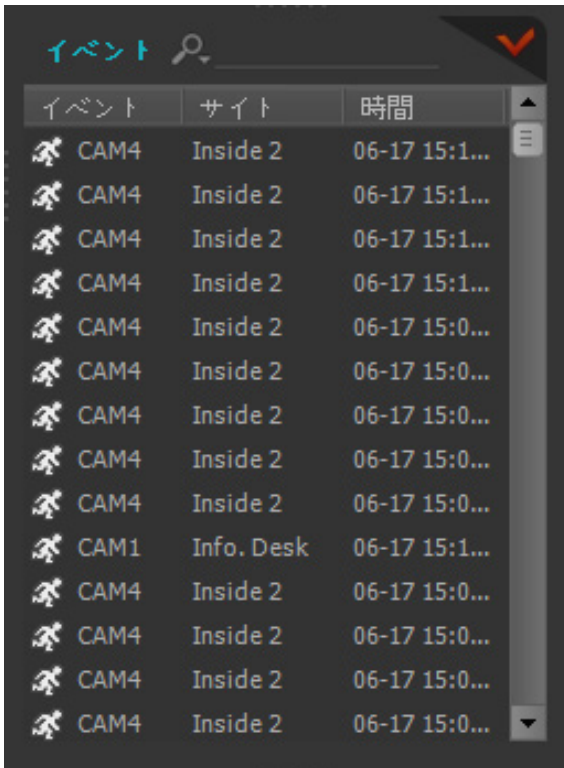
#### AVIファイルの再生

動画の再生プログラムを実行した後、AVIファイルを読み込みます。

AVIファイル保存時に選択した圧縮方式のコーデックがインストールされていない場合、該当するコーデックを手動でインストールしなければなりません。

## イベント処理

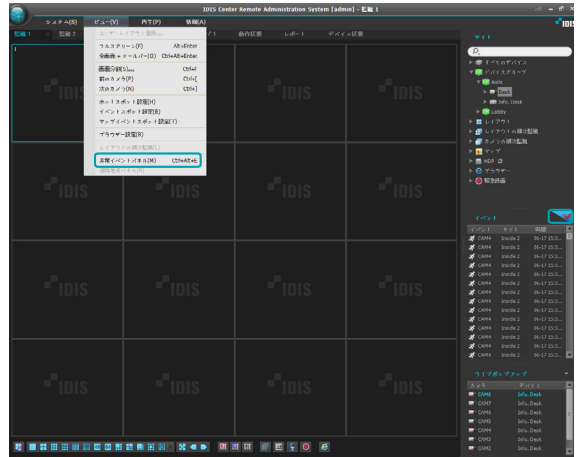
イベントが感知されたカメラの映像をリアルタイムで監視することができ、該当するイベント感知映像が録画されていれば映像を再生することができます。



登録されているデバイスでリアルタイムイベントが感知された場合、そのイベントがイベントリストに表示されます。

登録されたデバイスでコールバックイベントが感知された場合、**非常イベント**パネルが自動的に表示されるか、下記のように手動で非常イベントパネルを表示させることができます。

ビューメニューに移動した後、**緊急イベント**パネルをクリックするか、イベントリスト  ボタンをクリックします。



緊急イベントパネルが表示されます。



非常イベントを感知すると、イベントのリストが表示されます。

- **自動ポップアップ**: クライアントシステムで非常イベントを感知した場合、自動的に緊急イベントマネージャーパネルが表示されます。
- **イベント件数**: 表示された非常イベント件数の合計を示します。
- **最後のイベント**: 最後に発生した非常イベントの情報を表示します。

コールバックイベントは、デバイスでコールバック機能が設定されているときだけに表示されます。**設定>レポート**からイベントリスト表示オプションを変更することができます。詳細は

[p.42レポート](#)

を参照ください。



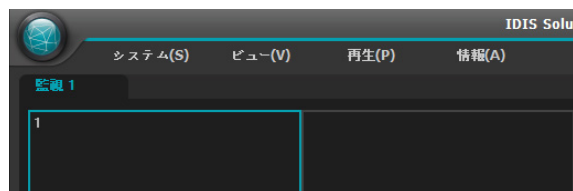
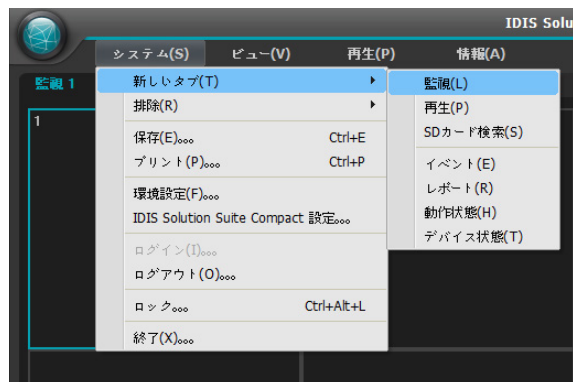
## イベントリストに表示されるイベントアイコン

	モーション感知		システム動作
	映像信号非表示		システム再起動
	映像信号なし		システム終了
	テロ感知		録画機能異常あり
	映像分析感知		ディスクフル
	トリップゾーン		ディスクフル警告
	タンパーリング		ディスクの不良セクタ
	テキスト入力		ディスク設定変更
	アラームイン感知/解除		S.M.A.R.T.感知結果ディスク異常あり
	アラーム入力異常あり/なし		S.M.A.R.T.感知結果ディスクが高温
	外部保存デバイス挿入/取り外し		緊急録画開始/終了
	デバイス接続/解除		ファン異常あり/解除
	システムスタート		顔感知
	待機人数超過検知/解除		待機時間超過検知/解除
	VA 損失あり/解除		PIR 検知/解除
	ANPR 検知/解除		オートトラッキング検知/解除
	メインストリーム録画/異常		サブストリーム録画/異常

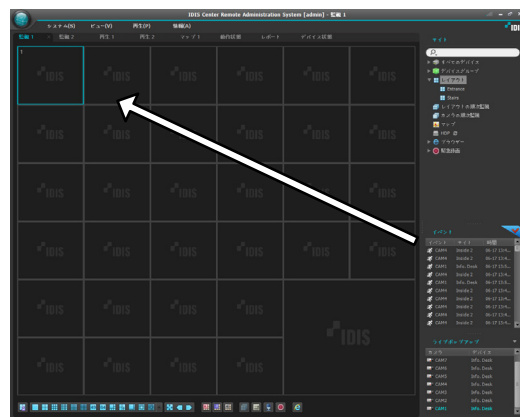
デバイスの仕様及びバージョンによって一部イベントのアイコンがサポートされないことがあります。

## 映像監視

イベント感知カメラの映像監視は、監視パネル(最大4つ)でサポートします。パネルタブに監視タブがない場合、**システムメニューで新しいタブ**を選択した後、**監視**をクリックしてタブを追加します。

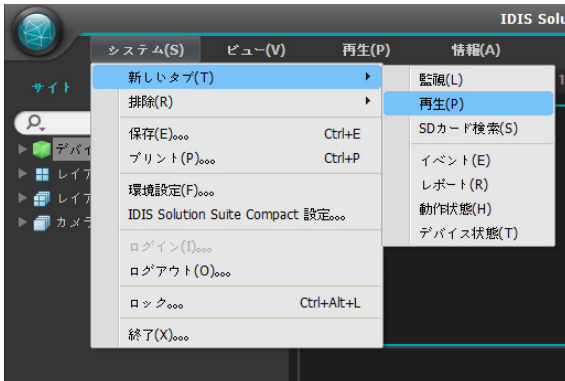


- 1 パネルタブで**監視**タブをクリックします。
- 2 リアルタイムのイベントのリストで希望するイベントを選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したイベントが感知されたカメラのリアルタイム映像が画面に表示されます。



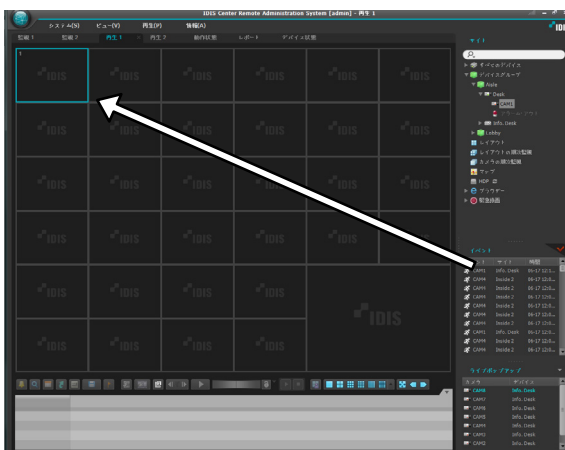
## 映像再生

イベント録画映像の再生は、再生パネルでサポートします。パネルタブに再生タブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**再生**をクリックしてタブを追加します。



1 パネルタブで**再生**タブをクリックします。

2 リアルタイムのイベントのリストで希望するイベントを選択した後、再生画面にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したイベントの録画映像が画面に表示されます。



## システムの動作状態の監視

システムの動作状態の監視は、動作状態のパネルでサポートします。

パネルタブに動作状態のタブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**動作状態**をクリックしてタブを追加します。



動作状態のタブが追加されると、自動的に動作状態の監視結果を表示します。



● **要約リスト:** デバイスグループに追加されたすべてのデバイスに対する動作状態を要約して表示します。




- **トータル:** すべてのデバイスグループに追加されたデバイスの個数を表示します。
- **問題発生:** 問題が発生したデバイスの個数を表示します。
- **接続されていない:** 接続されていないデバイスの個数を表示します。
- **正常に動作:** 問題発生が感知されず正常に動作しているデバイスの個数を表示します。

- **詳細リスト:** 各デバイスの状態情報を詳しく表示します (装置製品に基づいて状態が表示されないことがあります)。

動作状態	問題を感知していない
問題発生	ビデオロス感知、アラームイン デバイスエラーまたは録画エラー
接続されていない	デバイスが接続されていない

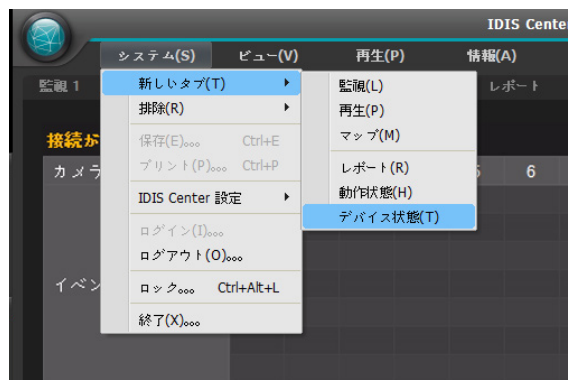
- **問題発生:** 問題発生の原因を詳しく表示します。
- **グループ:** デバイスが属したデバイスグループを表示します。
- **サイト:** デバイスの名前を表示します。
- **アドレス:** デバイスのIPアドレスを表示します。
- **MACアドレス:** デバイスのMACアドレスを表示します。
- **カメラ:** デバイスで使用中のカメラの状態を表示します。
- **アラームイン:** デバイスで使用中のアラームインデバイスの状態を表示します。
- **Fan:** ファンの異常状態を表示します。
- **録画:** 録画の状態を表示します。
- **録画検査:** 録画検査の状態を表示します。
- **録画時間:** 録画期間を表示します。

#### ● 機能ボタン

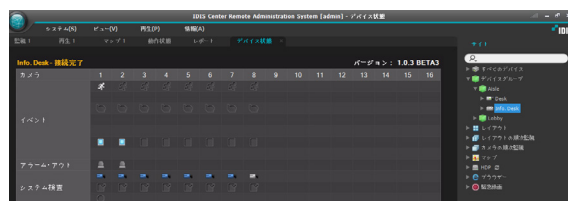
-  **(リフレッシュ):** 動作状態のパネルの情報の情報を最新の情報に更新します。
-  **(保存):** 動作状態のパネルのデータを.txt、.csv、.html、.pdfファイルで保存します。
-  **(全体画面):** 動作状態のパネルを全体画面で表示します。

## デバイス状態の監視

デバイス状態の監視はデバイス状態パネルで対応します。パネルタブにデバイス状態タブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**デバイス状態**をクリックしてタブを追加します。





**サイトリスト**で希望するデバイスを選択した後、デバイス状態パネルにマウスをドラッグ&ドロップします。該当デバイスの状態が表示されます。




- **状態表示画面:** 状態をアイコンで表示します。

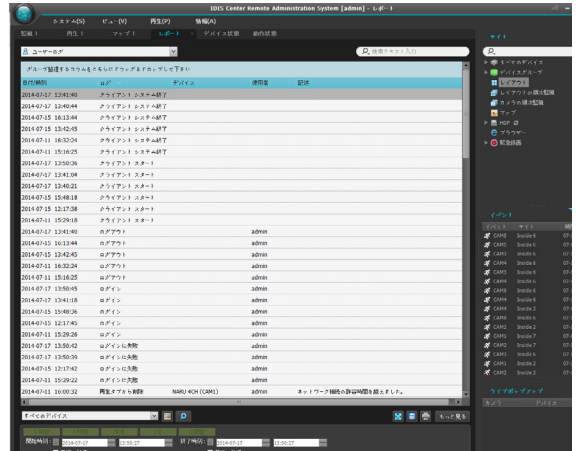
- **バージョン:** システムのバージョン情報を表示します。
- **カメラ:** カメラ番号を表示します。
- **イベント:** イベント感知状態を表示し、イベント感知時にイベントアイコンにカラー表示されます。マウスカーソルをアイコン上にあてると該当イベントの種類がツールチップで表示されます。
- **アラーム出力:** アラーム出力状態を表示します。
- **システムチェック:** デバイス及び録画機能の動作状態を表示します。

● 機能ボタン


-  **(接続解除):** デバイス状態パネルの現在の接続を解除します。
-  **(緊急録画):** デバイスの緊急録画を遠隔で開始または中止します。

緊急録画機能に対応するDVRの場合にのみ対応

- **録画開始/終了:** 録画期間を表示します。
- **動作状態:** デバイスの録画、再生、アーカイブ、クリップコピーの状態を表示します。
-  **(全体画面):** デバイス状態パネルを全体画面で表示します。



様々な種類のログリストが表示されます。コラムタイトルでマウスを右クリックすると表示されるメニューを利用して、データを自由に分類できます。

- **ログの種類:** リストで検索するログの種類を選択します。コラムタイトルでマウス右クリックすると現れるメニューを用いてデータを希望通りに分類することができます。
  - **ユーザーログ:** IDIS centerプログラムのログを表示します。
  - **動作状態ログ:** 登録されたデバイスのシステムの動作状態のログを表示します。
  - **デバイスシステムログ:** デバイスのシステムログを表示します。
  - **デバイスイベントログ:** デバイスのイベントログを表示します。ネットワークカメラ及びネットワークビデオエンコーダーの場合、SD(SDHC)メモリーカード録画機能が設定されている間に発生したイベントのログのみを表示します。
  - **管理サービスログ:** 管理サービスのログを表示します。
  - **モニタリングサービスログ:** モニタリングサービスのログを表示します。詳しい内容は、IDIS centerソフトウェアの入手先にお問い合わせください。
-  **(検索):** ログを検索します。

## ログ検索

IDIS centerプログラム及びデバイスのログを検索することができます。

ログ検索は、レポートのパネルでサポートします。パネルタブにレポートタブがない場合、システムメニューで**新しいタブ**を選択した後、**レポート**をクリックしてタブを追加します。



## レポートのツールバー

パネルの下段にあるツールバーを用いて特定のログを検索することができます。



- **開始時刻、終了時刻:** 検索するログの日付及び時間を入力します。特定の日付及び時間を入力したり**最初の映像**または**最後の映像**のオプションを選択して設定することができます。



- **1時間、6時間、本日、3日または1週間**ボタンをクリックすると、**開始時刻**と**終了時刻**の時間間隔を該当する間隔の分調整します。

- **最初の映像**または**最後の映像**のオプションを選択すると一番最初に発生したログからまたは一番最後に発生したログまで検索します。

- (条件): 検索するログの種類を選択します。
- (検索): 検索条件によって検索を開始します。
- (全体画面): レポートパネルを全体画面で表示します。
- (保存): 検索結果をテキストファイル(.txt)、CSVファイル(.csv)またはPDFファイル(.pdf)で保存します。

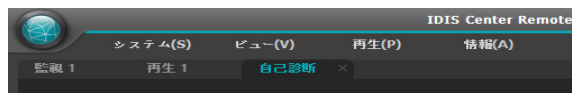
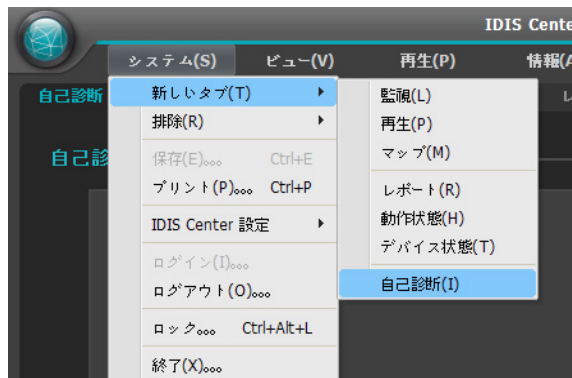


システム及びサービスログの場合、暗号化されたHTMLファイル(.html)で保存することができます。HTMLファイルを確認するためには暗号入力  
が要求されます。

- (プリント): 検索結果をプリントします。
- **もっと見る:** 次の結果を表示します。

## 自己診断

登録されているデバイスのシステム自己診断の結果を確認することができます(自己診断機能を対応するデバイスのみ)。自己診断は自己診断パネルで対応します。パネルタブに自己診断タブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**デバイス状態**をクリックしてタブを追加します。



サイトリストで希望するデバイスを選択した後、自己診断パネルにマウスをドラッグ&ドロップします。該当デバイスの自己診断の結果が表示されます。

**System Information:**

- Device Name: NVR\_0003221DB4D3
- Site: DR-1104P (10.0.121.244)
- Time: 2014.12.10 10:51:16
- SW Version: 1.1.0 RAY1200P (Nov 28 2014)
- Camera Count: 4
- PoE: 4

**Device Health Status:**

No.	1	2	3	4
Camera Signal	O			
Recording Status	Good			
Recorded Video	2005/01/01 10:19:03 ~ 2014/12/10 10:51:52			
HDD#	Internal 1	Internal 2		
Disk Bad	Good (0%)	Good (0%)		
HDD Temperature	Good (39.0C)	Good (40.0C)		
S.M.A.R.T.	Good	Good		
Fan Status	Bad			

**Camera Status:**

No.	Product	MAC Address	IP Address	Version	Connection	Network Status	PoE
1	UNDEFINED	00:03:22:14:C5:62	169.254.248.130	1.2.6	CONNFC.TFD	*****	5.8 W

**Reports**

No.	Date/Time	Description	URL: 1104P/10.0.121.244
1	2014-12-10 10:51:16	Bad - 1 error(s)	1.1.0 RAY1200P
2	2014-12-09 20:14:10	Bad - 1 error(s)	

- **自己診断:** 状態をアイコンで表示します。
- **レポート:** 自己診断の結果に関する簡略な情報を表示します。右側にデバイス名およびソフトウェアバージョンの情報が表示されます。



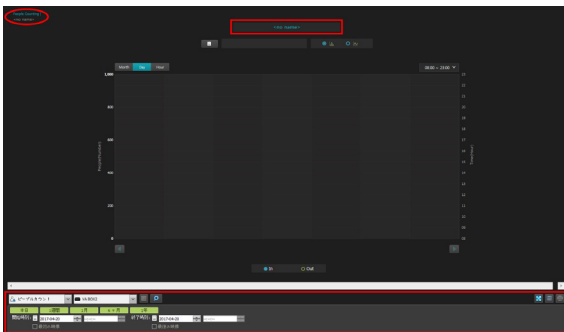
- **解除**: 自己診断パネルの現在の接続を解除します。
- **更新**: 自己診断の結果を更新します。
- **自己診断結果の保存**: 自己診断の結果をHTMLファイル(.html)に保存します。
- **印刷**: 自己診断結果をプリントします。
- **全体画面**: 自己診断パネルを全体画面で表示します。

## 映像分析レポート(VA Box)

VAボックスが接続された装置を利用して映像分析された情報を検索し、グラフとイメージを利用して分析することができます。映像分析レポートは、VAボックスパネル(最大3個)でサポートされます。パネルタブにVAボックスタブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**VA Box**をクリックしてタブを追加します。

## 接続および検索

- 1 **サイトリスト**から VA Boxが接続されている装置のうち、希望する装置を選択した後、VA Boxパネルにマウスをドラッグ&ドロップします。接続すると、当該装置の名前がパネル右上段と中央上段に表示され、左下段の時間検索、VA機能選択および装置選択ウィンドウが活性化されます。



- 2 左下段のコンボボックスを利用して希望するVA機能 (People Counting、Queue Management、Heat Map)を選択します。

- 3 希望するVA装置および時間範囲を選択して検索ボタン(🔍)を押して映像分析データをグラフおよびイメージとして表示します。

- 4 装置を変更するには、他の装置をVA Boxパネルにマウスをドラッグ&ドロップします。装置を解除するためには、**システムメニュー**の**ログアウト**を選択します。

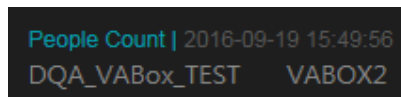
## レポートのツールバー

パネルの下段にあるツールバーを用いて特定のVAレポートを検索することができます。



- **開始時刻、終了時刻**: 検索するVAレポートの日付および時間を設定します。特定の日付および時間を入力したり、**最初の映像**または**最後の映像**オプションを選択して設定することができます。**本日**、**1週間**、**1 month**、**6ヶ月**、**1 year**ボタンをクリックすると、**開始時刻**と**終了時刻**の時間間隔を該当する間隔の分調整します。
- **ピープルカウント** (VA 機能): 希望するVA機能のページを選択します。
- **VABOX1** (VA 装置選択): 希望するVA Box装置を選択します。
- **全体画面**: レポートパネルを全体画面で表示します。
- **保存**: レポートページのデータをエクセル(.csv)または画像形式で保存します。

## ページ情報

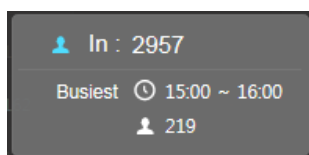


- 現在のVAページの種類
- 現在表示されているVAレポートの検索時間
- VA Boxが接続された装置の名前
- VA Box装置の名前

## ピープルカウント



- **全体 入る/ 全体 出る:** 現在のページに表示されている期間の総 In/Out人数を表します。
- **日:** カレンダーから希望する日付を選択します。
- **検索期間:** 現在のページに表示される期間を表します。
- **バーとライングラフ:** 中からひとつを選択します。
- **月 日 時:** グラフのx軸の基準値(月、日、時)を選択することができます。時間単位の場合、15分、30分、1時間の中から選択することができます。
- **08:00 ~ 20:00:** 08~23時、24時間、午前、午後を選択してその時間帯の人数を時間単位に合わせてバーまたはライングラフで表します。そして、時間帯別の人数をグラフに数字で表示します。
- **人(数):** 左側の y軸はバー、ライングラフの値を表します。
- **時間(時):** 右側の y軸の値は、グラフに表示された数字の時間帯を表します。
- **◀ ▶:** 検索期間単位によって、月は1年、日は1週間、時は1日単位で以前に移動します。
- **▶ ▶:** 検索期間単位によって、月は1年、日は1週間、時は1日単位で以後に移動します。
- **● 入る ● 出る:** 入る, 出る中に選択して必要なデータを表示することができます。
- **グラフツールチップ:** バー、ライングラフにマウスを当てるとツールチップ情報を確認することができます。

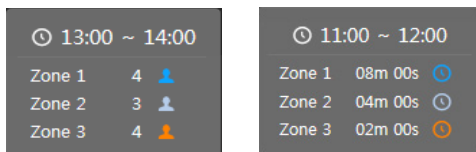


- **👤 In : 2957** : 選択されたデータの人数です。
- **Busiest 🕒** : 選択したデータの最も混雑する時間です。
- **👤 219** : 選択されたデータの最も混雑する時間の人数です。

## キューマネジメント



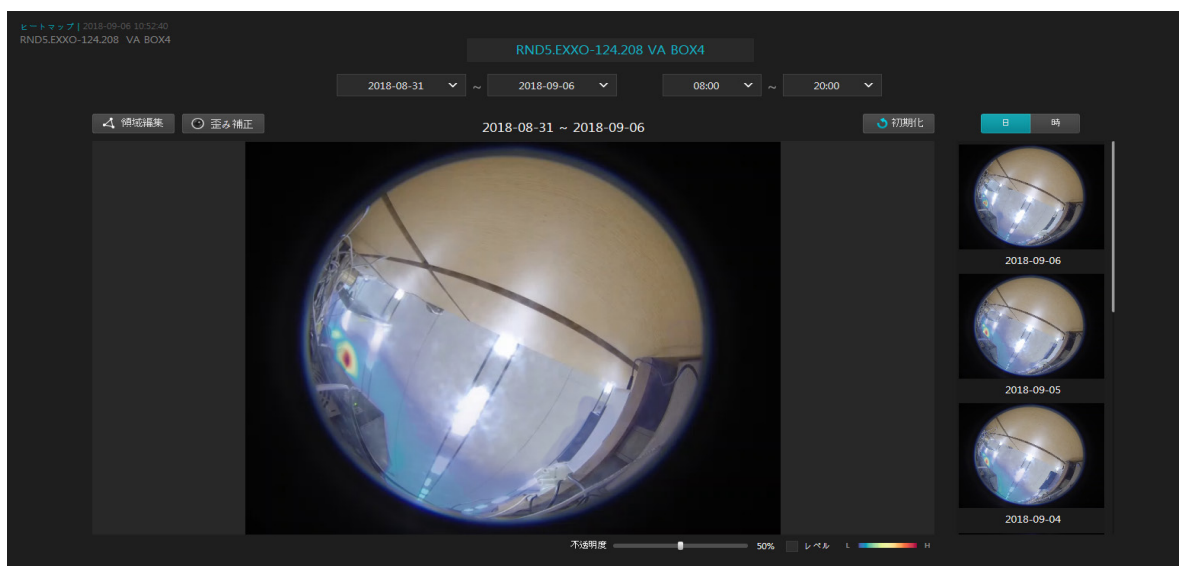
- 📅 : カレンダーから希望する日付を選択します。
- ◀ : 以前のデータがある日付に移動します。
- ▶ : 以後のデータがある日付に移動します。
- 検索期間: 現在のページに表示される期間を表します。
- 08:00 ~ 20:00 : 開始時間と終了時間を選択してその時間帯のグラフを表示します。
- 📊 / 📈 : バーとライングラフの中からひとつを選択します。
- 日 / 時 : データを表示する単位を選択します。
- 最大待機時間 / 合計待機時間 : 最大待機時間と合計待機時間中に選択して、データを表示します。
- Zone 1 / Zone 2 / Zone 3 : 希望する領域を選択してデータを表示することができます。
- グラフツールチップ: バー、ライングラフにマウスを当てるとツールチップ情報を確認することができます。



- 🕒 13:00 ~ 14:00 : 選択されたデータの時間帯を表示します。
- 👤 4 / 08m 00s : 選択された人数および待機時間のデータを領域別に表示します。



## ヒートマップ



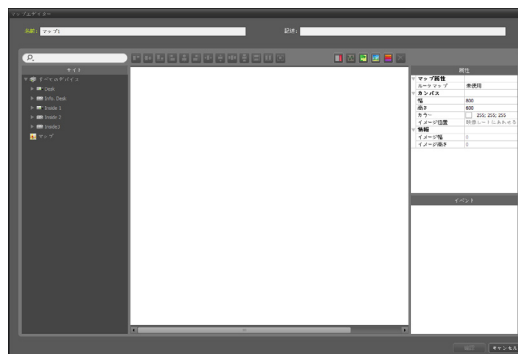
- 特定の日付および時間の検索:** 開始の日付および最後の日付と開始時間および終了時間を選択して期間に合ったヒートマップイメージを停止イメージとサムネイルイメージの上に表示します。
- 領域編集:** ヒートマップ領域を編集します。オプションが選択されていると、マウスクリックで領域を指定することができます。停止イメージの上でマウス左ボタンで領域を指定し、最初のポイントを押すかマウスの右ボタンを押すと領域指定が完了します。領域を描く途中で一つ前の地点をキャンセルしたい場合はDeleteキーを押し、全体をキャンセルしたい場合には Esc キーを押します。
- Dewarping:** 静止画が魚眼映像であればボタンが有効になります。ボタンをクリックして、静止画で魚眼映像 dewarping をします。Dewarping が無効になってからコントロール+マウスボタンを使用して、クイックコントロールをします。
- 初期化:** 停止イメージを日付/時刻のナビゲーションに表示された領域のデータで初期化させ、NVR に設定された領域に変更します。
- 日 時:** サムネイル1枚の単位を表します。
- 停止イメージ:** 選択されたVA Box が接続されているカメラの最新イメージを表示します。
- サムネイルのイメージ:** 上段の選択された日付と時間の区間を一定の時間単位に分けて表示します。サムネイルを選択すると、サムネイル画像を停止イメージとして大きく表示します。停止イメージを再指定した時間範囲に変更するには、時間の単位を変更したり、初期化(Reset)ボタンをクリックします。静止画を再指定した時間範囲に変更するには、選択したサムネイルをクリックします。
- 不透明度:** ヒートマップの透明度を設定します。
- レベル:** ヒートマップイメージに等高線の形で値を表示します。
- カラースキーマ:** ヒートマップのカラースキーマを表示します。4つのカラースキーマを選択することができます。

## マップエディター

マップを登録してカメラ映像、イベント感知、接続された入/出力デバイスの状態をマップで監視することができます。

### マップの登録

- 1 システムメニューで**IDIS center Setup**を選択した後**デバイスメニュー**を選択します。
- 2 **サイトパネル**で**マップ**をクリックした後、右側の**サイトリスト**の**パネル**の下段にある**+**ボタンをクリックします。**マップエディター**画面が表示されます。



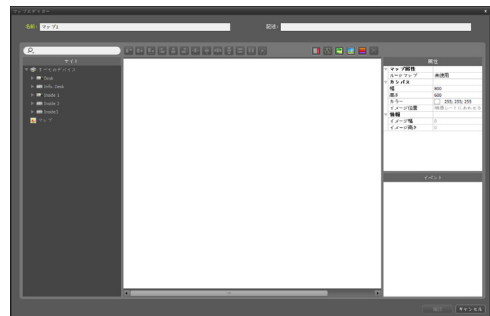
- 3 **サイトパネル**で**デバイス**に接続された**入/出力デバイス**および**下位マップ**を選択し**キャンバス**でご希望の所に**マウス**を**ドラック&ドロップ**します。

- 4 **マップ**を設定します。

- 5 **マップ名**を入力してから**確認ボタン**をクリックして**マップの登録**を終了します。

- 6 **サイトパネル**で**マップ**をクリックした後、左側の**位置リストパネル**の下端にある**+**ボタンをクリックして**マップグループ**を作成することができます。

### マップ設定









#### アイコンの整列

1つ以上の**入/出力デバイスアイコン**および**マップリンク**を選択してから**整列ボタン**をクリックして**キャンバス**での**配置**および**大きさ**を一括に修正することができます。



- (位置調節): 1つ以上のアイコンに対して選択したアイコンを背景イメージの縦/横の中央整列します。
- (位置調節): 2つ以上のアイコンに対して選択したすべてのアイコンを一番後で選択したアイコンを基準に上段/下段、縦/横の中央または左/右に整列します。
- (間隔調節): 3つ以上のアイコンに対して選択したデバイスの間をすべて同じに整列します。
- (大きさ調節): 2つ以上のアイコンに対して選択したアイコンの幅/高さ/大きさをすべて同じく調節します(幅および高さの比率が異なる同じアイコンのみ該当)

①	サイト	登録されたデバイス及びマップリストを表示します。🔍ボタンの横に検索語を入力して登録されたデバイス及びマップを検索することができます。検索語を入力すると、その結果を表示します。
②	キャンバス	マップの背景イメージを挿入してから <b>サイト</b> リストで希望の入/出カデバイスアイコンおよびマップリンクを配置してマップを構成します。
③	設定ボタン	<p>マップを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>整列:</b> キャンバスに配置された入/出カデバイスのアイコンまたはマップリンクを使用者の好みに整列します。</li> <li>•  (テキストボックス): テキストを入力できるテキストボックスを挿入します。</li> <li>•  (経路順次監視): 順次監視経路を設定します。</li> <li>•  (マップオブジェクト名の同期化): デバイスの設定によって入/出カデバイスの名前を同期化します。</li> <li>•  (背景イメージ投入): キャンバスに希望の背景イメージを入れます。</li> <li>•  (状態カラー): マップにイベント感知および入/出カデバイスの状態を固有の色で表示するように設定することができます。</li> <li>•  (削除): キャンバスで入/出カデバイスのアイコンまたはマップリンクを選択してからクリックボタンをクリックすると選択した入/出カデバイスアイコンまたはマップリンクをキャンバスから削除します。</li> </ul>
④	属性	マップ、マップのキャンバスまたはキャンバスに配置された入/出カデバイスアイコンおよびマップリンクの属性を設定します。
⑤	イベント動作	キャンバスに配置された入/出カデバイスアイコンのイベント動作を設定します。マップ監視時イベントが発生すると設定した通りにイベント発生を通知します。

## 属性

キャンバスまたはキャンバスに配置された入/出力デバイスアイコンおよびマップリンクの属性を設定することができます。キャンバスまたはアイコン、マップリンクを選択してから属性の各項目を選択して希望の値を直接入力したりドロップダウンメニューで希望の値を選択します。

属性	
▼ <b>マップ属性</b>	
ルートマップ	未使用
▼ <b>キャンバス</b>	
幅	800
高さ	600
カラー	<input type="checkbox"/> 255; 255; 255
イメージ位置	映像レートにあわせる
▼ <b>情報</b>	
イメージ幅	0
イメージ高さ	0

- **マップ属性:** マップの属性を設定します。ルートマップを使用に設定すると、マップ監視時マップパネルの右側にマップに登録されているデバイスのリストを表示します。



マップパネルである場合のみ該当

- **キャンバス:** キャンバスおよびキャンバスに入れた背景イメージの属性を設定します。
  - **幅、高さ、カラー:** キャンバスの幅、高さ、カラーを選択します。
  - **イメージ位置:** キャンバスに入れた背景イメージの位置を設定します。
  - **情報:** キャンバスに入れた背景のイメージの幅および高さの情報を表示します。

属性	
▼ <b>一般</b>	
名前	Alarm-In 1
アイコン	アラーム・イン
倍率	50
X座標	536
Y座標	144
幅	32
高さ	32
連動カメラ	
ハロー効果	未使用
▼ <b>情報</b>	
名前	Alarm-In 1
IPアドレス	10.0.127.130
デバイス番号	1

- **デバイス:** 選択した入/出力デバイスアイコンの属性を設定します。
    - **名前:** デバイスアイコンの名前を設定します。
    - **アイコン、倍率:** デバイスアイコンの模様および倍率を設定します。
    - **X座標/ Y座標、幅/高さ:** デバイスアイコンの位置および大きさを設定します。キャンバスでアイコンをマウスのドラック&ドロップして設定することもできます。
    - **連動カメラ:** デバイスにカメラを連動することができます。カメラを連動するとそのイベント感知時連動したカメラの映像を監視することができます。また、アラームイン装置でマップリンクを指定することができます。
- アラームインまたはオーディオ入力のデバイスである場合のみ有効です。
- **ハロー効果:** アイコンの背景にカラーを設定してマップでそのデバイスを簡単に探せます。
  - **カメラビュー:** 画角、パン、距離などを設定します。
- 該当デバイスがカメラに限り対応
- **情報:** デバイスの情報を表示します。

属性	
▼ <b>一般</b>	
名前	BANK 1
X 座標	255
Y 座標	110
幅	128
高さ	32
満たす	使用
テキストカラー	<input type="checkbox"/> 255; 255; 255
背景カラー	<input checked="" type="checkbox"/> 85; 110; 215
不透明度	80
文字整列	左
▼ <b>情報</b>	
名前	BANK1

● **マッピング:** 選択したマッピングの属性を設定します。

- **名前:** マッピングの名前を設定します。設定した名前がマッピングに表示されます。
- **X座標/ Y座標、幅/高さ:** マッピングの位置および大きさを設定します。キャンバスでマッピングをマウスのドラック&ドロップで設定することもできます。
- **テキストカラー、背景カラー:** マッピングのテキストカラーおよび背景カラーを設定します。
- **不透明度:** マッピングの背景カラーの不透明度を設定します。
- **文字整列:** マッピングの文字を整列します。
- **情報:** マップの名前を表示します。


属性	
▼ <b>一般</b>	
テキストイン設定	test
フォント	Microsoft Sans Serif
フォントのサイズ	9
▶ テキストカラー	<input checked="" type="checkbox"/> 0; 0; 0
▶ 背景カラー	<input type="checkbox"/> 255; 255; 255
文字整列	左, 上
太字	未使用
斜体	未使用
下線	未使用
取り消し線	未使用
X 座標	477
Y 座標	88
幅	22
高さ	16



● **テキストボックス:** 選択したテキストボックスの属性を設定します。

- **テキスト:** テキストを設定します。設定したテキストがマップに表示されます。
- **フォント、フォントサイズ:** フォント、フォントサイズを設定します。
- **テキストカラー、背景カラー:** テキストのテキストカラーおよびテキストボックスの背景カラーを設定します。
- **文字整列:** テキストを整列します。
- **太字、斜体、下線、取り消し線:** テキストを太字にすることや、イタリック体、下線、取り消し線を設定します。
- **X座標/Y座標、幅/高さ:** テキストボックスの位置および大きさを設定します。キャンバスでテキストボックスをマウスのドラック&ドロップで設定することもできます。

## 経路順次監視

順次監視経路を設定してマップ監視する時、多数のカメラの映像を同一のカメラ画面で順次監視することができます。経路順次監視のためには、キャンバスで各カメラに順次監視経路が設定されてある必要があります。

- 1  (経路順次監視)ボタンをクリックします。
- 2 キャンバスで各カメラアイコンを監視しようとする順番でクリックします。
- 3 マウス右側ボタンをクリックして設定を終了します。経路設定が終わったら経路を選択してから経路の属性を設定します。

属性	
▼ 一般	
名前	Path Sequence 1
カラー	 50; 100; 255
不透明度	70
幅	5
形	楕円
背景カラー	 0; 0; 255
不透明度	63
▶ マージン	4; 4; 4; 4
方向転換	
▼ 連動デバイス	
▼ CAM1	
持続時間	10
▼ CAM1	
持続時間	10

- **名前:** 経路の名前を設定します。
- **カラー/不透明度/幅:** マップに表示される経路のカラー/不透明度/幅を設定します。
- **形:** マップ監視する時、経路順次監視が設定されたカメラの映像を表示する時、そのカメラを区別するための標識アイコンの形を設定します。
- **背景カラー/不透明度/幅:** マップ監視する時、経路順次監視が設定されたカメラの映像を表示する時、標識アイコンのカラー/不透明度/幅を設定します。
- **方向転換:** 経路の方向を転換します。
- **連動デバイス:** 経路順次監視が設定されたカメラのリストを表示します。マップ監視する時、リストの順番で設定された**持続時間**間、順次監視を行います。

- 4 リストでカメラを選択してから**解除**をクリックするとそのカメラを経路順次監視で削除します。

## イベント動作

キャンバスに配置された入/出力デバイスについてはイベント感知時行う動作を設定することができます。アイコンを選択してから項目を選択し、ドロップダウンメニューで希望の値を選択します。

イベント	
▼ <b>アクション</b>	
▼ クリック	
インスタントビ	使用
▼ モーション検知	
ライブポップア	未使用
イベントスポッ	使用
イベントのサウ	未使用
▼ 映像信号ロス	
ライブポップア	未使用
イベントのサウ	未使用
▼ 映像遮断	
ライブポップア	未使用
イベントスポッ	使用
イベントのサウ	未使用

- **クリック:** マップでデバイスアイコンをクリックする時インスタントビューアーウィンドウが表示されるように設定することができます。アラームアウトデバイスである場合、アイコンをクリックしてアラーム出力を動作させたり解除したり設定することができます。
- **モーション検知、オブジェクト、映像信号ロス、映像遮断、アラームインなど:** 各イベントが感知する場合行う動作を設定または解除します。
- **ライブポップアップ:** そのカメラ(デバイスがカメラではない場合、連動されたカメラ)の映像がポップアップします。
- **イベントスポット:** そのカメラ(デバイスがカメラではない場合、連動されたカメラ)の映像がイベントスポット画面に表示されます。
- **イベントのサウンド:** オーディオファイル(.wav)を設定するとオーディオを出力します。

- マップ監視する際、入/出力デバイスのイベント動作を無視するように設定した場合は、下記の設定とは関係なくイベントは動作しません
- **イベント動作無視設定**をするためには、マウスのカーソルをマップの入出力デバイスの上に当て、マウスの右クリックでイベント動作無視を選択してください。


## ネットワークキーボードを利用した制御

ネットワークキーボードを利用してIDIS centerプログラムを制御することができます。

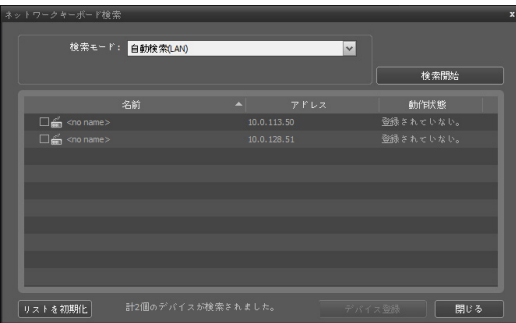
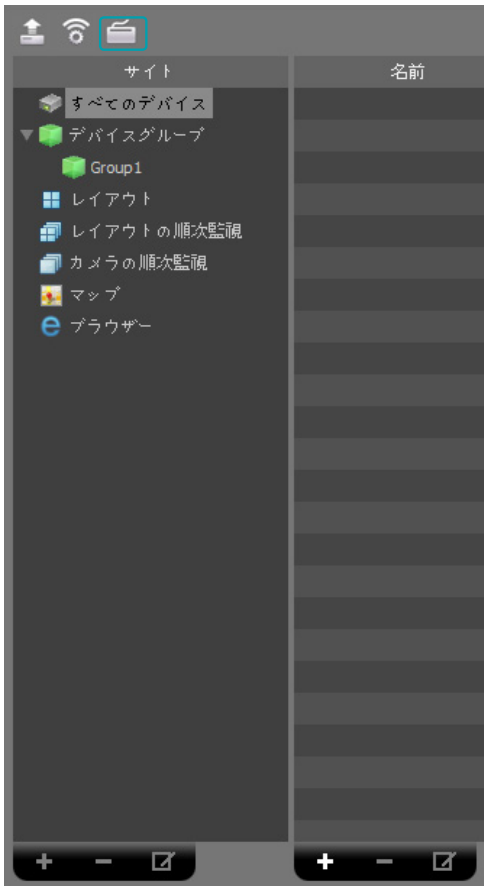
- 特定モデルのネットワークキーボードの場合のみ対応します。

## 登録

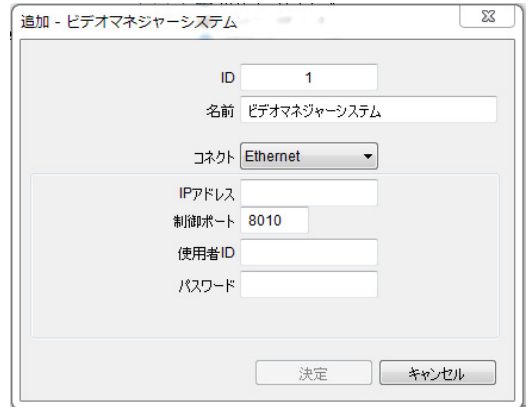
IDIS centerプログラムでネットワークキーボードを登録します。

- 1 システムメニューで設定を選択した後、デバイスメニューを選択してください。
- 2  (ネットワークキーボード設定)ボタンをクリックします。**ネットワークキーボード検索**画面が出ます。ネットワークキーボード登録方法はデバイス登録方法と同一です。詳しい内容は、[p. 12 デバイスの登録部分](#)を参照してください。





3 ネットワークキーボードにIDIS centerシステムを登録します。詳しい内容は、ネットワークキーボード取扱説明書を参照してください。



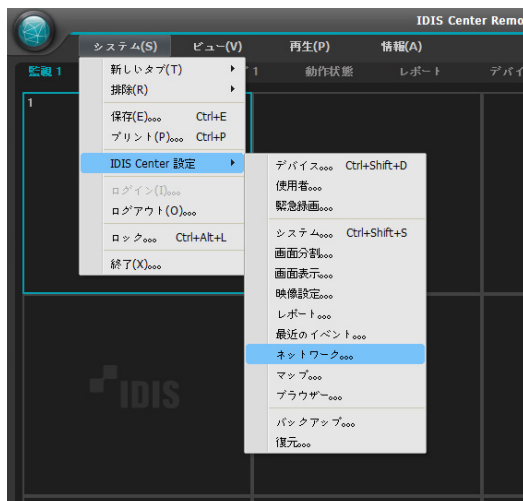
- **ID(IDIS centerシステムID):** IDIS centerシステム登録時に自動で割り当てられ、変更が可能です。

設定されたIDは他のIDIS centerシステムとの区別のために使用されるので、固有のIDに設定しなければなりません。

- **名前:** 使用者の便宜のためにIDIS centerシステムの名前を設定します。
- **IPアドレス:** IDIS centerシステムのIPアドレスを登録します。**FEN使用**項目は選択しないでください。
- **制御ポート:** IDIS centerシステムで設定した制御ポートを入力します。制御ポートはシステム > IDIS center設定 > ネットワーク > ネットワークキーボード設定で確認してください。
- **使用者ID、パスワード:** IDIS centerシステムに接続する時使用する使用者ID、パスワードを入力します。

4 システムメニューでIDIS center設定を選択し、ネットワーク設定を選択してください。

- 5 ネットワークキーボード 使用項目を選択してIDIS centerシステムでネットワークキーボード使用を設定します。



## 接続

- 1 ネットワークキーボードでIDIS centerシステム IDをクリックします。



- 2 DEVボタンを押すとネットワークキーボードがIDIS centerシステムに接続します。接続が成功すると各カメラ画面とパネルタブに次のように固有IDが表示されます。



- 3 SHIFTボタンとDEVボタンを同時に押すと接続が解除されます。



## 実行

### 映像監視

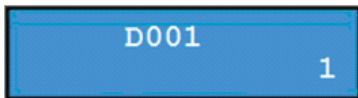
- 1 ネットワークキーボードで監視パネルタブIDをクリックします。



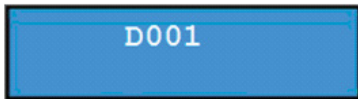
- 2 DEVボタンを押します。




- 3 カメラ画面IDをクリックします。





- 4 PANEボタンを押します。



- 5 ネットワークキーボードに接続されているマウスを利用して**サイト**リストで接続するサイトを選択した後、監視画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。

- 6  (メニュー)ボタンを押します。監視画面のメニューが表示されます。



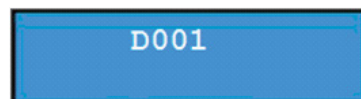
ネットワークキーボードの矢印ボタンを利用して、メニューに移動した後、エンターボタン  を押すと、該当メニューを選択、又は選択を解除することができます。現在設定中のメニューを抜ける場合は  (メニュー)ボタンを押した後で該当メニューの選択を解除することができます。

### 映像再生

- 1 ネットワークキーボードで再生タブIDをクリックします。



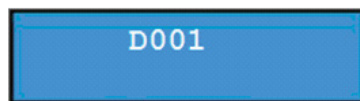
- 2 DEVボタンを押します。




- 3 カメラ画面IDをクリックします。





- 4 PANEボタンを押します。



- 5 ネットワークキーボードに接続されているマウスを利用して**サイト**リストで接続するサイトを選択した後、再生画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。

- 6  (メニュー)ボタンを押します。再生画面のメニューが表示されます。



ネットワークキーボードの矢印ボタンを利用して、メニューに移動した後、エンターボタンを押すと、該当メニューを選択、又は選択を解除することができます。現在設定中のメニューを抜ける場合は (メニュー)ボタンを押した後に該当メニューの選択を解除することができます。

## ネットワークキーボードボタン

下記の表はネットワークキーボードを利用してIDIS centerシステムを制御する時に使用するボタンの説明です。



PTZ制御関連ボタンはネットワークキーボード取扱説明書をご参照ください。

### 実行命令ボタン







ボタン	説明	動作
①	番号(1~9)	ID → <b>[MON]</b> 、 <b>[PANE]</b> 、 <b>[DEV]</b> 制御するモニタ、カメラ画面、パネルタブ及びIDIS centerシステムを選択します。
①	番号(0)	命令ボタンでは動作しません。
<b>[SHIFT]</b>	Shift	<b>[SHIFT]</b> → ボタン: 命令が2つの機能を実行する場合、2番目の機能を実行します。
<b>[ESC]</b>	Esc	<b>[ESC]</b> : 実行命令中に命令を取り消します。
<b>[DEV]</b>	接続	<b>IDIS centerシステムID</b> → <b>[DEV]</b> : IDIS centerシステムを制御することができます。
	解除	<b>[SHIFT]</b> & <b>[DEV]</b> : IDIS centerシステム接続を解除します。
	パネルタブ	タブID → <b>[DEV]</b> : 該当パネルを選択します。
<b>[PANE]</b>	カメラ画面	モニターID → <b>[PANE]</b> : 該当カメラ画面を選択します。
<b>[MON]</b>	モニター	モニター ID → <b>[MON]</b> : モニターを選択できます。
<b>[ - ]</b>	—	<b>[ - ]</b> : 現在選択されたカメラ画面又はデバイスの接続を解除します。
<b>[ F1 ]</b>	機能(1~8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>F1</b>: 二つ以上のモニタを使用する場合、モニタIDを表示します。</li> <li>● <b>F7</b> (<b>[SHIFT]</b> &amp; F3): <b>システムメニュー</b> → <b>IDIS center設定画面</b>の表示、非表示を切り替えます。</li> <li>● <b>F8</b> (<b>[SHIFT]</b> &amp; F4): IDIS centerプログラムのソフトウェアバージョンの表示、非表示を切り替えます</li> </ul>

## IDIS centerシステム制御ボタン



接続されたデバイスの種類及びバージョンにより一部機能が対応できない可能性があります。

ボタン	説明	動作
	緊急録画オン	<b>カメラ画面ID</b> →  : 選択したカメラ画面の映像に対して緊急録画を実行します。
	緊急録画オフ	<b>カメラ画面ID</b> → <b>[SHIFT]</b> &  : 選択したカメラ画面の映像に対して緊急録画を中止します。
	アラーム出力オン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>カメラ画面ID</b> →  : 選択したカメラ画面に接続されたデバイス1番アラーム出力を動作させます。</li> <li>● <b>アラーム出力装置番号</b> →  : 選択したアラーム出力を動作させます。</li> </ul>
	アラーム出力オフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>カメラ画面ID</b> → <b>[SHIFT]</b> &amp;  : 選択したカメラ画面に接続されたデバイス1番アラーム出力を解除します。</li> <li>● <b>アラーム出力装置番号</b> → <b>[SHIFT]</b> &amp;  : 選択したアラーム出力を解除します。</li> </ul>
	分割表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>●  : 画面分割を変更することができます。矢印及びエンターボタン  を利用して画面分割を選択します。</li> <li>● <b>[SHIFT]</b> &amp;  : 1x1分割画面に変更します。ボタンを再度押すと以前画面分割に戻ります。</li> </ul>
	グループ	: 次の画面グループに移動します。
	フリーズ	: 監視画面を一時停止させます。
	ズーム	<b>[SHIFT]</b> &  : 監視画面の特定部分を拡大します。矢印及びエンターボタン  を利用して拡大領域を移動させることができます。
	フルスクリーン	<b>パネルタブID</b> →  : 該当パネルタブをフルスクリーンで表示します。
	検索/監視	<ul style="list-style-type: none"> <li>●  : 再生パネルを表示して、監視パネルで選択されたカメラ画面に接続されているデバイスの録画映像を検索、再生することができます。</li> <li>● <b>[SHIFT]</b> &amp;  : 以前の監視パネルに戻ります。</li> </ul>
	早巻戻し再生	: 録画映像を早巻戻し再生します。
	1フレーム巻戻し再生	<b>[SHIFT]</b> &  : 録画映像を1フレームずつ巻戻し再生します。
	再生/一時停止	: 録画映像を再生します。再生中にボタンを押すと映像を一時停止させます。
	倍速再生	: 録画映像を倍速再生します。
	1フレーム再生	<b>[SHIFT]</b> &  : 録画映像を1フレームずつ再生します。

	メニュー	選択したカメラ画面の画面のメニューを表示します。
	エンター 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択したカメラ画面の画面のメニューで項目を選択します</li> <li>● 拡大モードで映像の拡大率を変更します。</li> </ul>
	矢印	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択したカメラ画面の画面のメニューで各項目に移動します。</li> <li>● 拡大モードで拡大領域を移動させることができます。</li> <li>● 再生モードのみ動作します。</li> <li>● 再生モード中に一時停止状態で映像を1フレームずつ再生します。ジョグダイヤルを時計方向または反時計方向に回して再生または巻戻し再生します。</li> </ul>
	ジョグダイヤル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジョグダイヤルを回して監視映像を拡大および縮小します。</li> <li>● 再生モード中に一時停止状態で映像を1フレームずつ再生します。</li> </ul>
	シャトルリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>● シャトルコントロールを利用して監視映像を連続的に拡大および縮小します。</li> <li>● デバイスに録画された映像を再生する際に再生速度を変更します。</li> </ul>



## 第6章 - 付録

### トラブルシューティング(Q&A)

症状	確認内容
映像監視を行うことができません。	<ul style="list-style-type: none"><li>● デバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。</li><li>● 監視の権限があるのか確認してください。</li></ul>
映像監視中に接続が解除されてから再接続を繰り返す。	デバイスの状態及びデバイスと IDIS centerシステムのネットワークの接続状態を確認します
監視映像が見えません。	<ul style="list-style-type: none"><li>● デバイスのカメラの接続状態を確認してください。</li><li>● システムまたはネットワークの負荷によって監視映像が多少遅く見えることがあります。</li></ul>
双方向オーディオ通信を行うことができません。	デバイスとIDIS centerシステムのスピーカー及びマイクの接続状態を確認してください。デバイスが異なるシステムとすでに双方向オーディオ通信中の場合、該当する通信が解除された後に再び試みます。
ユーザーIDとパスワードを忘れてしまい、IDIS centerプログラムを実行することができません。	IDIS centerプログラムをアンインストールしてから再インストールします。ただし、アンインストール時、システムに保存されたすべてのデータを削除しなければならず、削除されたデータは復元することができません。

## 索引

### A-Z

IDIS center	6
Instant Playback	66, 67
PIP	65, 66, 81

### ア

イベントスポット	50
イベントリスト	78

### カ

カメラの制御	60
クリッププレーヤー	85
グループパネル	33
監視画面のメニュー	61
簡単再生	66
経路順次監視	104
緊急録画	35

### サ

サイトパネル	23
サイトリストのパネル	23
再生画面のメニュー	78
制御ツールバー	78
時間重複現象	77

### タ

タイムテーブル	17, 76
デバイス	22
テキスト-インパネル	49

### ハ

パネル	20
パネルツールバー	49
プリセット	63
ホットスポット	49
ポップアップ画面	72

### マ

マップ制御ツールバー	70
マップ画面メニュー	72
メニュー	18

### ヤ

ユーザーリストパネル	33
------------	----

### ラ

レポートツールバー	95
-----------	----

